



ロケーション インテリジェンス

Spectrum™ Technology Platform

バージョン 2019.1.0

Global Geocoding REST Web サービス ガイド



目次

1 - Global Geocoding REST

API の使用

グローバル ジオコーディング API の概要	5
Global Geocoding モジュールのデータベース リソースの追加	5
入力住所に関するガイドライン	8
ジオコーディング機能	8
設定されているジオコーディング データセット	9
マッチング オプション	10
ジオコーディング オプション	15
リバース ジオコーディング オプション	24
カスタム オプション	27
返される候補に関する情報	28
国レベルの優先設定オーバーライドの設定	30

2 - REST Web サービス

Global Geocoding Service の紹介	32
REST API を使用する前に	32
HTTP を用いたリクエストの送信	35
Geocode サービス	40
Reverse Geocode サービス	71
インタラクティブ ジオコーディング リクエスト	95
KeyLookup リクエスト	101
Capabilities サービス	107
Dictionaries サービス	119
Pitney Bowes Geocoding Connector	126
付録 A : 国固有の優先設定とフィールド	

オーストラリア (AUS)	134
カナダ (CAN)	157
フランス (FRA)	159
ドイツ (DEU)	160
英国 (GBR)	161
ニュージーランド (NZL)	162
ポルトガル (PRT)	164
シンガポール (SGP)	165
スウェーデン (SWE)	166
米国 (USA)	167

付録 B : カスタム データセット ビルダ

カスタム データセット ビルダ	214
フィーチャ	214
制限事項	214
ソース データの必要条件	215
カスタム データセット ビルダを使用する前に	215
カスタム データセット ビルダのコマンド	216
カスタム データセットの構築	218
Spectrum との統合	218
1 ケ国用の設定ファイルの作成	219
サポートされているすべての国に対応する設定ファイルの作成	221
ジオコーディング設定のカスタマイズ	221
ユーザ定義フィールドへのアクセス方法	229
カスタム データセット ビルダのサポート対象国	229

付録 C : 結果コード

米国のマッチ コードとロケーション コード	238
グローバル結果コード	266

付録 D : ISO 3166-1 国コード

国参照一覧と ISO 3166-1 国コード	278
------------------------	-----

付録 E: エラー コード

例外コード 288

1 - Global Geocoding REST API の使用

このセクションの構成

グローバル ジオコーディング API の概要	5
Global Geocoding モジュールのデータベース リソースの追加	5
入力住所に関するガイドライン	8
ジオコーディング機能	8
設定されているジオコーディング データセット	9
マッチング オプション	10
ジオコーディング オプション	15
リバース ジオコーディング オプション	24
カスタム オプション	27
返される候補に関する情報	28
国レベルの優先設定オーバーライドの設定	30

グローバル ジオコーディング API の概要

Global Geocoding REST API を使用すると、250 以上の国と地域の場所情報を提供できる、デスクトップ、モバイル、Web 用のジオコーディング アプリケーションの開発と展開を行えます。

このガイドには、以下の Web サービスを提供する Global Geocoding REST API の使用方法に関する情報が含まれています。

- **ジオコード サービス**: 入力住所を使用してフォワード ジオコーディングを実行し、位置情報などの情報を返します。
- **リバース ジオコード サービス**: 入力座標値を使用してリバース ジオコーディングを実行し、そのポイントに最も適切に一致する住所情報を返します。
- **インタラクティブ ジオコード サービス**: 入力中に入力内容に応じて住所や場所の名前の候補を返します。
- **キー検索サービス**: ユニーク キーが指定された場合に、ジオコーディングされた候補を返します。キーは住所に対してユニークなので、住所でマッチングを行うよりも効率的です。Global Geocoding モジュール は米国のデータに対しては pbKey™ ユニーク ID を、オーストラリアのデータに対しては G-NAF をサポートします。

各 サービスにはオプションが用意されており、これによりマッチングやジオコーディングの条件、データセット リソース設定などを制御できます。

はじめに

以下のいずれかのトピックをレビューして次の手順に進んでください。

- **REST API を使用する前に** (32ページ)
- **Java API を使用する前に**

Global Geocoding モジュールのデータベース リソースの追加

新しいデータベース リソースをインストール、または既存のデータベース リソースを変更するたびに、Management Console で定義して、システム上で使用できるようにする必要があります。以下では、Global Geocoding モジュールのデータベース リソースを追加または変更する手順について説明します。

- 複数のデータベース リソースを設定する前に、GGM の REST API を使用しているアプリケーションがないかどうかを確認します。該当のデータベース名を含めるように REST API コールを変更して、新しいデータベース リソースと矛盾しないようにする必要があります。
- この機能を使用する際に、既存のデータ フローがある場合、データ フローのすべてのデータベース リソースを確認して更新してください。ない場合は、データ フローのデータベース リソースを変更する必要はありません。

注：下位互換性という点では、古いフローをインポートすると、2019.1 で作成された最新のデータベースのデフォルト値が設定されます。

1. そのようなインポートを行っていない場合は、コマンドライン インターフェイス (CLI) コマンドを使用して、データセット ファイルをシステムにインストールしてください。データベースのインストール手順については、『Spectrum™ Technology Platform インストールガイド』を参照してください。
2. Management Console で、[リソース] の下の [Spectrum データベース] を選択します。
3. 新しいデータベース リソースを作成する場合は、追加ボタン  をクリックします。既存のデータベース リソースを変更する場合は、それを選択してから編集ボタン  をクリックします。データベース リソースを削除する場合は、それを選択してから削除ボタン  をクリックします。

注：Global Geocoding データベース リソースは、コピーして、インストールされている別のモジュールで使用することができます。ただし、Global Geocoding モジュールは1つしかデータベース リソースを持つことができないため、これに対してデータベース リソースをコピーすることはできません。

4. 新しいデータベース リソースを作成する場合は、[データベースの追加] ページで、データベース リソースの名前を [名前] フィールドに入力します。
5. [プールサイズ] フィールドで、このデータベースで処理する同時要求の最大数を指定します。

最適なプール サイズはモジュールによって異なります。一般的には、サーバーが搭載する CPU の数の半分から 2 倍のプール サイズを設定すると、最適な結果が得られます。ほとんどのモジュールに最適なプール サイズは CPU 数と同数です。例えば、サーバーが 4 つの CPU を搭載している場合は、プール サイズを 2 (CPU 数の半分) ~ 8 (CPU 数の 2 倍) の間で試すことができ、多くの場合、最適なサイズは 4 (CPU 数と同数) です。

ヒント：さまざまな設定でパフォーマンス テストを行って、環境にとって最適なプール サイズと実行時インスタンスの設定を特定してください。

6. [モジュール] フィールドで [GlobalGeocode] を選択します。[タイプ] フィールドで、表示されたデフォルトの [Global Geocode データセット] を使用します。

.SPD ファイルを展開して `\server\app\dataimport` フォルダに配置した場合、Spectrum はこれらのファイルを自動的に `\repository\datastorage` フォルダに追加します。[データベースの追加] 画面にデータセットのリストが表示されます。

7. データベースにリソースとして追加するデータセットを選択します。長いリストからデータセットを検索するには、[フィルタ] テキスト ボックスを使用します。
8. データベースを保存します。
9. ジオコーディングで照合するカスタム辞書がある場合は、追加ボタン をクリックし、辞書の名前、国、およびパスを指定します。追加ボタンは、標準データベースへのデータセットの追加に使用しないでください。

カスタムデータベースとは、ジオコーディングに使用可能な住所および緯度/経度座標を含むユーザ定義のデータベースです。

注：カスタム辞書の設定およびジオコードを行うためには、ライセンスのある標準データベースがシステムになければなりません。

10. 起動中の Enterprise Designer セッションがある場合は、[更新] ボタンをクリックすると、新しいステージが表示されます。

注：リソース不足でデータベースを設定できない場合は、Java 仮想マシン (JVM) の初期ヒープサイズ (`Xms`) の拡大、および最大ヒープサイズ (`Xmx`) の追加が `java.vargs` ファイルで必要になる可能性があります。このファイルは、`SpectrumDirectory\server\modules\GlobalGeocode` フォルダにあります。ここで、`SpectrumDirectory` は Spectrum のインストール ディレクトリです。

入力住所に関するガイドライン

最適なパフォーマンスを得るために、住所に関する以下のガイドラインに従ってください。

- できる限り完全で正確な住所を入力します。入力住所に誤りがあっても、Global Geocoding REST APIはその住所をジオコーディングできる場合がありますが、複数の一致候補が得られる可能性が生じます。
- 郵便番号がわかる場合は、それを入力住所に含めます。これは必須ではありませんが、郵便番号があれば、Global Geocoding REST APIは郵便番号ジオコーディングを実行できます。これによって、国や、他の住所コンポーネントの完全性と精度にも依存しますが、一部の住所に対してより正確な結果が得られる場合があります。
- 入力住所を一貫した形式でフォーマットします。Global Geocoding REST APIは、多様なフォーマットの入力住所を処理でき、また、フォーマットされていない(単一行の)入力も処理できます。しかし、入力住所が一貫した形式でフォーマットされており、国固有の住所規約に従っているならば、より正確かつ高速に結果を得ることができます。住所が単一行に入力されている(フォーマットされていない)場合でも、住所コンポーネントが一貫した順序で並んでいれば、より良い結果とパフォーマンスが得られる可能性があります。
- 国に特有の詳細な住所ガイドラインについては、[付録 A - 国固有の情報](#)を参照してください。

ジオコーディング機能

Global Geocoding REST APIは、インストールされているジオコーディング エンジンの機能に関する情報を取得するための手段を提供します。以下の情報を返すことができます。

- 使用可能なジオコーディング エンジン
- サポートされている国
- サポートされている操作 (関連する必須およびオプションの入力を伴う)
- カスタム フィールド

各機能は、操作を指定して1つの国について、すべての操作について、またはすべての国について、返すことができます。

以下の表に、ジオコーディング エンジンの機能についての情報を取得する方法を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	Capabilities
リクエストの種類:	GET

詳細については、[Capabilities サービス](#)（107ページ）を参照してください。

設定されているジオコーディング データセット

注：ジオコーディング データセットは、特に API コードでは、「辞書」とも呼ばれます。

Global Geocoding REST APIは、インストールおよび設定済みのジオコーディング データセットに関する情報を取得する手段を提供します。提供されるジオコーディング データセットのそれぞれには、インストールパス、データセットの種類、国のサポートなどに関する情報が含まれます。

ある1つの国のジオコーディング データセットのリストを返したり、インストールおよび設定済みのすべてのジオコーディング データセットのリストを返したりできます。

以下の表に、ジオコーディングエンジンのジオコーディング データセットに関する情報の取得方法を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	Dictionaries
リクエストの種類:	GET

詳細については、[Dictionaries サービス](#)（119ページ）を参照してください。

データ検索順序の設定については、[優先されているジオコーディング データセットの検索順序](#)（10ページ）を参照してください。

マッチング オプション

このセクションでは、以下のマッチング オプションについて説明します。

- ジオコーディング データセットの検索順序
- マッチ モード
- 必ず一致フィールド

優先されているジオコーディング データセットの検索順序

Global Geocoding REST API は、複数のデータベースを同時に使用して、住所を処理することができます。これにより、さまざまなデータ ソースやデータの種類 (ポイント データや通り セグメント データ) から最善の一致を見つけ出すことができます。Global Geocoding REST API は、設定されているジオコーディング データセットの順序に基づいて、これら複数のデータ ソースを処理します。住所が完全に一致した場合は、それ以上ジオコーディング データセットでの検索を続行することなく、検索が停止します。こうして処理時間が短縮されます。完全一致が見つからない場合、使用可能なデータ ソースでの検索が続行されます。

ジオコーディング データセット検索順序の設定

デフォルトの検索順序

デフォルトのジオコーディング データセット検索順序では、ポイントレベル データセットを通りレベル データセットよりも先に検索します。これは、設定されているジオコーディング データセットのリストに反映されます。

検索順序の変更

検索順序を変更したり、マッチングに使用されないようにジオコーディング データセットを削除したりするには、優先設定で優先ジオコーディング データセットの検索順序を変更します。検索順序は文字列のリストとして指定されます。このリストから削除されたジオコーディング データセットは、マッチングに使用されません。ジオコーディング データセットの順序は、設定済みジオコーディング データセット内のインデックスの文字列値を使用して記述します。デフォルトの順序は、インデックス "0" から始まります。順序を {"2", "1", "0"} に設定すると、3つのジオコーディング データセットを持つこの国に対して設定されている順序が逆転します。

- 単一のジオコーディングまたはリバーズ ジオコーディング操作に対するジオコーディング データセットの順序を設定するには

API	説明
-----	----

REST	適切なサービス (Geocode または Reverse Geocode) に対して POST リクエストを送信します。preferences オブジェクト内の preferredDictionaryOrder 要素を使用して順序を設定します。詳細については、 Geocoding POST リクエスト および Reverse Geocoding POST リクエスト を参照してください。
------	---

- **複数のジオコーディングまたはリバース ジオコーディング操作** (geocodeMultiple または reverseGeocodeMultiple) に対するジオコーディング データセットの順序を設定するには、複数のジオコーディング/リバース ジオコーディング操作には、複数の国が含まれている可能性があるため、検索順序リストには ISO-3166 による 3 文字の国コードを指定する必要があります。例: {"USA", "2", "1", "0", "FRA", "0", "1"}。上記の表で指定されているメソッドを使用して、優先ジオコーディング データセットの順序を設定します。

リストが国コードで始まっていない場合は、例外が生成されます。リスト内に国が見つからない場合は、その国の設定済み辞書順序が使用されます。

注：米国の場合:

- 米国のカスタム オプション FIND_DB_ORDER は、優先ジオコーディング データセットの順序に関する設定/メソッドよりも優先されます。
- 1つまたは複数のリバースジオコーディングの場合、設定済み優先ジオコーディング データセットの順序に関する設定/メソッドは、米国でサポートされておらず、無視されます。

標準およびカスタム辞書使用時の検索とマッチングの優先設定

カスタムユーザ辞書と標準ジオコーディング データセットの両方をサポートしている国については、マッチングにどちらのデータセットを使用するかを指定するためのショートカットが用意されています。カスタム辞書と標準辞書の両方がジオコーディング エンジンで使用可能な場合にどうするのかを定義する KEY_CUSTOM_DICTIONARY_USAGE キーにより、カスタム優先設定を設定できます。このキーは、フォワード ジオコーディングでのみサポートされています。

ただし、preferredDictionaryOrder が定義されている場合、このキーは無視されます。

注：米国の場合に限り、FIND_DB_ORDER がカスタム優先設定で設定されている場合、KEY_CUSTOM_DICTIONARY_USAGE は無視されます。

このキーで使用できる値は、次のとおりです。

USE_CUSTOM_DICTIONARIES_ONLY カスタム辞書と標準辞書の両方が設定されている場合は、カスタム辞書での検索のみが行われます。カスタム辞書が1つも設定されていない場合、この設定は無視されます。

USE_STANDARD_DICTIONARIES_ONLY	カスタム辞書と標準辞書の両方が設定されている場合は、標準辞書での検索のみが行われます。標準辞書が1つも設定されていない場合、この設定は無視されます。
PREFER_CUSTOM_DICTIONARIES	該当する候補がカスタム辞書と標準辞書の両方に見つかった場合は、カスタム辞書の候補を優先します。ただし、最高品質の一致候補は、たとえ優先されていない方の辞書から見つかったものであっても返されます。
PREFER_STANDARD_DICTIONARIES	該当する候補がカスタム辞書と標準辞書の両方に見つかった場合は、標準辞書の候補を優先します。ただし、最高品質の一致候補は、たとえ優先されていない方の辞書から見つかったものであっても返されます。

カスタム オプションの設定については、「[カスタム オプション \(27ページ\)](#)」を参照してください。

マッチ モード

マッチモードにより、入力とジオコーディングデータセットとの間のマッチングに適用される柔軟性が決まります。入力と求める出力の品質に応じて、マッチモードを選択します。例えば、入力データベースに誤りが多い場合は、緩いマッチモードを選択します。

以下に、使用できるマッチモードを、制限の厳しいものから緩いものへと順に示します。

完全一致	非常に厳格な一致を要求します。一致候補の数が最小となる制限の厳しいモードです。処理時間は短くなります。このモードを使用する際には、入力に綴りの間違いや不完全な住所などの問題がないことを確認してください。
標準	近似一致が求められ、適度な数の一致候補が生成されます。こちらがデフォルトです。
緩和	あいまいな一致を許し、生成される一致候補数は最も多くなります。処理時間は長くなりますが、結果としてより多くの一致が得られます。入力に綴りの間違いや不完全な住所などの問題がないと確信できない場合は、このモードを使用します。
カスタム	MustMatch フィールドを設定することでマッチング条件を定義できます。
インタラクティブ (米国のみ)	単一行住所マッチングに対してのみ使用可能です。このモードは、インタラクティブ マッチングにおける特定のマッチング問題に適切に対処することを目的に設計されています。インタラクティブモードでは、より柔軟なマッチングパターンが可能で、緩和検索モードよりも多くの一致候補が返される場合もあります。詳細については、以下の インタラクティブ マッチモード を参照してください。
CASS (米国のみ)	USPS CASS 規格を確実に遵守するために追加ルールを適用します。このマッチモードの目的は、USPS の料金割引を受けるために、配達可能な住所を作成

することです。郵送用に入力を正規化する場合にこのモードを使用します。このモードでは、多数の一致候補が生成されます。詳細については、以下の**CASS モード**を参照してください。

以下の表に、マッチ モードの設定方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	Geocode
リクエストの種類:	GET
パラメータ:	matchMode
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素:	preferences : matchMode

詳細については、**Geocode GET リクエスト** (40ページ) と **Geocode POST リクエスト** (45ページ) を参照してください。

インタラクティブ マッチ モード (米国のみ)

インタラクティブ モードは、インタラクティブなモバイル/Web アプリケーション向けに設計されています。この使用事例においてユーザは、綴りに誤りがあったり、不正確であったり、情報が欠落した単一行住所を入力する場合があります。そのため、この入力の処理には、他のマッチモードよりも緩いマッチング条件が適用されます。その結果、複数の一致候補が返される可能性があります。一致候補のリストをユーザに提示し、適切な候補を選択してもらうことができます。完全一致が見つかった場合は、それが単一の一致候補として返されます。正確な結果と不正確な結果が混ざって提示されることはありません。

インタラクティブ マッチ モードの機能と制約は、次のとおりです。

- インタラクティブ マッチ モードは、単一行住所の処理でのみ使用できます。マッチモードが INTERACTIVE に設定されている場合に単一行以外の住所を処理しようとする、マッチモードが一時的に RELAXED に変更され、住所は緩和モードで処理されます。マッチング処理が完了すると、マッチモードは自動的に INTERACTIVE に戻ります。
- インタラクティブ マッチ モードを使用することで、ユーザは基本的な規則を回避できます。ユーザの入力が "123 S Main" で、"123 N Main" しか存在しない場合、方位記号が変更されたことを示すマッチコードとともにマッチ結果が返されます。
- インタラクティブ マッチ モードでは、ユーザが前置方位記号と後置方位記号の位置を入れ換えて入力するケースが、ペナルティなしで処理されます。

- インタラクティブ マッチ モードでは、`FIND_PREFER_ZIP_OVER_CITY` カスタム オプション設定が無視されます。都市名と ZIP Code が正しく一致しない場合は、入力住所のすべての要素を分析した結果に基づいて、最良のジオコーディング結果を返します。
- インタラクティブ モードでの操作時に、ポイント住所や補間された通り住所の結果が特定できない場合は、使用可能な ZIP-9、ZIP-7、または ZIP-5 のセントロイドが返される可能性があります。

CASS マッチ モード (米国のみ)

CASS マッチ モードでは、USPS CASS 規格を確実に遵守するための追加ルールが適用されます。このマッチ モードの目的は、USPS の料金割引を受けるために、配達可能な住所を作成することです。郵送用に入力を正規化する場合にこのモードを使用します。このモードでは、多数の一致候補が生成されます。

CASS マッチ モードの処理には、他のモードとの違いがあります。このモードでは、交差点、建物名、および空間エイリアス (TIGER、TomTom、および NAVTEQ の通り名エイリアス) またはユーザ辞書に対するマッチングを実行しません。USPS に該当レコードがないデータ ソースの候補とのマッチングも行われません。このモードでは、同じ住所行にある 2 つのユニット番号 (建物番号とユニット番号など) を認識およびパースします。

必ず一致フィールド

"必ず一致" (Must Match) フィールドを使用すると、一致候補を決定するための一致条件を設定できます。以下の "必ず一致" フィールドを使用できます。

- matchOnAddressNumber** 入力住所番号が一致する必要があります。
- matchOnPostCode1** 入力された PostCode1 フィールドが一致する必要があります。
- matchOnAreaName1** 入力された AreaName1 フィールドが一致する必要があります。
AreaName1 フィールドの定義については、付録にある該当する国のセクションを参照してください。
- matchOnAreaName2** 入力された AreaName2 フィールドが一致する必要があります。
AreaName2 フィールドの定義については、付録にある該当する国のセクションを参照してください。
- matchOnAreaName3** 入力された AreaName3 フィールドが一致する必要があります。
AreaName3 フィールドの定義については、付録にある該当する国のセクションを参照してください。
- matchOnAreaName4** 入力された AreaName4 フィールドが一致する必要があります。
AreaName4 フィールドの定義については、付録にある該当する国のセクションを参照してください。

matchOnAllStreetFields 入力通り名、タイプ、方位記号の各フィールドが一致する必要があります。

mustMatchInput その他の「必ず一致」のフィールドは無視され、値が指定されたすべての適用可能な入力フィールド (郵便番号、エリア名など) と一致しなければ、候補は返されません。

注：米国では、必ず一致フィールドの設定は単一行の住所マッチングでサポートされません。

以下の表に、必ず一致フィールドの設定方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	Geocode
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素	preferences : mustMatchFields
キー/値:	適切な mustMatchFields を true に設定します。
追加情報:	mustMatchFields オプションの設定を有効にするには、matchMode が Custom に設定されている必要があります。

詳細については、[Geocode POST リクエスト \(45ページ\)](#) を参照してください。

ジオコーディング オプション

このセクションでは、以下のトピックについて説明します。

- [ジオコード タイプ](#)
- [ジオコードの配置](#)
- [代替ジオコーディング](#)
- [ジオコード座標参照系](#)

ジオコード タイプ

住所のジオコーディングを行う方法は複数あります。以下にジオコーディング タイプを、精度の高いものから低いものへの順に示します。

• 住所:

- **ポイントレベル** - ジオコードは、実際の建物の敷地または小区画の中心に配置されます。このオプションでは、ポイントレベル ジオコーディング データセットのインストール、またはポイントレベル情報を持つユーザ辞書が必要になります。
- **補間された通り住所** - 通り住所の補間を使用して、通り セグメント上の近似の住所位置であるジオコードを取得します。
- **通り セントロイド** - ジオコードは、通り セグメントのセントロイドになります。
- **郵便** - ジオコードは、郵便番号エリアのセントロイドになります。
- **地理的** - ジオコードは、地理的エリアのセントロイドです (例: 都市、郊外、または村)。

これらのジオコードタイプのサポートは、設定されているジオコーディングデータセット内で使用可能なデータのタイプに依存します。ジオコーディング レベルのサポート情報については、該当する国のセクションを参照してください。

さらに、一部の国では、カスタムオプションとして用意されているジオコードタイプがあと2つあります。これら2つのジオコードタイプについては、以降のセクションで説明します。

以下の表に、ジオコード タイプの指定方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	Geocode
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素:	type : geocodeType

詳細については、[Geocode POST リクエスト \(45ページ\)](#) を参照してください。

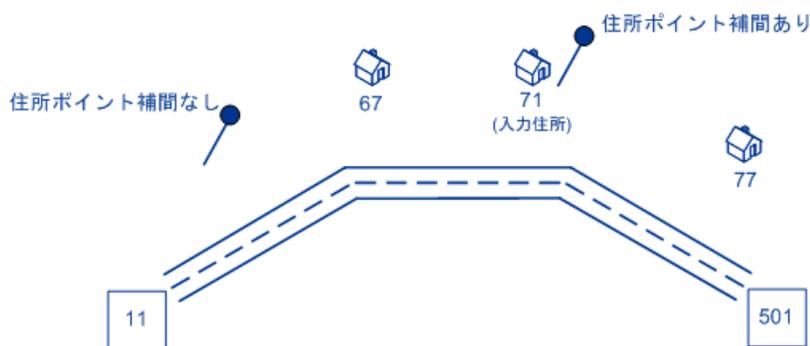
住所ポイント補間

住所ポイント補間は、補間ポイントをより正確なものにする特許処理です。通りセグメントだけを使用するのではなく、補間処理でポイント データを使用することにより、通常の通りセグメント補間を向上させます。

注：住所ポイント補間には、通りレベルとポイントレベルの両方のジオコーディングデータセットが必要です。

注：米国の場合、この機能は補助ファイルのポイント住所に使用できません。

次の図に、住所ポイント補間の仕組みを示します。この例では、入力家番号は71です。ジオコーディングデータセットには、67と77の住所ポイントが含まれています。通りセグメントの範囲は11から501です。住所ポイント補間を利用する場合、Global Geocoding REST APIは67と77のポイントを使用して、入力家番号71の補間を実行します。住所ポイント補間を利用しない場合、Global Geocoding REST APIは通りセグメントの終点11と501を使用して補間を実行するため、結果の精度ははるかに低くなります。



注：この機能は、以下の国でのみサポートされています。

- オーストラリア (AUS) (134ページ)
- カナダ (CAN) (157ページ)
- フランス (FRA) (159ページ)
- ドイツ (DEU) (160ページ)
- 英国 (GBR) (161ページ)
- ポルトガル (PRT) (164ページ)
- シンガポール (SGP) (165ページ)
- スウェーデン (SWE) (166ページ)
- 米国 (USA)

以下の表に、住所ポイント補間の実装方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	Geocode
リクエストの種類:	POST

REST API	機能の実装
----------	-------

オブジェクト: 要素	preferences : customPreferences
------------	---------------------------------

キー/値:	USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION = true
-------	--

詳細については、[Geocode POST リクエスト \(45ページ\)](#) を参照してください。

中央線マッチング

中央線マッチングは、ポイントレベルのジオコードを親の通りセグメントにリンクするためにポイントレベルマッチングと併用されます。この機能は、ルーティングアプリケーションで役立ちます。

中央線マッチングにより、ポイントレベルマッチング単独では取得できない親の通りセグメントに関する情報が手に入ります。この情報には、ポイントデータジオコードから中央線マッチングまでの方位も含まれます。

中央線マッチングを行うには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。

注：この機能は、以下の国でのみサポートされています。

- [オーストラリア \(AUS\)](#) (134ページ)
- [カナダ \(CAN\)](#) (157ページ)
- [ポルトガル \(PRT\)](#) (164ページ)
- [米国 \(USA\)](#)

以下の表に、中央線マッチング機能の実装方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
----------	-------

サービス:	Geocode
-------	---------

リクエストの種類:	POST
-----------	------

オブジェクト: 要素	preferences : customPreferences
------------	---------------------------------

キー/値:	USE_CENTERLINE_OFFSET = true
-------	------------------------------

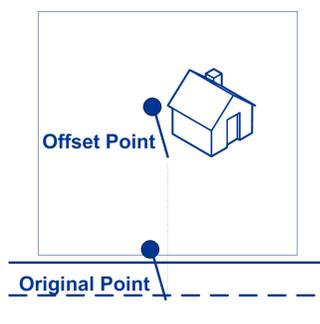
追加情報:	カスタム キー CENTERLINE_OFFSET および CENTERLINE_OFFSET_UNIT が、USE_CENTERLINE_OFFSET と組み合わせて使用されます。
-------	---

詳細については、[Geocode POST リクエスト \(45ページ\)](#) を参照してください。

ジオコードの配置

以下のオプションを使用すると、通りレベルのジオコーディングでのジオコーディング配置を最適化できます。

- **通り オフセット** - この値は、ジオコードが通りの中央に配置されるのを防ぐために使われます。また、通り オフセットは、通りをはさんで向かい合う住所が同じポイントになるのを防ぐためにも使われます。通り オフセットは、フィートまたはメートルの単位で指定できます。



- **角オフセット** - この値は、通りの角の住所に交差点と同じジオコードが与えられるのを防ぐために使われます。角に対するジオコード ポイントのオフセット位置を定義します。角オフセットは、フィートまたはメートルの単位で指定できます。



以下の表に、**通り オフセット**の実装方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	Geocode
リクエストの種類:	GET
パラメータ:	streetOffset

REST API	機能の実装
----------	-------

リクエストの種類:	POST
-----------	------

オブジェクト: 要素	preferences : streetOffset
------------	----------------------------

追加情報:	streetOffsetUnits は、streetOffset と共に使用します。
-------	--

詳細については、[Geocode GET リクエスト](#)（40ページ）および[Geocode POST リクエスト](#)（45ページ）を参照してください。

以下の表に、角オフセットの実装方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
----------	-------

サービス:	Geocode
-------	---------

リクエストの種類:	GET
-----------	-----

パラメータ:	cornerOffset
--------	--------------

リクエストの種類:	POST
-----------	------

オブジェクト: 要素	preferences : cornerOffset
------------	----------------------------

追加情報:	cornerOffsetUnits は、cornerOffset と共に使用します。
-------	--

詳細については、[Geocode GET リクエスト](#)（40ページ）および[Geocode POST リクエスト](#)（45ページ）を参照してください。

代替ジオコーディング

代替ジオコーディング オプションにより、ジオコーダは住所レベルのジオコードを決定できない場合により精度の低いジオコードを返そうとすることができます。

次の代替ジオコーディング オプションがあります。

- 郵便番号にフォールバック - 郵便番号セントロイドを返すことを試みます。
- 地理的なエリアにフォールバック - 地理的エリアのセントロイドを返すことを試みます。

国ジオコードがインストールされていないか、国ジオコードは使用できるがジオコーディングデータセットがインストールされていない場合に、以下のように追加の代替ジオコーディングオプションを実装できます。

- **///Fallback to World///(World にフォールバック) - World Geocoder (XWG)** を使用してジオコードを返すことを試みます。World Geocoder (XWG) は、XWG ジョコーディングデータセットのサポートレベルによって、郵便番号ジオコードまたは地理的ジオコードを返します。World Geocoder (XWG) はインストールに含まれています。この機能を実装するには、World Geocoder ジョコーディングデータセットをインストールする必要があります。以下の例では、World Geocoder ジョコーディングデータセットがインストールされている場合とされていない場合に、この機能を有効にした際の反応を示します。

シナリオ 1: World Geocoder (XWG) がデータなしでインストールされている場合

- `FALLBACK_TO_WORLD = false` - データがインストールされていない国に対してジオコーディングを試みると、例外 `Error initializing data manager.` が返されます。
- `FALLBACK_TO_WORLD = true` - World Geocoder (XWG) データがインストールされていない場合は、例外 `Error initializing data manager.` が返されます。

シナリオ 2: World Geocoder (XWG) がデータとともにインストールされている場合

- `FALLBACK_TO_WORLD = false` - 例外 `Error initializing data manager.` が返されます。
- `FALLBACK_TO_WORLD = true` - フォールバックが実行された場合に、可能であれば結果が返されます。

郵便番号にフォールバック

以下の表に、郵便ジオコーディングによる代替機能の実装方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	Geocode
リクエストの種類:	GET
パラメータ:	<code>fallbackPostal = true</code>
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素	<code>preferences : fallbackPostal = true</code>

詳細については、[Geocode GET リクエスト \(40ページ\)](#) および[Geocode POST リクエスト \(45ページ\)](#) を参照してください。

地理的なエリアにフォールバック

以下の表に、地理的ジオコーディングによる代替機能の実装方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	Geocode
リクエストの種類:	GET
パラメータ:	fallbackGeo = true
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素	preferences: fallbackToGeographic = true

詳細については、[Geocode GET リクエスト \(40ページ\)](#) および[Geocode POST リクエスト \(45ページ\)](#) を参照してください。

///Fallback to World///(World にフォールバック)

以下の表に、///Fallback to World///(World にフォールバック) 機能の実装方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	Geocode
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素	customPreferences : FALLBACK_TO_WORLD = true

customPreferences オブジェクトは、preferences オブジェクトの中で指定されます。例えば、POST JSON リクエストでは、次のように指定されます。

```
"preferences" : {
  "customPreferences" : {
```

```

    "FALLBACK_TO_WORLD" : "true"
  }
}

```

POST XMLリクエストでは、次のように指定されます。

```

<preferences>
  <customPreferences>
    <entry>
      <key>FALLBACK_TO_WORLD</key>
      <value>true</value>
    </entry>
  </customPreferences>
</preferences>

```

詳細については、[Geocode POST リクエスト \(45ページ\)](#) を参照してください。

座標参照系

ジオメトリの変換先となる座標系を指定できます。形式は、European Petroleum Survey Group (EPSG) コードまたは SRID コードである必要があります。デフォルトは EPSG:4326 です。

以下の表に、座標参照系の指定方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	Geocode
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素	preferences : clientCoordSysName
書式:	codespace:code

詳細については、[Geocode POST リクエスト \(45ページ\)](#) を参照してください。

リバース ジオコーディング オプション

リバース ジオコーディングでは、以下のオプションを使用できます。

- 検索距離
- ジオコードの配置
- 座標参照系

次のセクションでは、これらのオプションについて詳しく説明します。

検索距離

検索距離は、入力座標に対するマッチを検索する半径の距離です。この値は、フィートまたはメートルの単位で指定できます。

以下の表に、**検索距離**の指定方法に関する情報を示します。

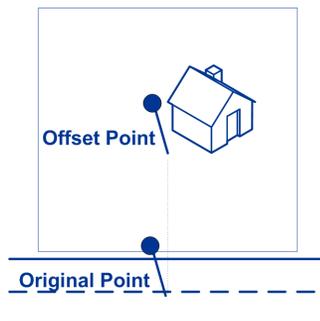
REST API	機能の実装
サービス:	reverseGeocode
リクエストの種類:	GET
パラメータ:	distance
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素	preferences : distance
追加情報:	distanceUnits は、distance と共に使用します。

詳細については、[Reverse Geocode GET リクエスト](#) (71ページ) および[Reverse Geocode POST リクエスト](#) (72ページ) を参照してください。

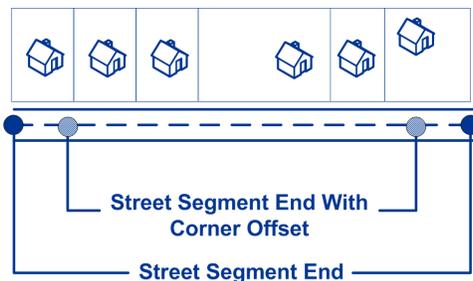
ジオコードの配置

以下のオプションを使用すると、通りレベルのジオコーディングでのジオコーディング配置を最適化できます。

- **通り オフセット** - この値は、ジオコードが通りの中央に配置されるのを防ぐために使われます。また、通り オフセットは、通りをはさんで向かい合う住所が同じポイントになるのを防ぐためにも使われます。通り オフセットは、フィートまたはメートルの単位で指定できます。



- **角オフセット** - この値は、通りの角の住所に交差点と同じジオコードが与えられるのを防ぐために使われます。角に対するジオコード ポイントのオフセット位置を定義します。角オフセットは、フィートまたはメートルの単位で指定できます。



以下の表に、通り オフセットの実装方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	reverseGeocode
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素	preferences : streetOffset
追加情報:	streetOffsetUnits は、streetOffset と共に使用します。

詳細については、[Reverse Geocode POST リクエスト \(72ページ\)](#) を参照してください。

以下の表に、**角オフセット**の実装方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	reverseGeocode
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素	preferences : cornerOffset
追加情報:	cornerOffsetUnits は、cornerOffset と共に使用します。

詳細については、[Reverse Geocode POST リクエスト \(72ページ\)](#) を参照してください。

座標参照系

ジオメトリの変換先となる参照座標系を指定できます。形式は、**European Petroleum Survey Group (EPSG)** コードまたは **SRID** コードである必要があります。デフォルトは **EPSG:4326** です。

以下の表に、**座標参照系**の指定方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	reverseGeocode
リクエストの種類:	GET
パラメータ:	coordSysName
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素	preferences : clientCoordSysName
書式:	codespace:code

詳細については、[Reverse Geocode GET リクエスト](#)（71ページ）および[Reverse Geocode POST リクエスト](#)（72ページ）を参照してください。

カスタム オプション

一部の国では、その国に固有のカスタム マッチングおよびジオコーディング オプションの設定がサポートされています。

カスタム オプションは、次の国に対して提供されます。

- [オーストラリア \(AUS\)](#)（134ページ）
- [カナダ \(CAN\)](#)（157ページ）
- [フランス \(FRA\)](#)（159ページ）
- [ドイツ \(DEU\)](#)（160ページ）
- [英国 \(GBR\)](#)（161ページ）
- [ニュージーランド \(NZL\)](#)（162ページ）
- [ポルトガル \(PRT\)](#)（164ページ）
- [シンガポール \(SGP\)](#)（165ページ）
- [スウェーデン \(SWE\)](#)（166ページ）
- [米国 \(USA\)](#)

詳細については、該当する国の記載部分にある「カスタム オプション」セクションを参照してください。

また、カスタム ユーザ辞書と標準ジオコーディングデータセットの両方をサポートしている国については、キー `KEY_CUSTOM_DICTIONARY_USAGE` によってカスタム優先設定を設定できます。このキーは、カスタム辞書と標準辞書の両方がジオコーディング エンジンで使用可能な場合の検索とマッチングの優先設定を定義します。このオプションは、フォワード ジオコーディングにのみ使用可能です。各国がカスタム ユーザ辞書をサポートしているかどうかという情報については、その国の「サポートされているジオコーディングデータセット」セクションを参照してください。

以下の表に、カスタム タイプの実装方法に関する情報を示します。

REST API	機能の実装
サービス:	Geocode
リクエストの種類:	POST

REST API	機能の実装
----------	-------

オブジェクト: 要素	preferences : customPreferences には、キー/値のペアを使用してカスタムオプションを指定します。
------------	---

詳細については、[Geocode POST リクエスト \(45ページ\)](#) を参照してください。

返される候補に関する情報

返される標準的なフィールド セットには、次の要素が含まれます。

- 一致の総数
- 可能性のある候補の総数
- 候補住所
- 候補範囲
- マッチングされたフィールド
- ジオコード座標 (ジオコーディング操作用)
- 結果コード

これらのフィールドが返されるかどうかは、設定されているジオコーディング データセットで提供されているデータの種類の依存します。使用可能な出力フィールドとその定義については、それぞれの国のセクションを参照してください。また、カスタム出力フィールドが存在する国もあります。使用可能なカスタム出力フィールドについては、[付録 A - 国固有の情報](#)にあるそれぞれの国のセクションを参照してください。

また、次のような情報を追加で返すように指定できます。

- 返される候補の最大数。
- 候補ごとに提供可能なすべての情報を返すか、特定の住所フィールドのみを返すか。これらの追加フィールドは、returnFieldsDescriptor を使用して指定します。以下のオプションが使用可能です。
 - returnMatchDescriptor - 候補のどの部分が入力住所と一致したかを表す、マッチ記述子オブジェクトを返します。
 - returnStreetAddressFields - formattedStreetAddress フィールドを構成する、個々の通り フィールドをすべて個別に返します。これには、メイン住所の基本部分、大通り タイプ、前置/後置方位記号などがあります。

- returnUnitInformation - 可能な場合には、単位のタイプと単位の値の情報を個別に unitType および unitValue フィールドで、また formattedStreetAddress フィールドでも返します。
- returnAllCustomFields - 候補に対するすべてのカスタム フィールドを返します。
- returnedCustomFieldKeys - 候補の customFields 出力で返されるカスタム フィールドを表すキーのリストを指定します。例えば、“CTYST_KEY” や “DATATYPE” です。

注：国に対して複数のキー/値のペアを指定するには、返すカスタム フィールドの名前をスペースで区切ります。このフィールド情報を持つ候補の customFields 出力には、これらのキーを含むカスタム フィールドがあります。

以下は REST JSON リクエストの例です。

```
"preferences" : {
  "customPreferences" : {
    "USA.returnedCustomFieldKeys" : "LAT LON SHORT_CITY"
  }
}
```

注：カスタム フィールドは国によって異なります。各国の情報については、詳細情報が記載された付録の「[国固有の情報](#)」で該当するセクションを参照してください。

REST API における、追加で返す候補情報の指定

REST API	機能の実装
サービス:	Geocode
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素	<p>preferences : returnFieldsDescriptor。ここで、キー/値のペアを使用して追加フィールド オプションを指定します。isReturnAllCandidateInfo が true の場合は無視されます。</p> <p>注：特定の国の returnFieldsDescriptor 要素のデフォルト値をオーバーライドするには、customPreferences オブジェクトにキー/値のペアを、ISO-3166 の 3 文字の国コード、ピリオド、キー定数の形式で指定します。例: AUS.returnAllCustomFields..</p>

詳細については、[Geocode POST リクエスト \(45ページ\)](#) を参照してください。

国レベルの優先設定オーバーライドの設定

マッチング、ジオコーディング、リバース ジオコーディングのオプションには、国ごとにオーバーライドできるデフォルト値/設定があります。オーバーライド可能なオプションの一部を以下に示します。

- マッチング オプション - マッチ ノードおよび必須一致フィールド設定
- ジオコーディング オプション - ジオコードの配置 (通りおよびコーナーオフセット)、代替ジオコーディング、および座標参照系
- リバース ジオコーディング オプション - 検索距離、ジオコードの配置 (通りおよびコーナーオフセット)、クライアントのロケール、および参照座標系
- 返される候補に関する情報 - 返される候補情報の上限、すべての候補情報を返す、すべてのカスタムフィールドを返す、カスタムフィールドキーを返す、マッチ記述子を返す、通り住所フィールドを返す、およびユニット情報を返す

以下のに、国の優先設定の設定方法に関する情報を示します。

注：国に対する優先設定を国レベル別にオーバーライドすると、予期しない結果につながる可能性があります。オーバーライドは必要な場合にのみ使用してください。

REST API	機能の実装
サービス:	Geocode, reverseGeocode
リクエストの種類:	POST
オブジェクト: 要素	<p>preferences : customPreferences には、キー/値のペアを使用してオプションを指定します。ISO-3166 の 3 文字の国コードとピリオド (.) がキー一定数の前に付きます。国ごとに設定できるオプションは、以下のオブジェクト内に配置されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 優先設定 • mustMatchFields • returnFieldsDescriptor

詳細については、[Geocode POST リクエスト \(45ページ\)](#) および [Reverse Geocode POST リクエスト \(72ページ\)](#) を参照してください。

2 - REST Web サービス

このセクションの構成

Global Geocoding Service の紹介	32
REST API を使用する前に	32
HTTP を用いたリクエストの送信	35
Geocode サービス	40
Reverse Geocode サービス	71
インタラクティブ ジオコーディング リクエスト	95
KeyLookup リクエスト	101
Capabilities サービス	107
Dictionaries サービス	119
Pitney Bowes Geocoding Connector	126

Global Geocoding Service の紹介

Global Geocoding REST API は、次のサービスを提供します。

- **Geocode** — 単一または複数の入力住所を受け取り、正規化された米国または国際住所とジオコーディング情報を返します。
- **Interactive** — 住所の一部やその他の住所要素を受け取り、検索エリアを制限して、一致候補を返します。インタラクティブ データを使用して、入力に対するマッチングを行います。
- **KeyLookup** — キーおよびキー タイプを受け取り、住所をジオコーディングして、追加情報を返します。キーはその住所に対するユニークな識別子です。
- **ReverseGeocode** — 単一または複数の入力緯度/経度座標を受け取り、そのロケーションの住所情報を返します。
- **Capabilities** — サポートされる操作、使用可能な国ジオコーディング エンジン、国固有のカスタム フィールドなど、ジオコード サービスの機能を返します。
- **Dictionaries** — インストールされている住所辞書に関する情報を返します。

関連トピック

[REST API を使用する前に \(32ページ\)](#)

REST API を使用する前に

必要条件

- Java 8
- GGS ディストリビューション (ggs-dist-{version}.zip)
 - 解凍した後、"{directory}/ggs-dist-{version}/cli" にある GGS SDK CLI が必要になります。
- Spectrum データ形式 (*.spd) のデータセット
- .war ファイルを展開して実行できるサーバー (Tomcat)

プレースホルダ

いくつかの共通するアイテムでは、プレースホルダとして以下の規則が使用されます。

- {directory} - SDK のリソースをインストールする任意のディレクトリ。
- {version} - GGS SDK のバージョン (**3.0.0** など)。

- {spd} - Spectrum データ形式のデータセット。例えば、**KGD082019.spd** などです。
- {tomcat} - インストールされた Tomcat の場所。例えば、**apache-tomcat-8.5.30** などです。

GGC CLI を使用した設定

1. データセットがインストールされる場所を作成します。

- a. Windows:

```
mkdir {directory}/data
```

- b. Linux:

```
mkdir -p {directory}/data
```

2. GGC CLI を実行します。以下のコマンドを実行すると、インタラクティブ モードで CLI が起動します。

注: GGC CLI は、インタラクティブ モードまたはバッチ モードで実行できます。[[CLI バッチ処理](#)について。]

- a. Windows:

```
cd {directory}/ggs-dist-{version}/cli  
cli.cmd
```

- b. Linux:

```
cd {directory}/ggs-dist-{version}/cli  
cli.sh
```

3. .spd ファイルを探して、データセットを抽出します。[[extract コマンド](#)について。]

```
extract --s "{spd}" --d "{directory}/data"
```

4. インタラクティブ CLI で次のコマンドを実行して、データセットの場所に基づき SDK のデータを設定します。[[configure コマンド](#)について。]

```
configure --s "{directory}/data" --d  
"{directory}/ggs-dist-{version}/resources/config"
```

REST API を Tomcat に展開

注：このコマンドを実行する前に、{tomcat}/webapps/Geocode ディレクトリを空にしておく必要があります。[[deploy コマンド](#)について。]

```
deploy --c "/ggs-dist-{version}/resources" --m "WAR_EXTRACTED"
--d "{tomcat}/webapps/Geocode" --l "{tomcat}/logs"
```

サーバーの起動

1. tomcat ディレクトリで `cd {tomcat}/bin` を実行します。

a. Windows:

```
startup.bat
```

b. Linux:

```
./startup.sh
```

サンプル アプリケーション

REST サービスを試す場合は、**Global Geocoding API** のサンプルを参考にすると便利です。これは、ジオコーディング API の実際の使用例を示す対話的な Web アプリケーションです。URL は、war を展開した場所に応じた、サーバーのコンテキストに対する相対パスとなります。URL: <http://{server}:{port}/{context}/sample/index.html>

例えば、TypeAhead 機能を確認するには、サンプルアプリケーションの [[インタラクティブ ジオコード](#)] タブをクリックします。

注：サンプルアプリケーションを使用する前に、上記の手順を実行していない場合は、まず GGS CLI を使用してジオコーディング データセットをインストールおよび設定する必要があります。

追加情報

- [REST Web サービス](#)

HTTP を用いたリクエストの送信

サービスのエンドポイント

Global Geocoding REST サービスのサービス エンドポイントは、以下のとおりです。

```
http://<server>:<port>/rest/GlobalGeocode/<service_name>.[content type]
```

説明:

<service_name> は、次のサービスのいずれかです。

- geocode
- reverseGeocode
- capabilities
- dictionaries

.[content type] はオプションです。詳細については、[HTTP ヘッダ](#) (36ページ) を参照してください。

WADL の URL

Global Geocoding Web サービスの WADL は、以下のとおりです。

```
http://<server>:<port>/rest/GlobalGeocode/?_wadl&type=xml
```

サポートされているペイロード形式

リクエストとレスポンスに対してサポートされているメッセージペイロード形式は、JSON と XML です。メッセージ交換フォーマットは、クライアントとサービスの間で HTTP ヘッダに指定された情報を介してネゴシエーションされます。

HTTP ヘッダ

クライアントとサービスの間で送信されるコンテンツ タイプのネゴシエーションを行うために、リクエストには許容されるメディア タイプを表す Accept ヘッダが含まれています。ヘッダはオプションで、リクエストで送信される MIME Content-Type も表すことができます。

サーバーからのレスポンスでは、ステータス コードと、レスポンスの Content-Type が返されます。

JSON と XML の HTTP コンテンツ ネゴシエーション ヘッダの例を以下に示します。

JSON

```
Accept: application/json; charset=utf-8
Content-Type: application/json; charset=utf-8
```

XML

```
Accept: application/xml; charset=utf-8
Content-Type: application/xml; charset=utf-8
```

以下の表に、リクエストで指定されたヘッダ情報に基づいて想定される、レスポンスのタイプを示します。

要求	ヘッダ情報	レスポンス コンテンツ タイプ
サービス名.json	特別なヘッダ情報はありません。	json
サービス名.json	Content-Type: application/xml; charset=utf-8 Accept: application/xml; charset=utf-8	xml
サービス名.json	Content-Type: application/json; charset=utf-8 Accept: application/json; charset=utf-8	json
サービス名	Content-Type: application/json; charset=utf-8 Accept: application/json; charset=utf-8	json
サービス名	Content-Type: application/xml; charset=utf-8 Accept: application/xml; charset=utf-8	xml

要求	ヘッダ情報	レスポンスコンテンツ タイプ
サービス名	特別なヘッダ情報はありません。	json
サービス名.xml	Content-Type: application/json; charset=utf-8 Accept: application/json; charset=utf-8	json
サービス名.xml	Content-Type: application/xml; charset=utf-8 Accept: application/xml; charset=utf-8	xml
サービス名.xml	特別なヘッダ情報はありません。	xml

サポートされている HTTP メソッド

完全な REST リクエストは、HTTP メソッドに対象サービスのフル URI を組み合わせることによって構成されます。

完全なリクエストを作成するには、操作に、適切な HTTP ヘッダと必要なペイロードを組み合わせます。

以下の表に、各サービス API でサポートされている HTTP メソッドの一覧を示します。

サービス	HTTP メソッド	説明
Geocode	GET	単一入力住所用の Geocode サービスからリソースを取得します。受け取るパラメータ要素は、POST コマンドのサブセットとなります。
	POST	サーバーから Geocode リソースを取得します。クライアントは優先設定の完全集合を指定できます。
ReverseGeocode	GET	緯度と経度による単一入力座標用の ReverseGeocode サービスからリソースを取得します。受け取るパラメータ要素は、POST コマンドのサブセットとなります。
	POST	サーバーから ReverseGeocode リソースを取得します。クライアントは優先設定の完全集合を指定できます。
Capabilities	GET	Capabilities サービスからリソースを取得します。リソースから、ジオコーディング サービスの機能に関する情報が返されます。
Dictionaries	GET	Dictionaries サービスからリソースを取得します。リソースから、使用可能なジオコーディング データセット/辞書に関する情報が返されます。

HTTP ステータス コード

リクエストに対する各レスポンスには、HTTP ステータス コードが含まれます。HTTP ステータス コードは、サービスに対する HTTP リクエストの結果を報告するものです。サービスから返される最も一般的なステータス コードを、以下の表に示します。

ステータス コード	簡単な説明	説明
200	OK	リクエストに成功しました。通常は、GET または POST リターン情報によって返されます。
400	Bad Request	リクエストにエラーがあります。このステータスは、クライアントによって (URI の一部、クエリ パラメータ、または本体として) 提供されたデータがサーバー要件を満たさない場合に、さまざまなメソッドによって返されます。
404	Not Found	リクエストされたリソースが見つかりません。
405	Method Not Allowed	リクエストされたメソッドは、URI 内のリソースに対して許可されていません。
406	Not Acceptable	Accept ヘッダ内で指定された、リクエストされたメディア タイプはサポートされていません。サポートされているメディア タイプには、application/JSON や application/xml があります。
500	Internal Server Error	内部エラーが発生し、サーバーはリクエストを処理して有効なレスポンスを返すことができません。

Geocode サービス

Geocode サービス リクエスト

Geocode GET リクエスト

GET リクエストでは、入力住所と、マッチングおよびジオコーディングの優先設定を **Geocode** サービスに送信し、候補オブジェクトを提示するレスポンスを受信することができます。候補オブジェクトには、関連する緯度/経度座標や、各候補に関するその他のマッチング情報およびロケーション情報が含まれます。GET リクエストの優先設定は、POST リクエストで使用可能なすべての優先設定のサブセットです。キー/値の各ペアは、アンパサンド (&) で区切られています。

ベース URI

```
http://<server>:<port>/rest/GlobalGeocode/geocode[.content type]
```

クエリ パラメータ

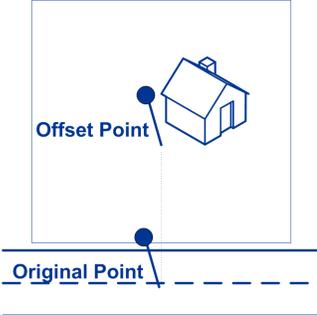
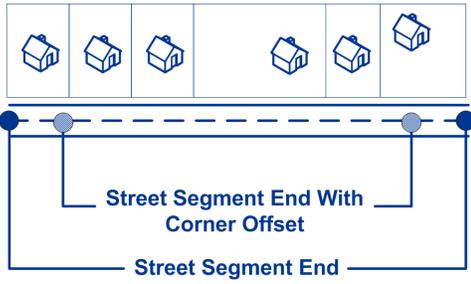
以下の表に、Geocode サービスに対する GET クエリ パラメータを示します。レスポンスの詳細については、[GeocodeServiceResponse オブジェクト \(52ページ\)](#) を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
placeName	文字列	入力住所に関連する建物名、場所名、POI (ポイント情報)、会社または企業名。これはオプションです。例: Pitney Bowes 4750 Walnut St. Boulder, CO 80301

パラメータ	タイプ	説明
POST: mainAddressLine GET: mainAddress	文字列	<p>単一行入力 — 他のフィールドが全く入力されていない場合、mainAddress の内容は単一行入力として処理され、複数の住所フィールド要素をまとめて入力することができます。住所フィールドの入力順序は、その国の通常の住所書式に従う必要があります。これはオプションです。例:</p> <p>4750 Walnut St., Boulder CO, 80301</p> <p>複数行入力 住所フィールド (placeName、lastLine、postalCode など) が個別に入力されている場合、このフィールドの内容は通り住所として処理され、会社名、家番号、建物名、および通り名を含めることができます。これはオプションです。</p> <p>交差点の入力—交差点を入力するには、2 個のアンパサンド (&&) で区切られた 2 つの通り名を指定します。</p>
POST: addressLastLine GET: lastLine	文字列	住所の最終行。これはオプションです。
areaName1	文字列	最大の地理的エリアを指定します。通常は、州または省です。これはオプションです。
areaName2	文字列	二次的な地理的エリアを指定します。通常は、郡または地区です。これはオプションです。
areaName3	文字列	都市または町の名前を指定します。これはオプションです。
areaName4	文字列	都市の下位区分、または地方を指定します。これはオプションです。
POST: postCode1 GET: postalCode	文字列	各国の標準フォーマットで表記された郵便番号。これはオプションです。
POST: postCode2	文字列	各国の標準フォーマットで表記された郵便番号。これはオプションです。
country	文字列	ISO 3166-1 Alpha-3 国コード。必須国コードについては、 国参照一覧と ISO 3166-1 国コード (278ページ) を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
matchMode	文字列	<p>マッチモードにより、入力住所と参照データとの間のマッチングに適用される柔軟性が決まります。入力と求める出力の品質に応じて、マッチモードを選択します。以下のマッチモードがあります。</p> <p>EXACT 非常に厳格な一致を要求します。一致候補の数が最小となる制限の厳しいモードです。処理時間は短くなります。</p> <p>STANDARD 近似一致が求められ、適度な数の一致候補が生成されます。デフォルト</p> <p>RELAXED あいまいな一致を許し、生成される一致候補数は最も多くなります。処理時間は長くなりますが、結果としてより多くの一致が得られます。</p> <p>CUSTOM MustMatch フィールドを設定することによってマッチング条件を定義することができます。ただし、MustMatch フィールドは POST リクエストを使用する場合のみ設定可能です。GET リクエストに対しては、MustMatch のデフォルト値が適用されます。</p>
fallbackGeo	Boolean	<p>住所レベルのジオコードを決定できない場合に、地理的セントロイドを決定しようとするかどうかを指定します。これはオプションです。</p> <p>true 住所レベルのセントロイドを決定できない場合に地理的セントロイドを返します。デフォルト</p> <p>false 住所レベルのセントロイドを決定できない場合に地理的セントロイドを返しません。</p>
fallbackPostal	Boolean	<p>住所レベルのジオコードを決定できない場合に、郵便番号セントロイドを決定しようとするかどうかを指定します。これはオプションです。</p> <p>true 住所レベルのセントロイドを決定できない場合に郵便番号セントロイドを返します。デフォルト</p> <p>false 住所レベルのセントロイドを決定できない場合に郵便番号セントロイドを返しません。</p>
maxCands	Integer	<p>返される候補の最大数。これはオプションです。整数値でなければなりません。デフォルトは 1 です。</p>

パラメータ	タイプ	説明
maxRanges	Integer	<p>範囲とは、同じ通りセグメントに沿って並ぶ複数の住所を意味します。例えば、5400-5499 Main St.は Main St. の 5400 番台のブロックにある住所範囲を表します。範囲は、セグメント内の奇数または偶数だけ、あるいは奇数と偶数の両方の住所を表すことがあります。また、範囲は複数のユニットがあるアパートメントのような単一の建物を表すこともあります。</p> <p>このオプションは候補ごとに返す範囲の最大数を指定します。ジオコーダはセグメントあたり 1 つの候補を返しますが、そのセグメントに複数の範囲が含まれる可能性があるため、このオプションを使って候補のセグメントにある他の範囲を確認できます。</p> <p>整数値でなければなりません。デフォルトは 0 です。</p>
maxRangeUnits	Integer	<p>このオプションは範囲ごとに返すユニット (アパートやスイートなど) の最大数を指定します。</p> <p>例えば、4 つのスイートを含む 65 Main St. にあるオフィスビルのジオコーディングを行う場合、最大で 4 つのユニット (65 Suite 1、65 Suite 2、65 Suite 3、および 65 Suite 4) がその建物の範囲に対して返されます。ここでユニットの最大数を 2 に指定すると、4 つすべてではなく 2 つのユニットだけが返されます。</p> <p>整数値でなければなりません。デフォルトは 0 です。</p>

パラメータ	タイプ	説明
streetOffset	Double	<p>通りセグメントからのオフセット距離。距離は <code>streetOffsetUnits</code> 優先設定で指定した単位です。デフォルト値は 7 メートルです。</p> <p>オフセット距離は、ジオコードが通りの中央に位置付けられるのを防ぐために、通りレベルのジオコーディングで使われます。通りレベルのジオコーディングを行うと、住所が位置する通りの中心点の緯度/経度が返されますが、これを補正するのがオフセットです。</p> <p>例えば、50 フィートのオフセットは、ジオコードが通りの中心から 50 フィート離れた場所を表すことを意味します。距離は、住所の通りセグメントから垂直方向に計算されます。また、オフセットは、通りをはさんで向かい合う住所が同じポイントになるのを防ぐ目的にも使われます。</p> 
streetOffsetUnits	文字列	通りオフセットの距離単位。 Feet と Meters (デフォルト) のいずれかです。
cornerOffset	Double	<p>通りレベルでのマッチングに使う通りの終端からのオフセット。距離は <code>cornerOffsetUnits</code> 優先設定で指定した単位です。この値は、通りの角の住所に交差点と同じジオコードが与えられるのを防ぐために使われます。角に対するジオコードポイントのオフセット位置を定義します。デフォルト値は 7 メートルです。</p> <p>以下に、通りの終点とオフセット終点の比較図を示します。</p> 
cornerOffsetUnits	文字列	通りオフセットの距離単位。 Feet と Meters (デフォルト) のいずれかです。

Geocode POST リクエスト

POST リクエストでは、単一の入力住所または住所リストをバッチ処理用に送信することができます。オプションでマッチングとジオコーディングの優先設定を Geocode サービスに指定して、関連する緯度/経度座標とロケーション情報を受信することができます。POST リクエストの優先設定オプションは、使用可能なオプションの完全集合です。

ベース URI

```
http://<server>:<port>/rest/GlobalGeocode/geocode[.content type]
```

リクエストパラメータ

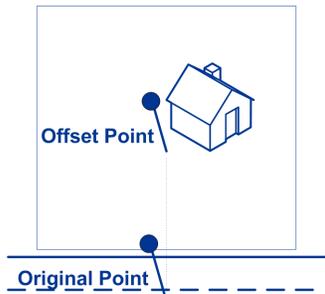
POST リクエストは、次の入力パラメータで構成されます。

- **addresses** - ジオコーディングする 1 つ以上の住所。Address オブジェクトの住所配列。住所配列には、1 つ以上の入力住所を含めることができます。必須
- **type** - ジオコードのタイプ。これはオプションです。type パラメータはオプションです。
- **preferences** - マッチングとジオコーディングのオプション。これはオプションです。
- **mustMatchMode** - 一致候補を判断するための一致条件。これはオプションです。
- **returnFieldsDescriptor** - 候補に対して返される追加データを制御します。これはオプションです。

これらのオブジェクトとその要素の定義は、以下の表のとおりです。

パラメータ	タイプ	説明
POST: type	文字列	実行されるジオコード タイプ。これはオプションです。
GET: geocodeType		<p>ADDRESS 通り住所にジオコーディングします。デフォルト</p> <p>GEOGRAPHIC 都市または州の地理的セントロイドにジオコーディングします。</p> <p>POSTAL 郵便番号にジオコーディングします。</p>
POST: returnAllCandidateInfo	Boolean	各候補に対して使用可能なすべての情報を返すかどうかを指定します。
		<p>true 各候補に対して使用可能なすべての情報を返します。</p> <p>false 各候補に対して使用可能なすべての情報を返しません。デフォルト</p>

パラメータ	タイプ	説明
POST: fallbackToGeographic GET: fallbackGeo	Boolean	住所レベルのジオコードを決定できない場合に、地理的セントロイドを決定しようとするかどうかを指定します。これはオプションです。 true 住所レベルのセントロイドを決定できない場合に地理的セントロイドを返します。デフォルト false 住所レベルのセントロイドを決定できない場合に地理的セントロイドを返しません。
POST: fallbackToPostal GET: fallbackPostal	Boolean	住所レベルのジオコードを決定できない場合に、郵便番号セントロイドを決定しようとするかどうかを指定します。これはオプションです。 true 住所レベルのセントロイドを決定できない場合に郵便番号セントロイドを返します。デフォルト false 住所レベルのセントロイドを決定できない場合に郵便番号セントロイドを返しません。
POST: maxReturnedCandidates GET: maxCands	Integer	返される候補の最大数。これはオプションです。整数値でなければなりません。デフォルトは 1 です。

パラメータ	タイプ	説明
streetOffset	Double	<p>通りセグメントからのオフセット距離。距離は streetOffsetUnits 優先設定で指定した単位です。デフォルト値は 7 メートルです。</p> <p>オフセット距離は、ジオコードが通りの中央に位置付けられるのを防ぐために、通りレベルのジオコーディングで使われます。通りレベルのジオコーディングを行うと、住所が位置する通りの中心点の緯度/経度が返されますが、これを補正するのがオフセットです。</p> <p>例えば、50 フィートのオフセットは、ジオコードが通りの中心から 50 フィート離れた場所を表すことを意味します。距離は、住所の通りセグメントから垂直方向に計算されます。また、オフセットは、通りをはさんで向かい合う住所が同じポイントになる</p>  <p>のを防ぐ目的にも使われます。</p>
streetOffsetUnits	文字列	<p>通りオフセットの距離単位。 Feet と Meters (デフォルト) のいずれかです。</p>
cornerOffset	Double	<p>通りレベルでのマッチングに使う通りの終端からのオフセット。距離は cornerOffsetUnits 優先設定で指定した単位です。この値は、通りの角の住所に交差点と同じジオコードが与えられるのを防ぐために使われます。角に対するジオコードポイントのオフセット位置を定義します。デフォルト値は 7 メートルです。</p> <p>以下に、通りの終点とオフセット終点の比較図を示します。</p> 

パラメータ	タイプ	説明
cornerOffsetUnits	文字列	通りオフセットの距離単位。 Feet と Meters (デフォルト) のいずれかです。
matchMode	文字列	<p>マッチモードにより、入力住所と参照データとの間のマッチングに適用される柔軟性が決まります。入力と求める出力の品質に応じて、マッチモードを選択します。以下のマッチモードがあります。</p> <p>EXACT 非常に厳格な一致を要求します。一致候補の数が最小となる制限の厳しいモードです。処理時間は短くなります。</p> <p>STANDARD 近似一致が求められ、適度な数の一致候補が生成されます。デフォルト</p> <p>RELAXED あいまいな一致を許し、生成される一致候補数は最も多くなります。処理時間は長くなりますが、結果としてより多くの一致が得られます。</p> <p>CUSTOM MustMatch フィールドを設定することによってマッチング条件を定義することができます。ただし、MustMatch フィールドは POST リクエストを使用する場合のみ設定可能です。GET リクエストに対しては、MustMatch のデフォルト値が適用されます。</p>
maxRanges	Integer	<p>範囲とは、同じ通りセグメントに沿って並ぶ複数の住所を意味します。例えば、5400-5499 Main St. は Main St. の 5400 番台のブロックにある住所を表す住所範囲です。範囲は、セグメント内の奇数または偶数だけ、あるいは奇数と偶数の両方の住所を表すことがあります。また、範囲は複数のユニットがあるアパートメントのような単一の建物を表すこともあります。</p> <p>このオプションは候補ごとに返す範囲の最大数を指定します。ジオコードはセグメントあたり 1 つの候補を返しますが、そのセグメントに複数の範囲が含まれる可能性があるため、このオプションを使って候補のセグメントにある他の範囲を確認できます。</p> <p>整数値でなければなりません。デフォルトは 0 です。</p>

パラメータ	タイプ	説明
maxRangeUnits	Integer	<p>このオプションは範囲ごとに返すユニット (アパートやスイートなど) の最大数を指定します。</p> <p>例えば、4つのスイートを含む 65 Main St. にあるオフィスビルのジオコーディングを行う場合、最大で4つのユニット (65 Suite 1、65 Suite 2、65 Suite 3、および 65 Suite 4) がその建物の範囲に対して返されます。ここでユニットの最大数を2に指定すると、4つすべてではなく2つのユニットだけが返されます。</p> <p>整数値でなければなりません。デフォルトは0です。</p>
POST: clientCoordSysName	文字列	<p>ジオメトリの変換先の座標系を指定します。形式は、European Petroleum Survey Group (EPSG) コードまたは SRID コードである必要があります。デフォルトは EPSG:4326 です。</p> <p>codespace:code という形式で、座標参照系を指定します。</p>
POST: matchOnAddressNumber	Boolean	<p>true 入力住所番号が一致する必要があります。</p> <p>false 入力住所番号が一致する必要はありません。デフォルト</p>
POST: matchOnPostCode1	Boolean	<p>true 入力された PostCode1 フィールドが一致する必要があります。</p> <p>false 入力された PostCode1 フィールドが一致する必要はありません。デフォルト</p>
POST: matchOnPostCode2	Boolean	<p>true 入力された PostCode2 フィールドが一致する必要があります。</p> <p>false 入力された PostCode2 フィールドが一致する必要はありません。デフォルト</p>
POST: matchOnAreaName1	Boolean	<p>true 入力された AreaName1 フィールドが一致する必要があります。</p> <p>false 入力された AreaName1 フィールドが一致する必要はありません。デフォルト</p>

パラメータ	タイプ	説明
POST: matchOnAreaName2	Boolean	<p>true 入力された AreaName2 フィールドが一致する必要があります。</p> <p>false 入力された AreaName2 フィールドが一致する必要はありません。デフォルト</p> <p>注: このオプションは、米国ではサポートされていません。</p>
POST: matchOnAreaName3	Boolean	<p>true 入力された AreaName3 フィールドが一致する必要があります。</p> <p>false 入力された AreaName3 フィールドが一致する必要はありません。デフォルト</p>
POST: matchOnAreaName4	Boolean	<p>true 入力された AreaName4 フィールドが一致する必要があります。</p> <p>false 入力された AreaName4 フィールドが一致する必要はありません。デフォルト</p>
POST: matchOnAllStreetFields	Boolean	<p>true 入力通り名、タイプ、方位記号の各フィールドが一致する必要があります。</p> <p>false 入力通り名、タイプ、方位記号の各フィールドが一致する必要はありません。デフォルト</p>
POST: returnAllCustomFields	Boolean	<p>true 候補に対するすべてのカスタム フィールドを返します。</p> <p>false 候補に対するフィールドの標準セットのみを返します。デフォルト</p>
POST: returnedCustomFieldKeys	List<String>	候補の customFields 出力で返されるカスタム フィールドを表すキーのリストを指定します。国に対して複数のキー/値のペアを指定するには、返すカスタム フィールドの名前をスペースで区切ります。カスタム フィールドは国によって異なります。例えば、“CTYST_KEY” や “DATATYPE” です。デフォルトは空です。

パラメータ	タイプ	説明
POST: returnMatchDescriptor	Boolean	<p>true 候補のどの部分が入力住所と一致したかを表す、マッチ記述子オブジェクトを返します。</p> <p>false マッチ記述子オブジェクトを返しません。デフォルト</p>
POST: returnStreetAddressFields	Boolean	<p>true formattedStreetAddress フィールドを構成する、以下に示す個々の通りフィールドをすべて個別に返します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MAIN_ADDRESS • THOROUGHFARE_TYPE • ADDRESS_ID • PRE_ADDRESS • POST_ADDRESS • PRE_DIRECTIONAL • POST_DIRECTIONAL <p>false 個々の通りフィールドを個別に返しません。これらの値を formattedStreetAddress フィールドに入れて返します。デフォルト</p>
POST: returnUnitInformation	Boolean	<p>true 可能な場合には、単位のタイプと単位の値の情報を個別に unitType および unitValue フィールドで、また formattedStreetAddress フィールドでも返します。</p> <p>false 可能な場合には、単位のタイプと単位の値の情報を formattedStreetAddress フィールドでのみ返します。デフォルト</p>

Geocode サービス レスポンス

GeocodeServiceResponse オブジェクト

Geocodeサービスへのリクエストに対して返される GeocodeServiceResponse オブジェクトには、次の要素が含まれています。

- totalPossibleCandidates — 可能性のある候補の総数。
- totalMatches — 一致の総数。
- candidates — 入力住所に一致した1つ以上の候補のリスト。各一致候補に対して、マッチング情報とロケーション情報が返されます。

名前	タイプ	説明
totalPossibleCandidates	Integer	可能性のある候補の総数を示します。
totalMatches	Integer	一致の総数を示します。
Candidateタイプの candidates オブジェクト。1つ以上の一致候補の配列と、関連する住所情報、一致情報、およびロケーション情報で構成されます。以下の要素を含みます。		

名前	タイプ	説明
precisionLevel	Integer	<p>ジオコードの精度を表すコード。次のいずれかです。</p> <p>0 この候補住所の座標情報はありません。</p> <p>1 補間された通り住所。</p> <p>2 通りセグメントの中間点。</p> <p>3 郵便番号 1 セントロイド。</p> <p>4 部分郵便番号 2 セントロイド。</p> <p>5 郵便番号 2 セントロイド。</p> <p>6 交差点。</p> <p>7 POI (point-of-interest)。 (データベースに POI データが含まれる場合)</p> <p>8 州/省セントロイド。</p> <p>9 郡セントロイド。</p> <p>10 都市セントロイド。</p> <p>11 地方セントロイド。</p> <p>12-15 未指定のカスタム項目用に予約されています。</p> <p>16 結果は住所ポイント。</p> <p>17 住所ポイント データを使って候補セグメント データを修正することによって、結果が生成されています。</p> <p>18 結果は、中央線オフセット機能を使用して投影された住所ポイント。中央線オフセット機能を使用するには、ポイントと通り範囲の両方のデータベースが必要です。</p> <p>注: 米国ではこのフィールドは返されません。米国のジオコーディングの精度情報については、ロケーションコード (249ページ) を参照してください。</p>
formattedStreetAddress	String	フォーマット済みのメイン住所行。
formattedLocationAddress	String	フォーマット済みの最後の住所行。
identifier	String	通りレベルまたはポイントレベルの候補の場合は通常、セグメント ID です。

名前	タイプ	説明
----	-----	----

precisionCode	String	
---------------	--------	--

名前

タイプ 説明

ジオコードの精度を表すコード。

ジオコード結果文字列のフォーマットは、`match_category[additional_match_information]`です。

一致カテゴリには、次のものがあります。

- Z1** 郵便番号 1 セントロイドとの郵便番号の一致。
- Z2** 郵便番号 2 セントロイドとの郵便番号の部分的な一致。
- Z3** 郵便番号 2 セントロイドとの郵便番号の一致。
- G1** エリア名 1 セントロイドとの地理的な一致。
- G2** エリア名 2 セントロイドとの地理的な一致。
- G3** エリア名 3 セントロイドとの地理的な一致。
- G4** エリア名 4 セントロイドとの地理的な一致。

'S'カテゴリの一致は、レコードが単一の住所候補に一致したことを意味します。

- SX** 交差点に位置するポイント。
- SC** 最も近いセグメントから予測された家レベルに位置するポイントと一致。
- S0** 座標はありませんが、住所の一部がソースデータと一致した可能性があります。
- S4** ジオコードは、通り セントロイドに位置します。
- S5** ジオコードは、通り住所に位置します。
- S7** ジオコードは、家の場所のポイント間を補間した通り住所に位置します。
- S8** 家の場所に位置するポイントと一致。

追加のマッチ情報は、HPNTSCSZAという形式をとります。該当するコンポーネントが一致しなかった場合は、その文字の箇所にダッシュ(-)が表示されます。

- H** 家番号。
- P** 通りの前置方位記号。
- N** 通り名。
- T** 通りタイプ。
- S** 通りの後置方位記号。
- C** 都市の名前。
- Z** 郵便番号。

名前	タイプ	説明
		<p>A ジオコーディング データセット。</p> <p>U カスタム ユーザ辞書。</p> <p>注：国固有の意味と値の詳細については、「グローバル結果コード (266ページ)」を参照してください。</p>
sourceDictionary	String	候補情報とデータのソースとなる辞書。ソースの辞書は、設定されているどの辞書から候補が得られたかを 0 基準の整数値で示します。辞書が 1 つしかない場合、この値は常に "0" になります。
Matching オブジェクト。入力のどの部分が一致したかを表します。次の要素で構成されます。		
matchOnAddressNumber	Boolean	<p>入力住所番号が候補の住所番号と一致したかどうかを表します。</p> <p>True 入力住所番号は候補の住所番号と一致しています。</p> <p>False 入力住所番号は候補の住所番号と一致していません。</p>
matchOnPostCode1	Boolean	<p>入力の postCode1 フィールドが候補の postCode1 フィールドと一致したかどうかを表します。</p> <p>True 入力の postCode1 は候補の postCode1 と一致しています。</p> <p>False 入力の postCode1 は候補の postCode1 と一致していません。</p>
matchOnPostCode2	Boolean	<p>入力の postCode2 フィールド (拡張郵便番号) が候補の postCode2 フィールドと一致したかどうかを表します。</p> <p>True 入力の postCode2 は候補の postCode2 と一致しています。</p> <p>False 入力の postCode2 は候補の postCode2 と一致していません。</p>
matchOnAreaName1	Boolean	<p>入力の areaName1 フィールドが候補の areaName1 フィールドと一致したかどうかを表します。</p> <p>True 入力の areaName1 は候補の areaName1 と一致しています。</p> <p>False 入力の areaName1 は候補の areaName1 と一致していません。</p>

名前	タイプ	説明
matchOnAreaName2	Boolean	入力の areaName2 フィールドが候補の areaName2 フィールドと一致したかどうかを表します。 True 入力の areaName2 は候補の areaName2 と一致しています。 False 入力の areaName2 は候補の areaName2 と一致していません。
matchOnAreaName3	Boolean	入力の areaName3 フィールドが候補の areaName3 フィールドと一致したかどうかを表します。 True 入力の areaName3 は候補の areaName3 と一致しています。 False 入力の areaName3 は候補の areaName3 と一致していません。
matchOnAreaName4	Boolean	入力の areaName4 フィールドが候補の areaName4 フィールドと一致したかどうかを表します。 True 入力の areaName4 は候補の areaName4 と一致しています。 False 入力の areaName4 は候補の areaName4 と一致していません。
matchOnStreetName	Boolean	入力通り名が候補の通り名と一致したかどうかを表します。 True 入力通り名は候補の通り名と一致しています。 False 入力通り名は候補の通り名と一致していません。
matchOnStreetType	Boolean	入力通りタイプが候補の通りタイプと一致したかどうかを表します。 True 入力通りタイプは候補の通りタイプと一致しています。 False 入力通りタイプは候補の通りタイプと一致していません。

名前	タイプ	説明
matchOnStreetDirectional	Boolean	<p>入力通り方位記号が候補の通り方位記号と一致したかどうかを表します。</p> <p>True 入力通り方位記号は候補の通り方位記号と一致しています。</p> <p>False 入力通り方位記号は候補の通り方位記号と一致していません。</p>
matchOnPlaceName	Boolean	<p>入力場所名が候補の場所名と一致したかどうかを表します。</p> <p>True 入力場所名は候補の場所名と一致しています。</p> <p>False 入力場所名は候補の場所名と一致していません。</p>
<p>geometry オブジェクト。返されるジオコード。次の要素で構成されます。</p>		
coordinates	Double	候補のジオコード。x (緯度) および y (経度) 座標がカンマで区切って指定されます。
crs	String	候補のジオコードに使用される座標参照系。
type	String	ジオメトリ タイプ。戻り値は常に Point です。
<p>address オブジェクト。返された候補住所。以下の要素の一部を含む場合があります。</p>		
mainAddressLine	String	候補の住所行。
addressLastLine	String	候補の最後の住所行。
placeName	String	企業、会社、組織、事業、または建物名。
areaName1	String	州、省、または地域。
areaName2	String	郡または地区。
areaName3	String	都市、町、または郊外。

名前	タイプ	説明
areaName4	String	地方
postCode1	String	主要な郵便番号。
postCode2	String	候補住所が存在する場所の補助的な郵便番号。
country	String	Country
addressNumber	String	家または建物番号。
streetName	String	通り名。
unitType	String	ユニットタイプ。Apt.、Ste.、Bldg. など。
unitValue	String	ユニットの値/番号。"3B" など。
customFields	オブジェクト	返されるフィールドと対応する値は、国によって異なります。付録にある 国固有の情報 セクションを参照してください。
ranges:CandidateRange オブジェクト。候補の範囲に関する情報を含みます。次の要素で構成されます。		
placeName	String	候補の場所または建物の名前 (該当する場合)。
lowHouse	String	候補の通り範囲にある家番号の最小値。
highHouse	String	候補の通り範囲にある家番号の最大値。
side	String	候補の範囲が、通りの左側と右側のどちらに存在するかという情報。 LEFT 範囲は、通りの左側に面しています。 RIGHT 範囲は、通りの右側に面しています。 BOTH 範囲は、通りの左側と右側の両方にあります。 UNKNOWN 範囲が通りのどちら側に面しているかという情報は ありません。

名前	タイプ	説明
oddEvenIndicator	String	候補の範囲の家番号に関する情報。 ODD 範囲には、奇数の家番号が含まれます。 EVEN 範囲には、偶数の家番号が含まれます。 BOTH 範囲には、奇数と偶数の両方の家番号が含まれます。 IRREGULAR 範囲には、奇数と偶数の両方の家番号が不規則な順序で含まれます。 UNKNOWN 範囲内の家番号が奇数か偶数かという情報はありません。
customValues	マップ	候補の範囲に関連するローカル値のマップ。
units:CandidateRangeUnit オブジェクト。候補の範囲のユニットに関する情報を含みます。次の要素で構成されます。		
placeName	String	候補の場所または建物の名前 (該当する場合)。
unitType	String	ユニット タイプ (APT や STE など)。
highUnitValue	String	範囲内のユニット番号の最大値。
lowUnitValue	String	範囲内のユニット番号の最小値。
customValues	マップ	ユニットに関連するローカル値のマップ。

例

Geocode JSON GET リクエストとレスポンス**JSON GET リクエスト**

以下は、Geocodeサービスに対するJSON GET リクエストの例です。クエリパラメータの区切りにはアンパサンドを使用することに注意してください。

```
GET http://myserver:8080/rest/GlobalGeocode/geocode.json?
mainAddress=SANTA ANA&country=Mex&areaName1=DISTRITO FEDERAL
&postalCode=44910 HTTP/1.1
```

JSON GET レスポンス

以下は、先ほどのリクエストによって返される JSONレスポンスです。

```
{
  "totalPossibleCandidates": 3,
  "totalMatches": 3,
  "candidates": [
    {
      "precisionLevel": 3,
      "formattedStreetAddress": "",
      "formattedLocationAddress": "44910 GUADALAJARA, JALISCO",
      "identifier": null,
      "precisionCode": "Z1",
      "sourceDictionary": "0",
      "matching": null,
      "geometry": {
        "type": "Point",
        "coordinates": [
          -103.356,
          20.64732
        ],
        "crs": {
          "type": "name",
          "properties": {
            "name": "epsg:4326"
          }
        }
      },
      "address": {
        "mainAddressLine": "",
        "addressLastLine": "44910 GUADALAJARA, JALISCO",
        "placeName": "",
        "areaName1": "JALISCO",

```

```
        "areaName2": "GUADALAJARA",
        "areaName3": "GUADALAJARA",
        "areaName4": "8 DE JULIO 1RA SECC",
        "postCode1": "44910",
        "postCode2": "",
        "country": "MEX",
        "addressNumber": "",
        "streetName": "",
        "unitType": null,
        "unitValue": null,
        "customFields": {}
    },
    "ranges": []
}
]
```

Geocode XML GET リクエストとレスポンス

XML GET リクエスト

以下は、Geocode サービスに対する XML リクエストの例です。

```
GET http://myserver:8080/rest/GlobalGeocode/geocode.json?
mainAddress=18 Merivales St&country=AUS&areaName1=QLD&postalCode=4101
HTTP/1.1
```

XML GET レスポンス

以下は、先ほどのリクエストによって返される XML レスポンスです。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<GeocodeServiceResponse>
  <totalPossibleCandidates>1</totalPossibleCandidates>
  <totalMatches>1</totalMatches>
  <candidates>
    <precisionLevel>1</precisionLevel>
    <formattedStreetAddress>
      18 MERIVALE STREET</formattedStreetAddress>
    <formattedLocationAddress>
      SOUTH BRISBANE QLD 4101</formattedLocationAddress>
    <identifier>300211549</identifier>
    <precisionCode>S5HP-TSCZA</precisionCode>
    <sourceDictionary>0</sourceDictionary>
    <geometry>
      <type>Point</type>
      <coordinates>153.01511420131578</coordinates>
      <coordinates>-27.47292827752508</coordinates>
      <crs>
        <type>name</type>
        <properties>
          <name>epsg:4326</name>
        </properties>
      </crs>
    </geometry>
    <address>
      <mainAddressLine>18 MERIVALE STREET</mainAddressLine>
      <addressLastLine>SOUTH BRISBANE QLD 4101</addressLastLine>
      <placeName />
      <areaName1>QLD</areaName1>
      <areaName2>BRISBANE CITY</areaName2>
      <areaName3>SOUTH BRISBANE</areaName3>
      <areaName4 />
      <postCode1>4101</postCode1>
      <postCode2 />
      <country>AUS</country>
      <addressNumber>18</addressNumber>
    </address>
  </candidates>
</GeocodeServiceResponse>
```

```
    <streetName>MERIVALE</streetName>
    <customFields />
</address>
<ranges>
  <lowHouse>6</lowHouse>
  <highHouse>18</highHouse>
  <side>RIGHT</side>
  <oddEvenIndicator>BOTH</oddEvenIndicator>
  <customValues />
</ranges>
</candidates>
</GeocodeServiceResponse>
```

Geocode JSON POST リクエストとレスポンス

JSON POST リクエスト

以下は、Geocodeサービスに対するJSON POST リクエストの例です。この例では、住所のポイント補間機能が `customPreferences` で有効になっています。

```
POST http://myserver:8080/rest/GlobalGeocode/geocode.json HTTP/1.1
{
  "type": "ADDRESS",
  "preferences": {
    "returnAllCandidateInfo": null,
    "fallbackToGeographic": null,
    "fallbackToPostal": null,
    "maxReturnedCandidates": null,
    "distance": null,
    "streetOffset": null,
    "cornerOffset": null,
    "matchMode": null,
    "clientLocale": null,
    "clientCoordSysName": null,
    "distanceUnits": null,
    "streetOffsetUnits": null,
    "cornerOffsetUnits": null,
    "mustMatchFields": {
      "matchOnAddressNumber": false,
      "matchOnPostCode1": false,
      "matchOnPostCode2": false,
      "matchOnAreaName1": false,
      "matchOnAreaName2": false,
      "matchOnAreaName3": false,
      "matchOnAreaName4": false,
      "matchOnAllStreetFields": false,
      "matchOnStreetName": false,
      "matchOnStreetType": false,
      "matchOnStreetDirectional": false,
      "matchOnPlaceName": false,
      "matchOnInputFields": false
    },
    "returnFieldsDescriptor": null,
    "customPreferences": {
      "USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION": "true"
    },
    "preferredDictionaryOrders": null
  },
  "addresses": [
    {
      "mainAddressLine": "21 Byng Ave, toronto ON M9W 2M5",
      "addressLastLine": null,
      "placeName": null,

```

```

    "areaName1": null,
    "areaName2": null,
    "areaName3": null,
    "areaName4": null,
    "postCode1": null,
    "postCode2": null,
    "country": "CAN",
    "addressNumber": null,
    "streetName": null,
    "unitType": null,
    "unitValue": null,
    "customFields": null
  }
]
}

```

JSON POST レスポンス

以下は、先ほどのリクエストによって返される JSONレスポンスです。

```

{
  "responses": [
    {
      "totalPossibleCandidates": 1,
      "totalMatches": 1,
      "candidates": [
        {
          "precisionLevel": 16,
          "formattedStreetAddress": "21 BYNG AVE",
          "formattedLocationAddress": "TORONTO ON M9W 2M5",
          "identifier": "29566199",
          "precisionCode": "S8HPNTSCZA",
          "sourceDictionary": "1",
          "matching": null,
          "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
              -79.54916,
              43.72659
            ],
            "crs": {
              "type": "name",
              "properties": {
                "name": "epsg:4326"
              }
            }
          },
          "address": {
            "mainAddressLine": "21 BYNG AVE",
            "addressLastLine": "TORONTO ON M9W 2M5",
            "placeName": "",
            "areaName1": "ON",

```

```
        "areaName2": "TORONTO",
        "areaName3": "TORONTO",
        "areaName4": "",
        "postCode1": "M9W",
        "postCode2": "2M5",
        "country": "CAN",
        "addressNumber": "21",
        "streetName": "BYNG",
        "unitType": null,
        "unitValue": null,
        "customFields": {}
    },
    "ranges": [
        {
            "placeName": null,
            "lowHouse": "21",
            "highHouse": "21",
            "side": "LEFT",
            "oddEvenIndicator": "ODD",
            "units": [],
            "customValues": {
                "AREA_NAME_1": "ON",
                "POST_CODE_1": "M9W",
                "POST_CODE_2": "2M5",
                "AREA_NAME_3": "ETOBICOKE"
            }
        }
    ]
}
}
```

Geocode XML POST リクエストとレスポンス

XML POST リクエスト

以下は、Geocode サービスに対する XML POST リクエストの例です。この例は、中央線オフセット機能を `customPreferences` で有効にしたり `matchOnAddressNumber` および `matchOnStreetName` フィールドを `mustMatchFields` オブジェクト内で設定したりする方法を示しています。`mustMatchFields` 設定を有効にするために、`matchMode` フィールドは `CUSTOM` に設定されています。

```
POST http://myserver:8080/rest/GlobalGeocode/geocode.xml HTTP/1.1
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<geocodeRequest>
  <type>ADDRESS</type>
  <preferences>
    <returnAllCandidateInfo
      xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
      xsi:nil="true" />
    <fallbackToGeographic
      xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
      xsi:nil="true" />
    <fallbackToPostal
      xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
      xsi:nil="true" />
    <maxReturnedCandidates
      xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
      xsi:nil="true" />
    <distance
      xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
      xsi:nil="true" />
    <streetOffset
      xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
      xsi:nil="true" />
    <cornerOffset
      xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
      xsi:nil="true" />
    <matchMode>CUSTOM</matchMode>
    <mustMatchFields>
      <matchOnAddressNumber>true</matchOnAddressNumber>
      <matchOnPostCode1>false</matchOnPostCode1>
      <matchOnPostCode2>false</matchOnPostCode2>
      <matchOnAreaName1>false</matchOnAreaName1>
      <matchOnAreaName2>false</matchOnAreaName2>
      <matchOnAreaName3>false</matchOnAreaName3>
      <matchOnAreaName4>false</matchOnAreaName4>
      <matchOnAllStreetFields>false</matchOnAllStreetFields>
      <matchOnStreetName>true</matchOnStreetName>
      <matchOnStreetType>false</matchOnStreetType>
      <matchOnStreetDirectional>false</matchOnStreetDirectional>
      <matchOnPlaceName>false</matchOnPlaceName>
```

```

    <matchOnInputFields>false</matchOnInputFields>
  </mustMatchFields>
  <customPreferences>
    <entry>
      <key
        xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
        xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
        xsi:type="xs:string">CENTERLINE_OFFSET_UNIT</key>
      <value
        xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
        xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
        xsi:type="xs:string">FEET</value>
    </entry>
    <entry>
      <key
        xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
        xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
        xsi:type="xs:string">CENTERLINE_OFFSET</key>
      <value xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
        xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
        xsi:type="xs:string">30.0</value>
    </entry>
    <entry>
      <key
        xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
        xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
        xsi:type="xs:string">USE_CENTERLINE_OFFSET</key>
      <value
        xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
        xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
        xsi:type="xs:string">>true</value>
    </entry>
  </customPreferences>
</preferences>
<addresses>
  <mainAddressLine>
    36 Rue de la Haute Moline Champagne-Ardenne 10800
  </mainAddressLine>
  <country>FRA</country>
</addresses>
</geocodeRequest>

```

XML POST レスポンス

以下は、先ほどのリクエストによって返される XML レスポンスです。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<GeocodeServiceResponseList>
  <responses>
    <totalPossibleCandidates>1</totalPossibleCandidates>
    <totalMatches>1</totalMatches>
    <candidates>

```

```

<precisionLevel>1</precisionLevel>
<formattedStreetAddress>
  36 rue de la Haute Moline
</formattedStreetAddress>
<formattedLocationAddress>
  10800 Saint-Julien-les-Villas
</formattedLocationAddress>
<identififier>65277882</identififier>
<precisionCode>S5HPNTS-ZA</precisionCode>
<sourceDictionary>0</sourceDictionary>
<geometry>
  <type>Point</type>
  <coordinates>4.10284503209829</coordinates>
  <coordinates>48.28588205764661</coordinates>
  <crs>
    <type>name</type>
    <properties>
      <name>epsg:4326</name>
    </properties>
  </crs>
</geometry>
<address>
  <mainAddressLine>36 rue de la Haute Moline</mainAddressLine>

  <addressLastLine>
    10800 Saint-Julien-les-Villas
  </addressLastLine>
  <placeName />
  <areaName1>Champagne-Ardenne</areaName1>
  <areaName2>Aube</areaName2>
  <areaName3>Saint-Julien-les-Villas</areaName3>
  <areaName4 />
  <postCode1>10800</postCode1>
  <postCode2 />
  <country>FRA</country>
  <addressNumber>36</addressNumber>
  <streetName>de la Haute Moline</streetName>
  <customFields />
</address>
<ranges>
  <lowHouse>34</lowHouse>
  <highHouse>38</highHouse>
  <side>RIGHT</side>
  <oddEvenIndicator>EVEN</oddEvenIndicator>
  <customValues />
</ranges>
</candidates>
</responses>
</GeocodeServiceResponseList>

```

Reverse Geocode サービス

Reverse Geocode サービス リクエスト

Reverse Geocode GET リクエスト

GETリクエストでは、入力座標と座標参照系を送信し、オプションでマッチングに使用する検索距離と国コードを指定できます。関連する住所データが返されます。GETリクエストの優先設定オプションは、POST リクエストで使用可能なすべてのオプションのサブセットです。

ベース URI

```
http://<server>:<port>/rest/GlobalGeocode/reverseGeocode.[content type]?[query parameters]
```

説明:

`.[content type]` は、指定されたコンテンツ タイプがデフォルトで使用されることを示します。これはオプションです。

json

JSONコンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは HTTP です

xml

XMLコンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは HTTP です

`[query parameters]` については、次のセクションで説明します。

クエリ パラメータ

以下の表に、Reverse Geocode サービスに対するGETクエリ パラメータを示します。レスポンスの詳細については、[GeocodeServiceResponse オブジェクト](#) (77ページ) を参照してください。

名前	タイプ	説明
x	Double	緯度 (単位: 度)。必須例: -79.391165

名前	タイプ	説明
y	Double	経度 (単位: 度)。必須例: 43.643469
country	String	3文字の ISO 国コード。例: CAN。これはオプションです。ISO コードの一覧は、 国参照一覧と ISO 3166-1 国コード (278ページ) を参照してください。
coordSysName	文字列 (URL エンコード)	ジオメトリの変換先の座標系を指定します。形式は、European Petroleum Survey Group (EPSG) コードまたは SRID コードである必要があります。デフォルトは EPSG:4326 です。 codespace:code という形式で、座標参照系を指定します。
distance	Double	Reverse Geocode サービスにおいて、入力座標に一致するものを検索する半径を設定します。単位は、distanceUnitsによって指定されます。デフォルトは 150 メートルです。最大値は 5280 フィート (1 マイル)、1609 メートルです。
distanceUnits	String	検索距離の単位を指定します。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • Feet • Meters - Default

Reverse Geocode POST リクエスト

POSTリクエストでは、単一の入力座標または座標リストをバッチ処理用に送信することができます。国コード、座標参照系、マッチングの優先設定を、オプションで指定できます。候補のリストを、関連する住所データとマッチング情報とともに含むレスポンスが返されます。POSTリクエストの優先設定オプションは、使用可能なオプションの完全集合です。

ベース URI

```
http://<server>:<port>/rest/GlobalGeocode/reverseGeocode.[content type]
```

説明:

`.[content type]` は、指定されたコンテンツ タイプがデフォルトで使用されることを示します。これはオプションです。

json

JSONコンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは HTTP です

xml

XMLコンテンツネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツタイプは HTTP です

リクエストパラメータ

POSTリクエストは、次の入力パラメータで構成されます。

- `points` — リバースジオコーディングを行う (複数の) 入力座標。必須
- `preferences` — マッチングオプション。これはオプションです。

これらのオブジェクトとその要素の定義は、以下の表のとおりです。

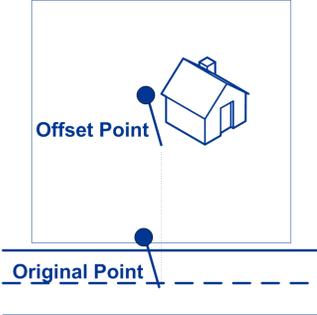
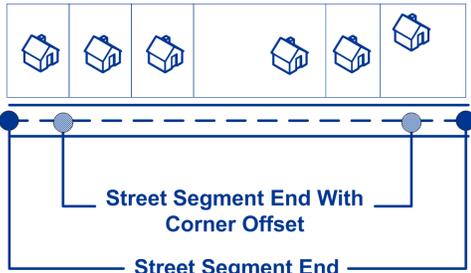
名前	タイプ	説明
<code>points</code>	ジオメトリ オブジェクトと国コード文字列の両方が含まれている配列オブジェクト。	
<code>country</code>	String	リバースジオコード結果を検索する国。3文字のISO国コードで指定します。これはオプションです。国コードについては、 国参照一覧と ISO 3166-1 国コード (278ページ) を参照してください。
Geometry オブジェクト。次の要素で構成されます。		
<code>coordinates</code>	Double	入力 <code>x, y</code> 座標。 <code>x</code> は緯度、 <code>y</code> は経度。例: <code>[-105.25175, 40.024494]</code>
<code>type</code>	String	入力座標が表す地理的エンティティのタイプ。 point 入力座標はポイント ロケーションを表します。
<code>crs</code>	String	入力座標で使用されている座標参照系。形式は、European Petroleum Survey Group (EPSG) コードまたは SRID コードである必要があります。デフォルトはEPSG:4326です。 <code>codespace:code</code> という形式で、座標参照系を指定します。

Preferences オブジェクト。次の要素で構成されます。

注: `preferences` オブジェクト内の次の要素のみが Reverse Geocode サービスに適用可能です。

注: 特定の国の `preferences` 要素のデフォルト値をオーバーライドするには、 `customPreferences` オブジェクトにキー/値のペアを、ISO-3166 の3文字の国コード、ピリオド、キー定数の形式で指定します。
例: `DEU.streetOffset`。

名前	タイプ	説明
distance	Double	Reverse Geocode サービスにおいて、入力座標に一致するものを検索する半径を設定します。単位は、distanceUnits によって指定されます。デフォルトは 150 メートルです。最大値は 5280 フィート (1 マイル)、1609 メートルです。
distanceUnits	String	<p>検索距離の単位を指定します。次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Feet • Meters - Default
clientLocale	String	<p>このフィールドは、複数の言語が存在する国で言語の候補の優先順位を決定するために使用されます。ロケールは、"cc_CC" という形式で指定する必要があります。ここで、cc" は言語、"CC" は ISO 3166-1 Alpha-2 コードであり、ロケールは en-US、fr_CA、fr_FR のようになります。</p> <p>例えば、エジプトでは英語とアラビア語の両方がサポートされています。clientLocale フィールドは、英語優先 (en-EN) またはアラビア語優先 (ar-EG) のどちらかに設定できます。</p> <p>注：ISO Alpha-2 国コードの一覧については、国参照一覧と ISO 3166-1 国コード (278ページ) を参照してください。</p>
POST: clientCoordSysName	文字列	<p>ジオメトリの変換先の座標系を指定します。形式は、European Petroleum Survey Group (EPSG) コードまたは SRID コードである必要があります。デフォルトは EPSG:4326 です。</p> <p>codespace:code という形式で、座標参照系を指定します。</p>

名前	タイプ	説明
streetOffset	Double	<p>通りセグメントからのオフセット距離。距離は <code>streetOffsetUnits</code> 優先設定で指定した単位です。デフォルト値は 7 メートルです。</p> <p>オフセット距離は、ジオコードが通りの中央に位置付けられるのを防ぐために、通りレベルのジオコーディングで使われます。通りレベルのジオコーディングを行うと、住所が位置する通りの中心点の緯度/経度が返されますが、これを補正するのがオフセットです。</p> <p>例えば、50 フィートのオフセットは、ジオコードが通りの中心から 50 フィート離れた場所を表すことを意味します。距離は、住所の通りセグメントから垂直方向に計算されます。また、オフセットは、通りをはさんで向かい合う住所が同じポイントになるのを防ぐ目的にも使われます。</p> 
streetOffsetUnits	文字列	通りオフセットの距離単位。 Feet と Meters (デフォルト) のいずれかです。
cornerOffset	Double	<p>通りレベルでのマッチングに使う通りの終端からのオフセット。距離は <code>cornerOffsetUnits</code> 優先設定で指定した単位です。この値は、通りの角の住所に交差点と同じジオコードが与えられるのを防ぐために使われます。角に対するジオコードポイントのオフセット位置を定義します。デフォルト値は 7 メートルです。</p> <p>以下に、通りの終点とオフセット終点の比較図を示します。</p> 
cornerOffsetUnits	文字列	通りオフセットの距離単位。 Feet と Meters (デフォルト) のいずれかです。

名前	タイプ	説明
customPreferences	Map<String key, String value>	<p>国固有の入力優先設定を指定します。このオブジェクトを使用して、以下の項目を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • preferences または returnFieldsDescriptor オブジェクト内の (複数の) 要素のデフォルト値に対する、国固有のオーバーライド。 • 国に対するカスタム入力オプション。 <p>特定の国のデフォルト値をオーバーライドするには、キー一定数の前に ISO-3 の国コードとピリオドを付け、値を指定します。例えば、XML リクエストでは、国のデフォルト値をオーバーライドするための入力は次のようになります。</p> <pre><customPreferences> <entry> <key>CAN.distance</key> <value>300</value> </entry> </customPreferences></pre> <p>国のカスタム入力オプションは、以下の国に対して提供されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オーストラリア (AUS) (134ページ) • カナダ (CAN) (157ページ) • フランス (FRA) (159ページ) • ドイツ (DEU) (160ページ) • 英国 (GBR) (161ページ) • ニュージーランド (NZL) (162ページ) • ポルトガル (PRT) (164ページ) • シンガポール (SGP) (165ページ) • スウェーデン (SWE) (166ページ) • 米国 (USA) <p>また、カスタムユーザ辞書と標準ジオコーディングデータセットの両方をサポートしている国については、キー KEY_CUSTOM_DICTIONARY_USAGE によってカスタム優先設定を設定できます。このキーは、カスタム辞書と標準辞書の両方がジオコーディングエンジンで使用可能な場合の検索とマッチングの優先設定を定義します。このオプションは、フォワードジオコーディングにのみ使用可能です。詳細については、標準およびカスタム辞書使用時の検索とマッチングの優先設定 (11ページ) を参照してください。各国がカスタムユーザ辞書をサポートしているかどうかという情報については、その国の「サポートされているジオコーディングデータセット」セクションを参照してください。</p>

Reverse Geocode サービス レスポンス

GeocodeServiceResponse オブジェクト

Reverse Geocode サービスへのリクエストに対して返される GeocodeServiceResponse オブジェクトには、次の要素が含まれています。

- totalPossibleCandidates— 可能性のある候補の総数。
- totalMatches— 一致の総数。
- candidates オブジェクト — 入力座標に一致した 1 つ以上の候補のリスト。各候補に対して、マッチング情報と住所情報が返されます。

表 1 : GeocodeServiceResponse 要素の定義

名前	タイプ	説明
totalPossibleCandidates	Integer	可能性のある候補の総数を示します。
totalMatches	Integer	一致の総数を示します。
Candidate 型の candidates オブジェクト。1 つ以上の一致候補の配列と、関連する住所情報、一致情報、およびロケーション情報で構成されます。以下の要素を含みます。		

名前	タイプ	説明
precisionLevel	Integer	<p>ジオコードの精度を表すコード。次のいずれかです。</p> <p>0 この候補住所の座標情報はありません。</p> <p>1 補間された通り住所。</p> <p>2 通りセグメントの中間点。</p> <p>3 郵便番号 1 セントロイド。</p> <p>4 部分郵便番号 2 セントロイド。</p> <p>5 郵便番号 2 セントロイド。</p> <p>6 交差点。</p> <p>7 POI (point-of-interest)。 (データベースに POI データが含まれる場合)</p> <p>8 州/省セントロイド。</p> <p>9 郡セントロイド。</p> <p>10 都市セントロイド。</p> <p>11 地方セントロイド。</p> <p>12-15 未指定のカスタム項目用に予約されています。</p> <p>16 結果は住所ポイント。</p> <p>17 住所ポイントデータを使って候補セグメントデータを修正することによって、結果が生成されています。</p> <p>18 結果は、中央線オフセット機能を使用して投影された住所ポイント。中央線オフセット機能を使用するには、ポイントと通り範囲の両方のデータベースが必要です。</p> <p>注：米国ではこのフィールドは返されません。米国のジオコーディングの精度情報については、ロケーションコード (249ページ) を参照してください。</p>
formattedStreetAddress	String	フォーマット済みのメイン住所行。
formattedLocationAddress	String	フォーマット済みの最後の住所行。
precisionCode	文字列	返されるリバースジオコーディング結果コードです。定義は付録に記されています。米国については 住所のロケーションコード (249ページ) を、その他すべての国については リバースジオコーディングの'R' 結果コード (275ページ) を参照してください。

名前	タイプ	説明
sourceDictionary	String	候補情報とデータのソースとなる辞書。ソースの辞書は、設定されているどの辞書から候補が得られたかを0基準の整数値で示します。辞書が1つしかない場合、この値は常に "0" になります。
geometry オブジェクト。返されるジオコード。次の要素で構成されます。		
coordinates	Double	候補のジオコード。x (緯度) および y (経度) 座標がカンマで区切って指定されます。
crs	String	候補のジオコードに使用される座標参照系。
type	String	ジオメトリ タイプ。戻り値は常に Point です。
address オブジェクト。返された候補住所。以下の要素の一部を含む場合があります。		
<p>注：次の住所要素の意味は、国によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • mainAddress • areaName1 • areaName2 • areaName3 • areaName4 • postCode1 • postCode2 <p>各国の情報については、詳細情報が記載された付録にある 国固有の情報 セクションを参照してください。</p>		
mainAddressLine	String	候補の住所行。
addressLastLine	String	候補の最後の住所行。
placeName	String	企業、会社、組織、事業、または建物名。
areaName1	String	州、省、または地域。
areaName2	String	郡または地区。
areaName3	String	都市、町、または郊外。

名前	タイプ	説明
areaName4	String	地方
postCode1	String	主要な郵便番号。
postCode2	String	候補住所が存在する場所の補助的な郵便番号。
country	String	Country
addressNumber	String	家または建物番号。
streetName	String	通り名。
unitType	String	ユニット タイプ。Apt.、Ste.、Bldg. など。
unitValue	String	ユニットの値/番号。"3B" など。
customFields	オブジェクト	返されるフィールドと対応する値は、国によって異なります。付録にある 国固有の情報 セクションを参照してください。
ranges:CandidateRange	オブジェクト	候補の範囲に関する情報を含みます。次の要素で構成されます。
placeName	String	候補の場所または建物の名前 (該当する場合)。
lowHouse	String	候補の通り範囲にある家番号の最小値。
highHouse	String	候補の通り範囲にある家番号の最大値。
side	String	候補の範囲が、通りの左側と右側のどちらに存在するかという情報。 LEFT 範囲は、通りの左側に面しています。 RIGHT 範囲は、通りの右側に面しています。 BOTH 範囲は、通りの左側と右側の両方にあります。 UNKNOWN 範囲が通りのどちら側に面しているかという情報はあません。

名前	タイプ	説明
oddEvenIndicator	String	候補の範囲の家番号に関する情報。 ODD 範囲には、奇数の家番号が含まれます。 EVEN 範囲には、偶数の家番号が含まれます。 BOTH 範囲には、奇数と偶数の両方の家番号が含まれます。 IRREGULAR 範囲には、奇数と偶数の両方の家番号が不規則な順序で含まれます。 UNKNOWN 範囲内の家番号が奇数か偶数かという情報はありませ
customValues	マップ	候補の範囲に関連するローカル値のマップ。

例

Reverse Geocode JSON GET リクエストおよびレスポンス**JSON GET リクエスト**

以下は、Reverse Geocode サービスに対するJSON GETリクエストの例です。複数のキー クエリパラメータに関連する値は、parameter1¶meter2=valueという構文によって各パラメータに割り当てることができます。

```
GET http://myserver:8080/rest/GlobalGeocode/reverseGeocode.json?
x=12.025594&y=57.712891&coordSysName=EPSG:4326&
distance=1&distanceUnits=METERS HTTP/1.1
```

JSON GET レスポンス

以下は、先ほどのリクエストによって返される JSONレスポンスです。

```
{
  "totalPossibleCandidates": 1,
  "totalMatches": 1,
  "candidates": [
    {
      "precisionLevel": 1,
      "formattedStreetAddress": "KALLKÄLLEGATAN 34",
      "formattedLocationAddress": "416 54 GÖTEBORG",
      "identifier": null,
      "precisionCode": "RS5A",
      "sourceDictionary": "0",
      "matching": null,
      "geometry": {
        "type": "Point",
        "coordinates": [
          12.025625,
          57.712566
        ],
        "crs": {
          "type": "name",
          "properties": {
            "name": "epsg:4326"
          }
        }
      },
      "address": {
        "mainAddressLine": "KALLKÄLLEGATAN 34",
        "addressLastLine": "416 54 GÖTEBORG",
        "placeName": ""
      }
    }
  ]
}
```

```
    "areaName1": "VÄSTRA GÖTALANDS LÄN",
    "areaName2": "GÖTEBORG",
    "areaName3": "GÖTEBORG",
    "areaName4": "",
    "postCode1": "416 54",
    "postCode2": "",
    "country": "SWE",
    "addressNumber": "34",
    "streetName": "KALLKÄLLE",
    "unitType": null,
    "unitValue": null,
    "customFields": {
      "REVERSE_GEOCODE_DISTANCE_UNIT": "METER",
      "REVERSE_GEOCODE_DISTANCE": "0.9420000000000001"
    }
  },
  "ranges": [
    {
      "placeName": null,
      "lowHouse": "34",
      "highHouse": "34",
      "side": "UNKNOWN",
      "oddEvenIndicator": "EVEN",
      "units": [],
      "customValues": {}
    }
  ]
}
]
```

Reverse Geocode XML GET リクエストおよびレスポンス

XML GET リクエスト

以下は、Reverse Geocode サービスに対する XML リクエストの例です。

```
GET http://myserver:8080/rest/GlobalGeocode/reverseGeocode.xml?
distanceUnits=METER&distance=100&coordSysName=EPSG:4326&y=51.543396
&x=13.419194 HTTP/1.1
```

XML GET レスポンス

以下は、先ほどのリクエストによって返される XML レスポンスです。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<GeocodeServiceResponse>
  <totalPossibleCandidates>1</totalPossibleCandidates>
  <totalMatches>1</totalMatches>
  <candidates>
    <precisionLevel>1</precisionLevel>
    <formattedStreetAddress>Am Weinberg 4</formattedStreetAddress>
    <formattedLocationAddress>
      04924 Uebigau-Wahrenbrück
    </formattedLocationAddress>
    <precisionCode>RS5A</precisionCode>
    <sourceDictionary>0</sourceDictionary>
    <geometry>
      <type>Point</type>
      <coordinates>13.41906511750789</coordinates>
      <coordinates>51.54321229045565</coordinates>
      <crs>
        <type>name</type>
        <properties>
          <name>epsg:4326</name>
        </properties>
      </crs>
    </geometry>
    <address>
      <mainAddressLine>Am Weinberg 4</mainAddressLine>
      <addressLastLine>04924 Uebigau-Wahrenbrück</addressLastLine>
      <placeName />
      <areaName1>Brandenburg</areaName1>
      <areaName2>Elbe-Elster</areaName2>
      <areaName3>Uebigau-Wahrenbrück</areaName3>
      <areaName4>Prestewitz</areaName4>
      <postCode1>04924</postCode1>
      <postCode2 />
      <country>DEU</country>
      <addressNumber>4</addressNumber>
      <streetName>Am Wein</streetName>
      <customFields>
```

```
    <entry>
      <key
        xmlns:xs="http:...
        xmlns:xsi="http:...
xsi:type="xs:string">REVERSE_GEOCODE_DISTANCE_UNIT</key>
      <value
        xmlns:xs="http:...
        xmlns:xsi="http:...
        xsi:type="xs:string">METERS</value>
    </entry>
    <entry>
      <key
        xmlns:xs="http:...
        xmlns:xsi="http:...
        xsi:type="xs:string">REVERSE_GEOCODE_DISTANCE</key>
      <value
        xmlns:xs="http:...
        xmlns:xsi="http:...
        xsi:type="xs:string">0.983</value>
    </entry>
  </customFields>
</address>
<ranges>
  <lowHouse>4</lowHouse>
  <highHouse>6</highHouse>
  <side>UNKNOWN</side>
  <oddEvenIndicator>EVEN</oddEvenIndicator>
  <customValues />
</ranges>
</candidates>
</GeocodeServiceResponse>
```

Reverse Geocode JSON POST リクエストおよびレスポンス

JSON POST リクエスト

以下は、Reverse Geocode サービスに対する JSON POSTリクエストの例です。

```
POST http://myserver:8080/rest/GlobalGeocode/reverseGeocode.json?
{
  "preferences": {
    "returnAllCandidateInfo": false,
    "fallbackToGeographic": true,
    "fallbackToPostal": true,
    "maxReturnedCandidates": 1,
    "distance": 100,
    "streetOffset": 7,
    "cornerOffset": 7,
    "matchMode": "UNSPECIFIED",
    "clientLocale": "en-US",
    "clientCoordSysName": "epsg:4326",
    "distanceUnits": "METER",
    "streetOffsetUnits": "METER",
    "cornerOffsetUnits": "METER",
    "mustMatchFields": {
      "matchOnAddressNumber": false,
      "matchOnPostCode1": false,
      "matchOnPostCode2": false,
      "matchOnAreaName1": false,
      "matchOnAreaName2": false,
      "matchOnAreaName3": false,
      "matchOnAreaName4": false,
      "matchOnAllStreetFields": false,
      "matchOnStreetName": false,
      "matchOnStreetType": false,
      "matchOnStreetDirectional": false,
      "matchOnPlaceName": false,
      "matchOnInputFields": false
    },
    "returnFieldsDescriptor": {
      "returnAllCustomFields": false,
      "returnMatchDescriptor": false,
      "returnStreetAddressFields": false,
      "returnUnitInformation": false,
      "returnedCustomFieldKeys": []
    },
    "customPreferences": {},
    "preferredDictionaryOrders": []
  },
  "points": [
    {
      "country": "FRA",
      "geometry": {
        "type": "point",
```

```

        "coordinates": [
            2.294449,
            48.85838
        ],
        "crs": {
            "type": "name",
            "properties": {
                "name": "EPSG:4326"
            }
        }
    }
}

```

JSON POST レスポンス

以下は、先ほどのリクエストによって返される JSONレスポンスです。

```

{
  "responses": [
    {
      "totalPossibleCandidates": 2,
      "totalMatches": 2,
      "candidates": [
        {
          "precisionLevel": 2,
          "formattedStreetAddress": "avenue Anatole France",
          "formattedLocationAddress": "75007 Paris",
          "identifier": null,
          "precisionCode": "RS4A",
          "sourceDictionary": "1",
          "matching": null,
          "geometry": {
            "type": "Point",
            "coordinates": [
              2.2948623,
              48.858486
            ],
            "crs": {
              "type": "name",
              "properties": {
                "name": "epsg:4326"
              }
            }
          }
        },
        {
          "address": {
            "mainAddressLine": "avenue Anatole France",
            "addressLastLine": "75007 Paris",
            "placeName": "",
            "areaName1": "Ile-de-France",
            "areaName2": "Paris",

```

```

        "areaName3": "Paris",
        "areaName4": "7e Arrondissement Paris",
        "postCode1": "75007",
        "postCode2": "",
        "country": "FRA",
        "addressNumber": "",
        "streetName": "Anatole France",
        "unitType": null,
        "unitValue": null,
        "customFields": {
            "REVERSE_GEOCODE_DISTANCE_UNIT": "METER",
            "REVERSE_GEOCODE_DISTANCE": "23.3"
        }
    },
    "ranges": []
},
{
    "precisionLevel": 2,
    "formattedStreetAddress": "parc du Champ de Mars",
    "formattedLocationAddress": "75007 Paris",
    "identifiant": null,
    "precisionCode": "RS4A",
    "sourceDictionary": "1",
    "matching": null,
    "geometry": {
        "type": "Point",
        "coordinates": [
            2.2948623,
            48.858486
        ],
        "crs": {
            "type": "name",
            "properties": {
                "name": "epsg:4326"
            }
        }
    },
    "address": {
        "mainAddressLine": "parc du Champ de Mars",
        "addressLastLine": "75007 Paris",
        "placeName": "",
        "areaName1": "Ile-de-France",
        "areaName2": "Paris",
        "areaName3": "Paris",
        "areaName4": "7e Arrondissement Paris",
        "postCode1": "75007",
        "postCode2": "",
        "country": "FRA",
        "addressNumber": "",
        "streetName": "du Champ de Mars",
        "unitType": null,
        "unitValue": null,
        "customFields": {

```

```
    "REVERSE_GEOCODE_DISTANCE_UNIT": "METER",  
    "REVERSE_GEOCODE_DISTANCE": "23.3"  
  },  
  "ranges": []  
]  
}
```

Reverse Geocode XML POST リクエストおよびレスポンス

XML POST リクエスト

以下は、Reverse Geocode サービスに対する XML POST リクエストの例です。

```
POST http://myserver:8080/rest/GlobalGeocode/reverseGeocode.xml?
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<reverseGeocodeRequest>
  <preferences>
    <returnAllCandidateInfo>false</returnAllCandidateInfo>
    <fallbackToGeographic>true</fallbackToGeographic>
    <fallbackToPostal>true</fallbackToPostal>
    <maxReturnedCandidates>1</maxReturnedCandidates>
    <distance>150.0</distance>
    <streetOffset>7.0</streetOffset>
    <cornerOffset>7.0</cornerOffset>
    <matchMode>UNSPECIFIED</matchMode>
    <clientLocale>en-US</clientLocale>
    <clientCoordSysName>epsg:4326</clientCoordSysName>
    <distanceUnits>Meter</distanceUnits>
    <streetOffsetUnits>Meter</streetOffsetUnits>
    <cornerOffsetUnits>Meter</cornerOffsetUnits>
    <mustMatchFields>
      <matchOnAddressNumber>false</matchOnAddressNumber>
      <matchOnPostCode1>false</matchOnPostCode1>
      <matchOnPostCode2>false</matchOnPostCode2>
      <matchOnAreaName1>false</matchOnAreaName1>
      <matchOnAreaName2>false</matchOnAreaName2>
      <matchOnAreaName3>false</matchOnAreaName3>
      <matchOnAreaName4>false</matchOnAreaName4>
      <matchOnAllStreetFields>false</matchOnAllStreetFields>
      <matchOnStreetName>false</matchOnStreetName>
      <matchOnStreetType>false</matchOnStreetType>
      <matchOnStreetDirectional>false</matchOnStreetDirectional>
      <matchOnPlaceName>false</matchOnPlaceName>
      <matchOnInputFields>false</matchOnInputFields>
    </mustMatchFields>
    <returnFieldsDescriptor>
      <returnAllCustomFields>false</returnAllCustomFields>
      <returnMatchDescriptor>false</returnMatchDescriptor>
      <returnStreetAddressFields>false</returnStreetAddressFields>
      <returnUnitInformation>false</returnUnitInformation>
    </returnFieldsDescriptor>
    <customPreferences />
  </preferences>
  <points>
    <country>AUS</country>
    <geometry>
      <type>point</type>
      <coordinates>151.196036</coordinates>
      <coordinates>-33.879637</coordinates>
```

```

    <crs>
      <type>name</type>
      <properties>
        <name>EPSG:4326</name>
      </properties>
    </crs>
  </geometry>
</points>
</reverseGeocodeRequest>

```

XML POST レスポンス

以下は、先ほどのリクエストによって返される XML レスポンスです。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<GeocodeServiceResponseList>
  <responses>
    <totalPossibleCandidates>2</totalPossibleCandidates>
    <totalMatches>2</totalMatches>
    <candidates>
      <precisionLevel>1</precisionLevel>
      <formattedStreetAddress>
        344 WATTLE CRESCENT
      </formattedStreetAddress>
      <formattedLocationAddress>
        ULTIMO NSW 2007
      </formattedLocationAddress>
      <precisionCode>RS5A</precisionCode>
      <sourceDictionary>0</sourceDictionary>
      <geometry>
        <type>Point</type>
        <coordinates>151.19599158560163</coordinates>
        <coordinates>-33.87967421977337</coordinates>
        <crs>
          <type>name</type>
          <properties>
            <name>epsg:4326</name>
          </properties>
        </crs>
      </geometry>
      <address>
        <mainAddressLine>344 WATTLE CRESCENT</mainAddressLine>
        <addressLastLine>ULTIMO NSW 2007</addressLastLine>
        <placeName />
        <areaName1>NSW</areaName1>
        <areaName2>COUNCIL OF THE CITY OF SYDNEY</areaName2>
        <areaName3>ULTIMO</areaName3>
        <areaName4 />
        <postCode1>2007</postCode1>
        <postCode2 />
        <country>AUS</country>
        <addressNumber>344</addressNumber>
      </address>
    </candidates>
  </responses>
</GeocodeServiceResponseList>

```

```

    <streetName>WATTLE</streetName>
    <customFields>
      <entry>
        <key
          xmlns:xs="http:...
          xmlns:xsi="http:...
xsi:type="xs:string">REVERSE_GEOCODE_DISTANCE_UNIT</key>
        <value
          xmlns:xs="http:...
          xmlns:xsi="http:...
          xsi:type="xs:string">METERS</value>
      </entry>
      <entry>
        <key
          xmlns:xs="http:...
          xmlns:xsi="http:...
          xsi:type="xs:string">REVERSE_GEOCODE_DISTANCE</key>
        <value
          xmlns:xs="http:...
          xmlns:xsi="http:...
          xsi:type="xs:string">1.49</value>
      </entry>
    </customFields>
  </address>
  <ranges>
    <lowHouse>329</lowHouse>
    <highHouse>367</highHouse>
    <side>UNKNOWN</side>
    <oddEvenIndicator>BOTH</oddEvenIndicator>
    <customValues />
  </ranges>
</candidates>
<candidates>
  <precisionLevel>1</precisionLevel>
  <formattedStreetAddress>
    344 WATTLE STREET
  </formattedStreetAddress>
  <formattedLocationAddress>
    ULTIMO NSW 2007
  </formattedLocationAddress>
  <precisionCode>RS5A</precisionCode>
  <sourceDictionary>0</sourceDictionary>
  <geometry>
    <type>Point</type>
    <coordinates>151.19599158560163</coordinates>
    <coordinates>-33.87967421977337</coordinates>
    <crs>
      <type>name</type>
      <properties>
        <name>epsg:4326</name>
      </properties>

```

```

    </crs>
  </geometry>
  <address>
    <mainAddressLine>
      344 WATTLE STREET
    </mainAddressLine>
    <addressLastLine>
      ULTIMO NSW 2007
    </addressLastLine>
    <placeName />
    <areaName1>NSW</areaName1>
    <areaName2>COUNCIL OF THE CITY OF SYDNEY</areaName2>
    <areaName3>ULTIMO</areaName3>
    <areaName4 />
    <postCode1>2007</postCode1>
    <postCode2 />
    <country>AUS</country>
    <addressNumber>344</addressNumber>
    <streetName>WATTLE</streetName>
    <customFields>
      <entry>
        <key
          xmlns:xs="http:...
          xmlns:xsi="http:...
xsi:type="xs:string">REVERSE_GEOCODE_DISTANCE_UNIT</key>
          <value
            xmlns:xs="http:...
            xmlns:xsi="http:...
            xsi:type="xs:string">METERS</value>
          </entry>
          <entry>
            <key
              xmlns:xs="http:...
              xmlns:xsi="http:...
              xsi:type="xs:string">REVERSE_GEOCODE_DISTANCE</key>
              <value
                xmlns:xs="http:...
                xmlns:xsi="http:...
                xsi:type="xs:string">1.49</value>
            </entry>
          </customFields>
        </address>
      <ranges>
        <lowHouse>329</lowHouse>
        <highHouse>367</highHouse>
        <side>UNKNOWN</side>
        <oddEvenIndicator>BOTH</oddEvenIndicator>
        <customValues />
      </ranges>
    </candidates>

```

```
</responses>  
</GeocodeServiceResponseList>
```

インタラクティブ ジオコーディング リクエスト

GET および POST のリクエストとレスポンスについては、ジオコード サービス [Geocode サービス](#) (40ページ) を参照してください。

インタラクティブ ジオコード サービス リクエスト

グローバル インタラクティブ ジオコードの GET リクエスト

グローバル インタラクティブ ジオコード サービスへの GET リクエストを使用すると、入力した住所の一致候補が検索されて、即座にフィードバックを得ることができます。返されるポイントは郵便番号中心点です。GET リクエストの優先設定オプションは、POST リクエストで使用可能なすべてのオプションのサブセットです。

ベース URI

```
http://<server>:<port>/Geocode/rest/GlobalGeocode/interactive[.content type]
```

説明:

[.content type] は、指定されたコンテンツ タイプがデフォルトで使用されることを示します。これはオプションです。

json

JSON コンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは HTTP です

xml

XML コンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは HTTP です

[parameters] については、次のセクションで説明します。リクエストで入力されたキー/値の各ペアは、アンパサンド (&&) で区切られています。

パラメータ

以下の表に、グローバル インタラクティブ ジオコード サービスの GET パラメータの定義を示します。レスポンスの詳細については、[InteractiveGeocodeServiceResponse オブジェクト](#) (99ページ) を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
areaName1	string	州または省の名前
areaName2	string	県または下位区分の名前
areaName3	string	都市または町の名前
areaName4	string	地方の名前
coordSysName	string	データの座標系
country	string	国名
distance	double	検索中心点から候補までの距離
distanceUnits		フィート、メートル、マイル、キロメートル フィート、メートル、マイル、キロメートル
lastLine	string	住所の最終行
mainAddress	string	マッチング対象となる住所。住所の全体または一部を含めることができます。
maxCands	integer	返される候補の数。デフォルト値は 10 です。最大値は 100 です。
originXY	リスト (ダブル値)	XY を表すカンマ区切りのダブル値。例: originXY=-73.70252500000001,42.68323
placeName	string	POI (ポイント情報) の名前 (POI データは含まれません)
postalCode	string	住所の郵便番号

インタラクティブ ジオコード サービス POST リクエスト

インタラクティブ ジオコード サービス サービスへの POST リクエストを使用すると、入力した住所の一致候補が検索されて、即座にフィードバックを得ることができます。返されるポイントは郵便番号中心点です。インタラクティブ ジオコーディングのすべての優先設定を POST リクエストに含めることができます。

ベース URI

```
http://<server>:<port>/Geocode/rest/GlobalGeocode/interactive[.content
type]
```

説明:

`[.content type]` は、指定されたコンテンツ タイプがデフォルトで使用されることを示します。これはオプションです。

json

JSON コンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは HTTP です

xml

XML コンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは HTTP です

優先設定

これらの優先設定を使用するためのフォーマットは、`preferences.CustomPreferences.[<name of preference>]` または `preferences.[<name of preference>]` です。

パラメータ	タイプ	説明
SEARCH_TYPE	string	<p>インタラクティブリクエストの検索タイプを制御するカスタム優先設定。</p> <p>デフォルト: ADDRESS_COMPLETION</p> <p>次のいずれかの値をとります。</p> <p>ADDRESS_COMPLETION、POINT_OF_INTEREST_COMPLETION、POINT_OF_INTEREST_NAME_COMPLETION、POINT_OF_INTEREST_CATEGORY_COMPLETION、ALL</p>

パラメータ	タイプ	説明
COMPRESSED_AREA_RESULT	boolean	デフォルト: false COMPRESSED_AREA_RESULT
KEY_CUSTOM_DICTIONARY_USAGE	string	次のいずれかの値をとります。PREFER_CUSTOM_DICTIONARIES、PREFER_STANDARD_DICTIONARIES、USE_CUSTOM_DICTIONARIES_ONLY、USE_STANDARD_DICTIONARIES_ONLY USE_STANDARD_DICTIONARIES_ONLY
matchMode	string	デフォルト: STANDARD 次のいずれかの値をとります。 緩和 標準 CLOSE
originXY	double のリスト	<pre>{ "preferences" : { "originXY" : [-73.70252500000001, 42.68323] }, "address" : { "mainAddressLine" : "350 Jordan Rd" } }</pre>

パラメータ	タイプ	説明
restrictedSearch	境界	<pre>{ "preferences": { "restrictedSearch": { "northEastXY": [-73.70252500000001, 42.68323], "southWestXY": [-73.70252500000001, 42.68323] } }, "address": { "mainAddressLine": "350 Jordan Rd" } } }</pre>

Global Interactive Service Response

InteractiveGeocodeServiceResponse オブジェクト

インタラクティブ ジオコード サービスのレスポンス要素の一覧については、[GeocodeServiceResponse オブジェクト \(52ページ\)](#) を参照してください。

例

例: JSON POST リクエストとレスポンス

Interactive Request

```
{
  "address": {
    "mainAddressLine": "13-15 Quai André Citroën",
    "country": null
  },
  "preferences": {
    "maxReturnedCandidates": 10,
    "distanceUnits": "MILES",
    "distance": null,
    "customPreferences": {
      "COMPRESSED_AREA_RESULT": "false",
      "SEARCH_TYPE": "ADDRESS_COMPLETION"
    },
    "returnAllCandidateInfo": true,
    "originXY": []
  }
}
```

Interactive Response

```
{ "totalPossibleCandidates": 1, "totalMatches": 1, "candidates": [
  { "precisionLevel": 0, "formattedStreetAddress": "13-15 Quai
  André Citroën", "formattedLocationAddress": "75015 Paris",
  "matching": { "matchOnAddressNumber": true,
  "matchOnPostCode": false,
  "matchOnStreetType": false,
  "matchOnStreetDirectional": false, "matchOnPlaceName": false,
  "matchOnInputFields": false }, "geometry": { "type":
  "Point", "coordinates": [ 2.275675, 48.844045 ],
  "crs": { "type": "name", "properties": {
  "name": "epsg:4326" }, "address": {
  "mainAddressLine": "", "addressLastLine": "",
  "areaName1": "Île-de-France", "areaName2": "Paris",
  "areaName3": "Paris", "areaName4": "15e Arrondissement",
  "postCode1": "75015", "postCode2": "", "country": "FRA",
  "addressNumber": "13-15", "streetName": "Quai André Citroën",
  "unitType": "", "unitValue": "", "customFields": {
  "FORMATTED_ADDRESS": "13-15 Quai André Citroën, 75015 Paris",
  "DISTANCE": "-0.0", "FEATUREID": "12500001640586",
  "FROM_CUSTOM_DATASET": "false",
  "MATCHED_FROM_ADDRESSNUMBER": "13 15", "MATCHED_FROM_STREETNAME":
```

```
"QI ANDRE CITROEN", "DISTANCE_UNIT": "MILES" },
  "ranges": [ ] }, "customValues": {}}
```

KeyLookup リクエスト

GET および POST のリクエストとレスポンスについては、「ジオコードサービス [Geocode サービス \(40ページ\)](#)」を参照してください。

Global Key Lookup サービス リクエスト

グローバル キー検索 GET リクエスト

GET リクエストを使用すると、ジオコーディングを行うキーを送信し、レコードを拡張する追加情報を取得できます。

ベース URI

```
http://<server>:<port>/rest/GlobalGeocode/keyLookup[.content type]
```

説明:

[.content type] は、指定されたコンテンツ タイプがデフォルトで使用されることを示します。これはオプションです。

json

JSON コンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは HTTP です

xml

XML コンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは HTTP です

パラメータ

以下の表に、キー検索サービスサービスの GET パラメータの定義を示します。レスポンスの詳細については、[GeocodeServiceResponse Object](#)を参照してください。

パラメータ	タイプ	説明
key	string	ジオコーディングに使用されるキー。
type	string	サポートされるキーのタイプ。現在は PB_KEY と GNAF-PID。
country	string	検索が実行されている国を表す3文字の ISO コード。現在は AUS と USA がサポートされています。

グローバル キー検索 POST リクエスト

POST リクエストを使用すると、ジオコーディングを行うキーを送信して、レコードを拡張する追加情報を取得できます。

ベース URI

```
http://<server>:<port>/rest/GlobalGeocode/keyLookup.[content type]
```

説明:

[.content type] は、指定されたコンテンツ タイプがデフォルトで使用されることを示します。これはオプションです。

json

JSON コンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは HTTP です

xml

XML コンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは HTTP です

JSON リクエストのサンプル

```
{
  "type" : "PB_KEY",
  "preferences": {
    "maxReturnedCandidates": 10
  },
  "keys": [
    {
      "country" : "USA",
      "value" : "PB12345678"
    }
  ]
}
```

Global Key Lookup サービス レスポンス

GlobalKeyLookupGeocodeServiceResponse オブジェクト

キールックアップサービスのレスポンス要素の一覧については、**GeocodeServiceResponse** オブジェクト (52ページ) を参照してください。

例

例: JSON POST リクエストとレスポンス

Key Lookup Request

```
{
  "keys": [
    {
      "value": "P0000GL6380L",
      "country": "USA"
    }
  ],
  "type": "PB_KEY",
  "preferences": {
    "returnAllCandidateInfo": true
  }
}
```

Key Lookup Response

```
{
  "responses": [
    {
      "totalPossibleCandidates": 1,
      "totalMatches": 1,
      "candidates": [
        {
          "precisionLevel": 16,
          "formattedStreetAddress": "350 JORDAN RD",
          "formattedLocationAddress": "TROY, NY 12180-8352",
          "identifier": "869200424",
          "precisionCode": "S8H--A",
          "sourceDictionary": "2",
          "matching": {
            "matchOnAddressNumber": false,
            "matchOnPostCode1": true,
            "matchOnPostCode2": true,
            "matchOnAreaName1": true,
            "matchOnAreaName2": false,
            "matchOnAreaName3": true,
            "matchOnAreaName4": false,
            "matchOnAllStreetFields": false,
            "matchOnStreetName": true,
            "matchOnStreetType": true,
            "matchOnStreetDirectional": true,
            "matchOnPlaceName": false,
            "matchOnInputFields": false
          }
        }
      ],
    }
  ]
}
```

```

"geometry": {
  "type": "Point",
  "coordinates": [
    -73.700257,
    42.678161
  ],
  "crs": {
    "type": "name",
    "properties": {
      "name": "epsg:4326"
    }
  }
},
"address": {
  "mainAddressLine": "350 JORDAN RD",
  "addressLastLine": "TROY, NY 12180-8352",
  "placeName": "",
  "areaName1": "NY",
  "areaName2": "RENSSELAER COUNTY",
  "areaName3": "TROY",
  "areaName4": "",
  "postCode1": "12180",
  "postCode2": "8352",
  "country": "USA",
  "addressNumber": "350",
  "streetName": "JORDAN",
  "unitType": "",
  "unitValue": "",
  "customFields": {
    "ZIP": "12180",
    "CSA_NUMBER": "104",
    "TYPE_SHORT": "RD",
    "THOROUGHFARE_TYPE": "RD",
    "ROAD_CLASS": "01",
    "MATCH_CODE": "V001",
    "DFLT": "Y",
    "COUNTY": "36083",
    "LANGUAGE": "en",
    "PB_KEY": "P0000GL6380L",
    "POINT_ID": "108535989",
    "LAST_LINE": "TROY, NY 12180-8352",
    "CHECK_DIGIT": "2",
    "MM_RESULT_CODE": "S8H--A",
    "METRO_FLAG": "Y",
    "BLOCK": "360830523011022",
    "QCITY": "361305000",
    "ZIP_FACILITY": "P",
    "LON": "-73.700257",
    "LOT_CODE": "A",
    "LOT_NUM": "0063",
    "CTYST_KEY": "V16572",
    "ZIP_CARRTSORT": "D",
    "LORANGE": "350",
    "STREET_SIDE": "L",
  }
}

```

```

    "DATATYPE": "12",
    "SEG_LORANGE": "350",
    ...

    "LASTLINE_SHORT": "TROY, NY 12180-8352",
    "DPBC": "99",
    "MAIN_ADDRESS": "JORDAN",
    "NAME_SHORT": "JORDAN",
    "CITY_SHORT": "TROY",
    "ZIP9": "121808352",
    "CITY": "TROY",
    "IS_ALIAS": "N01",
    "ZIP10": "12180-8352",
    "ZIP4": "8352",
    "CBSA_NAME": "ALBANY-SCHENECTADY-TROY, NY METROPOLITAN
STATISTICAL AREA",
    "MATCHED_DB": "2",
    "RANGE_PARITY": "E",
    "LAT": "42.678161"
  }
},
"ranges": [
  {
    "placeName": "",
    "lowHouse": "350",
    "highHouse": "350",
    "side": "LEFT",
    "oddEvenIndicator": "EVEN",
    "units": [
      {
        "placeName": "",
        "unitType": "",
        "highUnitValue": "",
        "lowUnitValue": "",
        "customValues": {}
      }
    ],
    "customValues": {}
  }
]
},
"customValues": {}
}
]
}

```

Capabilities サービス

Capabilities サービス リクエスト

Capabilities GET リクエスト

Capabilities サービスに対する GET リクエストにより、次の情報が返されます。

- サポートされているサービス
- 使用可能なジオコーディング エンジン
- サポートされている国
- サポートされている操作と、それに関連する必須およびオプションの入力
- カスタム フィールド

ベース URI

```
http://<server>:<port>/rest/GlobalGeocode/capabilities.[content type]?[query parameters]
```

説明:

. [content type] 指定されたコンテンツ タイプがデフォルトで使用されることを示します。これはオプションです。

json

HTTP コンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは JSON です

xml

HTTP コンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは XML です

[query parameters] これらについては、次のセクションで説明します。

クエリ パラメータ

クエリ パラメータに基づいて返される情報の種類に対して、いくつかのオプションがあります。

- 国コードを含めて、指定された国に対する機能を取得する
- 国コードと操作を含めて、その操作の説明を取得する

- すべてのクエリ パラメータを除外して、すべての国に対する機能を取得する
- Capabilities サービスのクエリ パラメータを、以下の表に示します。

名前	説明
country	ISO 3166-1 Alpha-3 国コードを指定します。 注：ISO 国コードの一覧については、次を参照してください: 国参照一覧と ISO 3166-1 国コード (278ページ)
operation	ジオコーディング サービス操作の種類。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none">• geocode• reverseGeocode

Capabilities サービス レスポンス

GeocodeCapabilitiesResponse オブジェクト

以下の表に、Capabilities サービスから返されるレスポンス要素を示します。

名前	タイプ	説明
serviceName	文字列	サポートされるサービスの名前。
serviceDescription	文字列	サービスの説明。
coreVersion	文字列	Spectrum™ Technology Platform のコアバージョン。
geocodingEngines	文字列	インストール済みの国ジオコードエンジン。
supportedCountries	文字列	インストール済みの各国ジオコードエンジンによってサポートされる国。
geocoderVersions	マップ	ジオコード エンジンのバージョン番号。
supportedOperations	OperationsOperation オブジェクトの配列	指定された入力国、またはすべての国に対してサポートされる操作を定義する配列。以下のフィールドで構成されます。
name	文字列	操作の名前。

名前	タイプ	説明
requiredInputs	InputParameter	操作に対する必須の入力フィールドのリスト。以下の要素を含みます。 <ul style="list-style-type: none">• name (文字列)• description (文字列)• type (文字列)• defaultValue (文字列)• lowBoundary (文字列)• highBoundary (文字列)• allowedValuesWithDescriptions (マップ)
optionalInputs	InputParameter	操作に対するオプションの入力フィールドのリスト。以下の要素を含みます。 <ul style="list-style-type: none">• name (文字列)• description (文字列)• type (文字列)• defaultValue (文字列)• lowBoundary (文字列)• highBoundary (文字列)• allowedValuesWithDescriptions (マップ)
outputs	OutputParameter	操作の出力フィールドのリスト。以下の要素を含みます。 <ul style="list-style-type: none">• name (文字列)• description (文字列)• type (文字列)

名前	タイプ	説明
supportLevels	SupportLevel	

名前	タイプ	説明
		<p>操作に対するサポート レベルのリスト。以下の要素を含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> supportedDataLevel (Integer) <p>データ郵便番号セントロイド=1 郵便番号セントロイドは辞書にあります (郵便番号2は識別しません)。</p> <p>データ地理的セントロイド=2 地理的セントロイドは辞書にあります (地理的セントロイドの種類は識別しません)。</p> <p>データ通りセグメント=4 通りセグメント情報は辞書にあります。</p> <p>データ住所ポイント=8 ポイントレベルデータは辞書にあります。</p> <p>データレベルには、使用可能なすべてのデータキーの合計が含まれます。例を次に示します。</p> <p>値 — データの種類</p> <p>15 — すべて (郵便番号 + 地理情報 + セグメント + ポイント)</p> <p>14 — 郵便番号を除くすべて</p> <p>13 — 地理情報を除くすべて</p> <p>12 — ポイント + セグメント</p> <p>11 — ポイント + 地理情報 + 郵便番号</p> <p>10 — ポイント + 地理情報</p> <p>9 — ポイント + 郵便番号</p> <p>8 — ポイントのみ</p> <p>7 — ポイントを除くすべて</p> <p>6 — セグメント + 地理情報</p> <p>5 — セグメント + 郵便番号</p> <p>4 — セグメントのみ</p> <p>3 — 郵便番号 + 地理情報</p> <p>2 — 地理情報のみ</p> <p>1 — 郵便番号のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> countries (文字列) updatedRequiredInputs

名前	タイプ	説明
		(InputParameter) — 国固有の必須の入力フィールド <ul style="list-style-type: none"> updatedOptionalInputs (InputParameter) — 国固有のオプションの入力フィールド updatedOptionalOutputs (OutputParameter) — 国固有の出力フィールド
customObjectsCustomObject タイプのリスト。		
name	文字列	優先設定でユーザが指定したカスタムオブジェクト フィールドの名前。
description	文字列	ユーザ指定のカスタム オブジェクト フィールドの説明。
properties	CustomObjectMember タイプのリスト。	CustomObjectMember は以下の要素を含みます。 <ul style="list-style-type: none"> name (String) — パラメータ名。 input (InputParameter) — 入力パラメータのプロパティ。 output (OutputParameter) — 出力パラメータのプロパティ。

例

Capabilities JSON リクエストとレスポンス

JSON リクエスト

以下は、Capabilities サービスに対する JSON リクエストの例です。この例は、英国の Capabilities に対するリクエストです。

```
GET http://myserver:8080/rest/GlobalGeocode/capabilities.json?
country=GBR HTTP/1.1
```

JSON レスポンス

以下は、先ほどのリクエストによって返される JSON レスポンスです。このレスポンスは一部省略して示されています。

```
{
  "serviceName": "GeocodeService",
  "serviceDescription": "Provides a method to geocode and reverse
geocode",
  "coreVersion": "5.1.0.59",
  "geocodingEngines": [
    "World"
  ],
  "supportedCountries": [
    "XWG"
  ],
  "supportedOperations": [
    {
      "name": "geocode",
      "requiredInputs": [
        {
          "name": "address",
          "description": "The input address",
          "type": "Address",
          "defaultValue": null,
          "lowBoundary": null,
          "highBoundary": null,
          "allowedValuesWithDescriptions": {}
        }
      ],
      "optionalInputs": [
        {
          "name": "type",
          "description": "Indicates what kind of geocode
to perform",
```

```

        "type": "ONEOF",
        "defaultValue": "address",
        "lowBoundary": null,
        "highBoundary": null,
        "allowedValuesWithDescriptions": {
            "geographic": "geographic",
            "postal": "postal",
            "address": "address",
            "custom": "custom"
        }
    },
    {
        "name": "preferences",
        "description": "Contains preferences and constraints",
        "type": "Preferences",
        "defaultValue": null,
        "lowBoundary": null,
        "highBoundary": null,
        "allowedValuesWithDescriptions": {}
    }
],
"outputs": [
    {
        "name": "responses",
        "description": "The geocoded address information",
        "type": "Response"
    }
],
"supportLevels": [
    {
        "supportedDataLevel": 3,
        "countries": [
            "XWG"
        ],
        "updatedRequiredInputs": [],
        "updatedOptionalInputs": [],
        "updatedOptionalOutputs": [
            {
                "name": "CITYRANK",
                "description": "City ranking from 1 (highest)
                    to 10 (lowest). 0 means no rank available",
                "type": "KEY"
            }
        ]
    }
]
},
.
.
.

{
    "name": "responses",

```

```
"description": "Holds results from a geocode
                or reverse geocode operation",
"properties": [
  {
    "name": "totalPossibleCandidates",
    "input": null,
    "output": {
      "name": "totalPossibleCandidates",
      "description": "Number of candidate that could
                    have been returned from this query",
      "type": "int"
    }
  },
  {
    "name": "totalMatches",
    "input": null,
    "output": {
      "name": "totalMatches",
      "description": "Number of candidates that could
                    have been returned from this query",
      "type": "int"
    }
  },
  {
    "name": "candidates",
    "input": null,
    "output": {
      "name": "candidates",
      "description": "ordered list of matching candidates",
      "type": "LIST<Candidate>"
    }
  }
]
},
"geocoderVersions": {
  "World": "4.5"
}
}
```

Capabilities XML リクエストとレスポンス

XML リクエスト

以下は、Capabilities サービスに対する XML リクエストの例です。この例は、メキシコのリバース ジオコーディング操作の **Capabilities** に対するリクエストです。

```
GET http://myserver:8080/rest/GlobalGeocode/capabilities.xml?
country=MEX&operation=reverseGeocode HTTP/1.1
```

XML レスポンス

以下は、先ほどのリクエストによって返される XML レスポンスです。このレスポンスは一部省略して示されています。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<GeocodeCapabilitiesResponse>
  <supportedOperations>
    <name>reverseGeocode</name>
    <requiredInputs>
      <name>points</name>
      <description>Point information for a country. i.e latitude and
longitude</description>
      <type>Point</type>
      <allowedValuesWithDescriptions />
    </requiredInputs>
    <optionalInputs>
      <name>preferences</name>
      <description>Contains preferences and constraints</description>

      <type>Preferences</type>
      <allowedValuesWithDescriptions />
    </optionalInputs>
    <outputs>
      <name>response</name>
      <description>The address corresponding to the input
point</description>
      <type>Response</type>
    </outputs>
    <supportLevels>
      <supportedDataLevel>7</supportedDataLevel>
      <countries>MEX</countries>
    </supportLevels>
  </supportedOperations>
  .
  .
  .
  <customObjects>
    <name>responses</name>
    <description>Holds results from a geocode or reverse geocode
```

```
operation</description>
  <properties>
    <name>totalPossibleCandidates</name>
    <output>
      <name>totalPossibleCandidates</name>
      <description>Number of candidate that could have been
returned from this query</description>
      <type>int</type>
    </output>
  </properties>
  <properties>
    <name>totalMatches</name>
    <output>
      <name>totalMatches</name>
      <description>Number of close candidates that could have been
returned from this query</description>
      <type>int</type>
    </output>
  </properties>
  <properties>
    <name>candidates</name>
    <output>
      <name>candidates</name>
      <description>ordered list of matching
candidates</description>
      <type>LIST<Candidate></type>
    </output>
  </properties>
</customObjects>
</GeocodeCapabilitiesResponse>
```

Dictionaries サービス

Dictionaries サービス リクエスト

Dictionaries GET リクエスト

Dictionaries サービスに対する GET リクエストは、設定されている辞書に関する情報を返します。

ベース URI

```
http://<server>:<port>/rest/GlobalGeocode/dictionaries.[content type]?[query parameters]
```

説明:

.[content type] 指定されたコンテンツ タイプがデフォルトで使用されることを示します。これはオプションです。

json

HTTP コンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは JSON です

xml

HTTP コンテンツ ネゴシエーションによって置き換えられない限り、デフォルトのコンテンツ タイプは XML です

[query parameters] これらについては、次のセクションで説明します。

クエリ パラメータ

入力クエリ パラメータに基づいて返される情報の種類に関しては、次の 2 つのオプションがあります。

- 国コードを含めて、指定された国の辞書を取得する。
- すべてのクエリ パラメータを除外して、設定されているすべての辞書の一覧を取得する。

Capabilities サービスのクエリ パラメータを、以下の表に示します。

名前	説明
country	3文字の ISO 国コード。 注：ISO 国コードの一覧については、次を参照してください: 国参照一覧と ISO 3166-1 国コード (278ページ)

Dictionaries サービス レスポンス

ConfiguredDictionaryResponse オブジェクト

Dictionaries サービスへのリクエストに対して返される ConfiguredDictionaryResponse オブジェクトには、次の要素が含まれています。

- **dictionaries**— 設定されている辞書で構成される配列。提供される辞書のそれぞれには、インストールパス、辞書の種類、国のサポートなどに関する情報が含まれます。

名前	タイプ	説明
customDictionary	Boolean	辞書がユーザ定義辞書であるかどうかを示します。 True 辞書はカスタムのユーザ定義辞書です。 False 辞書はカスタム辞書ではありません。
repositoryName	文字列	辞書のファイル名。
path	文字列	サーバー上の辞書の場所。
vintage	文字列	ベンダーから提供されるデータ ヴィンテージ。
source	文字列	データのベンダー。
description	文字列	辞書の名前。
countrySupportInfosCountrySupport	countrySupportInfosCountrySupport	countrySupportInfosCountrySupport オブジェクトのコレクション。各オブジェクトは、次の要素で構成されます。
supportedCountries	List <String>	指定の辞書でサポートされる国のリスト。

名前	タイプ	説明
supportedDataTypes	List <DataType>	辞書内のデータのタイプ。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none">• POINT• STREET• POST_CODE_1• POST_CODE_2• AREA_NAME_1• AREA_NAME_2• AREA_NAME_3• AREA_NAME_4

例

Dictionaries JSON リクエストとレスポンス

JSON リクエスト

以下は、Dictionaries サービスに対する JSON リクエストの例です。この例のリクエストは、フランスに対して設定されているジオコーディング データセットのリストになっています。

```
GET http://myserver:8080/rest/GlobalGeocode/dictionaries.json?
country=FRA HTTP/1.1
```

JSON レスポンス

以下は、先ほどのリクエストによって返される JSON レスポンスです。

```
{
  "dictionaries": [
    {
      "customDictionary": false,
      "repositoryName": "MAPMARKER_FR_Navteq_2013_Q4",
      "path": null,
      "vintage": "2013.Q4",
      "source": "Navteq",
      "description": "MAPMARKER_FR_Navteq_2013_Q4",
      "countrySupportInfos": [
        {
          "supportedCountries": [
            "MYT",
            "REU",
            "GUF",
            "GLP",
            "MTQ",
            "FRA",
            "MCO"
          ],
          "supportedDataTypes": [
            "POST_CODE_1",
            "AREA_NAME_3",
            "STREET"
          ]
        }
      ]
    },
    {
      "customDictionary": false,
      "repositoryName": "MAPMARKER_FR_TomTom_2013_12",
```

```
"path": null,
"vintage": "2013.12",
"source": "TomTom",
"description": "MAPMARKER_FR_TomTom_2013_12",
"countrySupportInfos": [
  {
    "supportedCountries": [
      "MYT",
      "REU",
      "GUF",
      "GLP",
      "MTQ",
      "FRA",
      "MCO"
    ],
    "supportedDataTypes": [
      "POST_CODE_1",
      "AREA_NAME_3",
      "STREET"
    ]
  }
]
}
```

Dictionaries XML リクエストとレスポンス

XML リクエスト

以下は、Dictionaries サービスに対する XML リクエストの例です。この例のリクエストは、ドイツに対して設定されているジオコーディング データセットのリストになっています。

```
GET http://myserver:8080/rest/GlobalGeocode/dictionaries.xml?
country=DEU HTTP/1.1
```

XML レスポンス

以下は、先ほどのリクエストによって返される XML レスポンスです。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ConfiguredDictionaryResponse>
  <dictionaries>
    <customDictionary>>false</customDictionary>
    <repositoryName>MAPMARKER_DE_Standard_2014_09</repositoryName>
    <vintage>2014.09</vintage>
    <source>Standard</source>
    <description>MAPMARKER_DE_Standard_2014_09</description>
    <countrySupportInfos>
      <supportedCountries>DEU</supportedCountries>
      <supportedDataTypes>POST_CODE_1</supportedDataTypes>
      <supportedDataTypes>AREA_NAME_3</supportedDataTypes>
      <supportedDataTypes>STREET</supportedDataTypes>
    </countrySupportInfos>
  </dictionaries>
  <dictionaries>
    <customDictionary>>false</customDictionary>
    <repositoryName>
      MAPMARKER_DE_AddressPoint_2014_09
    </repositoryName>
    <vintage>2014.09</vintage>
    <source>AddressPoint</source>
    <description>
      MAPMARKER_DE_AddressPoint_2014_09
    </description>
    <countrySupportInfos>
      <supportedCountries>DEU</supportedCountries>
      <supportedDataTypes>POINT</supportedDataTypes>
      <supportedDataTypes>POST_CODE_1</supportedDataTypes>
      <supportedDataTypes>AREA_NAME_3</supportedDataTypes>
    </countrySupportInfos>
  </dictionaries>
</ConfiguredDictionaryResponse>
```

Pitney Bowes Geocoding Connector

はじめに

Pitney Bowes Geocoding Connector (旧名称: PBLocator) により、ArcGIS™ Online や ArcGIS™ Pro Desktop などのサードパーティのシステム内で Pitney Bowes のジオコーディングを統合できます。

Pitney Bowes のジオコードを生成するには、次に示す Pitney Bowes ジオコーディング ソリューションのいずれかが必要です。

- Global Geocoding Software Developer Kit (SDK)
- Spectrum Global Geocoding モジュール
- Location Intelligence GeoCode API (locate.pitneybowes.com で入手可能)

ジオコーディング操作

Pitney Bowes の Geocoding Connector は以下の操作をサポートしています。

- `findAddressCandidates`: 一度に 1 つのロケーションまたは住所をジオコードします。
- `geocodeAddresses`: 1 回のリクエストで一括して住所のリストをジオコードします。
- `reverseGeocode`: XY 位置が指定されている場合に、住所または場所の候補を返します。
- `suggest`: ユーザの文字単位の入力に基づき、候補を返します。

URL の例

以下に、Geocoding Connector を使用した URL の例を示します。サーバーのルートに展開されている場合、デフォルトの URL は次のようになります。

`http://localhost:8080/rest/GeocodeService/arcgis/rest/services/PBLocator/GeocodeServer/findAddressCandidates`

findAddressCandidates

`findAddressCandidates` リクエストに従って 1 つの場所/住所のジオコーディングを行います。入力には、単一行または複数行を、必須およびオプションのパラメータと共に使用できます。以下のタイプの位置がサポートされています。

- Street Address
- 交差点
- POI (ポイント情報)
- 行政機関の場所の名前
- 郵便番号

Pitney Bowes Geocoding Connector では、ESRI ロケーションのタイプとしての座標がサポートされません。

パラメータ

`findAddressCandidates` GET リクエストで必須およびオプションのパラメータを使用して、1つの住所のジオコーディングを行います。

パラメータ	詳細
<code>f</code>	必須: レスポンスの形式 (<code>json</code> 、 <code>html</code> 、または <code>kmz</code>)。Geocoding Connector の場合、サポートされている形式は <code>JSON</code> です。
<code>addressField</code>	必須: ジオコーディングされる場所の住所。
<code>countryCode</code>	必須: 住所のソースの国を定義します。
<code>singleLine</code>	オプション: ジオコーディングされる住所を 1つの文字列で表したものを。
<code>neighborhood</code>	オプション: 住所が存在する近隣地域。
都市	オプション: 住所が存在する都市。
<code>subregion</code>	オプション: 住所が存在する下位地域。
リージョン	オプション: 住所が存在する地域。
<code>postal</code>	オプション: 住所の郵便番号。
<code>postalExt</code>	オプション: 住所の追加郵便番号。
<code>maxLocations</code>	オプション: 返される場所の最大数
<code>outFields</code>	オプション: 返されるフィールドのリスト。

パラメータ	詳細
outSR	オプション: 返される住所候補の、空間参照の WKID (well-known ID) または空間参照 JSON オブジェクト。
addressField2	サポートされていません。
addressField3	サポートされていません。
location	サポートされていません。
category	サポートされていません。
matchOutOfRange	サポートされていません。
magicKey	サポートされていません。
locationType	サポートされていません。
searchExtent	サポートされていません。
forStorage	サポートされていません。

ジオコードされた住所

geocodeAddresses 操作を使用して、住所のリスト全体を 1 つのリクエストでジオコーディングします。多数の住所を一度にジオコーディングすることを、一括ジオコーディングとも呼びます。

- Street Address
- 交差点
- POI (ポイント情報)
- 行政機関の場所の名前
- 郵便番号

Geocoding Connector では、ESRI ロケーションのタイプとしての座標がサポートされません。

パラメータ

geocodeAddresses POST リクエストで必須およびオプションのパラメータを使用して、複数の住所の一括ジオコーディングを行います。

パラメータ	詳細
f	必須: レスポンスの形式 (json、html、または kmz)。Geocoding Connector の場合、サポートされている形式は JSON です。
addresses	必須: 一括ジオコーディングを行う住所。単一行および複数行の住所がサポートされています。
outFields	オプション: 返されるフィールドのリスト。
outSR	オプション: 返される住所候補の、空間参照の WKID (well-known ID) または空間参照 JSON オブジェクト。
maxLocations	オプション: 返される場所の最大数
MaxBatchSize	オプション: 1 回のリクエストでジオコーディングできる住所の制限を定義します。一括ジオコーディングのサイズは 100 ~ 200 個の住所にすることをお勧めします。
SuggestedBatchSize	オプション: サーバーの処理能力と帯域幅を考慮して、1 回の一括ジオコーディングに含める住所の最適な数を指定します。
sourceCountry	オプション: 住所のソースの国を定義します。
matchOutOfRange	サポートされていません。
locationType	サポートされていません。

例

これは住所パラメータの例です。

```
{
  "records": [
```

```
{
  "attributes": {
    "OBJECTID": 1,
    "Address": "10 greenhill rd",
    "Neighborhood": "",
    "City": "wayville",
    "Subregion": "",
    "Region": "SA",
    "countryCode": "AUS"
  }
},
{
  "attributes": {
    "OBJECTID": 2,
    "singleLine": "10 downing street London SW1A 2AA",
    "countryCode": "GBR"
  }
},
{
  "attributes": {
    "OBJECTID": 3,
    "Address": "1600 PENNSYLVANIA AVE NW",
    "Neighborhood": "",
    "City": "Washington",
    "Subregion": "",
    "Region": "D",
    "countryCode": "USA"
  }
}
]
```

reverseGeocode

reverseGeocode 操作は、特定の x/y 位置での住所を特定します。ジオコーディング サービスにポイント位置の座標を渡すと、サービスはその位置に最も近い住所または場所を返します。

以下のタイプの位置がサポートされています。

- Street Address
- 交差点
- POI (ポイント情報)
- 行政機関の場所の名前
- 郵便番号

パラメータ

reverseGeocode GET リクエストで必須およびオプションのパラメータを使用して、ポイント位置から住所を取得します。

パラメータ	詳細
f	必須: レスポンスの形式 (json、html、または kmz)。Geocoding Connector の場合、サポートされている形式は JSON です。
location	必須: マッチング対象となるポイントのロケーション。
distance	オプション: 検索エリアに含めるロケーションからのメートル単位の距離。
outSR	オプション: 返される住所候補の、空間参照の WKID (well-known ID) または空間参照 JSON オブジェクト。
featureTypes	サポートされていません。
returnIntersection	サポートされていません。
locationType	サポートされていません。

suggest

メソッド suggest を使用すると、クライアント アプリケーションでのユーザの文字単位の入力に対して、自動補完候補を生成できます。この機能を使用することで、インタラクティブに検索を行うユーザが入力する文字数を減らすことができるので、一致する候補を簡単に取得できます。

- Street Address
- 交差点
- POI (ポイント情報)
- 行政機関の場所の名前
- 郵便番号

パラメータ

suggest GET リクエストで必須およびオプションのパラメータを使用して、文字単位の入力に基づき候補の結果を返します。

パラメータ	詳細
f	必須: レスポンス形式。サポートされる形式は JSON です。
text	必須: 候補の検索に使用される入力テキスト。
countryCode	必須: 住所のソースの国を定義します。
searchExtent	オプション: 検索結果を指定のエリアに制限します。必要に応じて拡張するための開始点として使用します。
location	オプション: 検索結果を指定のエリアに制限します。必要に応じて拡張するための開始点として使用します。
maxSuggestions	オプション: 返される候補の最大数レスポンスで。
matchOutOfRange	サポートされていません。
locationType	サポートされていません。

A - 国固有の優先設定 とフィールド

このセクションの構成

オーストラリア (AUS)	134
カナダ (CAN)	157
フランス (FRA)	159
ドイツ (DEU)	160
英国 (GBR)	161
ニュージーランド (NZL)	162
ポルトガル (PRT)	164
シンガポール (SGP)	165
スウェーデン (SWE)	166
米国 (USA)	167

オーストラリア (AUS)

カスタム優先設定

オーストラリアに対して、次の**カスタム優先設定**と**出力フィールド**がサポートされています。

優先設定

説明

優先設定

説明

USE_CENTERLINE_OFFSET

優先設定

説明

に設定するとポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトはで、マドジオコデン

優先設定

説明

グ
の
み
で
サ
ポ
ト
さ
れ
ま
す

優先設定

説明

注：
中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。

優先設定

説明

があります。

中央線ポイント一致は **S** で始まる結果コードによって示されます

優先設定

説明

CENTERLINE_OFFSET

優先設定

説明

■が有効になっている場合中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは0です。ワウドジオ

優先設定

説明

デングのみでサポートされます

優先設定

説明

CENTERLINE_OFFSET_UNIT

優先設定

説明

■が有効になっている場合中央線オフセットの単位のタイプを指定します有効な値は、`sf`、`scm`、`scm`ですデフォルト

優先設定

説明

ト値は ~~set~~ です。ソフトウェアコーディングのみでサポートされます。

優先設定

説明

KEY_STREET_FRONTAGE

ert を設定すると、**FAC** 通りの入口ポイントを要求しませんが、**def** は **def** です。

優先設定

説明

KEY_GNAF_ORIGINAL

ert を設定すると **FAG** の元のポイント座標を返します。デフォルトは **elf** です。

優先設定

説明

KEY_POSTAL_CODE_OVERRIDE

優先設定

説明

ert を設定すると郵便番号が一致すれば都市/郊外が一致しなくても一致となります。デフォルトは **elf** で

優先設定

説明

す

優先設定

説明

KEY_RETURN_STREET_TYPE_ABBREVS

優先設定

説明

ert を設定するとオーストラリアのデフォルトである完全なスペルの通りタイプの代わりに省略形の通

優先設定

説明

り
タイプ
が返
され
ます
デ
フォ
ルト
は
en
です

カスタム出力フィールド

[出力フィールド] フィールド

説明

STREET_TYPE_ABB	デフォルトでは完全なスペルで記述される、通り タイプの省略形。
ORIGINAL_LATITUDE	元の GNAF 緯度。
ORIGINAL_LONGITUDE	元の GNAF 経度。
UD_ORIGINAL_LATITUDE	ポイントベースのユーザ辞書からの元の緯度。
UD_ORIGINAL_LONGITUDE	ポイントベースのユーザ辞書からの元の経度。
GNAF_PARCEL_ID	GNAF 小区画識別子。

[出力フィールド] フィールド	説明
GNAF_PID	<p>GNAF Persistent Identifier (GNAF PID) は、GNAF の住所を一意に定義する 14 文字の英数字からなる文字列です。PID は GNAF Dictionary の主要な住所フィールドの組み合わせから構成されています。GNAF PID は、以下のような形式です。</p> <p>GAACT718519668</p>
GNAF_PRINCIPAL_PID	主要住所の Persistent Identifier。
GEOCONTAINMENT	返される候補が住所境界の内側にあるか外側にあるかを指定します。境界内にある候補の値は YES、境界外にある候補の値は NO です。
GEOFEATURE	このフィールドは、ジオコードのフィーチャー タイプが他の GNAF フィールドに設定されなかった場合に、ジオコードのフィーチャー タイプを返します。GEOFEATURE は、PSMA Data Product Description Version 2.7 (2012 年 8 月) に記載されているジオコード タイプ (GEOCODE_TYPE_AUT コード) に対応しています。
GNAF_ADDRESS_CLASS	GNAF 住所区分。
GNAF_SA1	GNAF Statistical Area Level 1 (SA1) 識別子。
LEVEL_NUMBER	<p>多層建築の階またはレベルの番号。例を次に示します。</p> <p>Floor 2, 17 Jones Street</p> <p>GNAF データベースには、オーストラリアの一部の州のレベル情報が含まれています。レベル情報がユニット情報に関連付けられている場合もありますが、常にこの関連付けがあるわけではありません。GNAF データベースでは、複数のレコードが同じレベルに含まれます。入力住所に固有のコンテンツ (ユニット番号など) がある場合のみ、レベル情報が返されます。GNAF 辞書に住所のレベル情報がある場合は、一致した候補と共にその情報が返されます。</p> <p>入力住所にレベル情報がない場合、あるいは入力レベル情報が不正確な場合でも、正しいレベル情報が返されます。入力住所にレベル情報があるが、GNAF データベースにはマッチング住所のレベル情報がない場合、GNAF データによって検証されない情報であるとして入力レベル情報が破棄されます。</p>

[出力フィールド] フィールド

説明

LEVEL_TYPE

多層建築の階に使われるラベル。例えば、"Level" または "Floor"。この例で、レベル タイプは "Level" です。

Suite 3 Level 7, 17 Jones Street

この例で、Suite 3 はユニットです。

LOT_NUMBER

敷地番号が GNAF 候補に対して返されるのは、適切な物理的または家番号情報を持たない地方住所があるためです。

MESH_BLOCK_ID

Meshblock は、オーストラリア統計局 (ABS) が統計データを収集するために作成した最も小さい地理的な単位です。通常、Meshblock には最低 20 から 50 の世帯が含まれています。これは、収集区 (CD: Collection District) の約 5 分の 1 の大きさです。Meshblock ID を使って、独自のデータに属性を追加できます。

キー検索サービス

キー検索サービスは、以下の機能を提供します。

- 住所のユニーク キーを受け取ります。
- サポートされるキーは、米国 (USA) データ、またはオーストラリア (AUS) の GNAF データのもので (例: USA データの場合は P0000GL638OL、AUS の場合は GAACT715000223)。
- サポートされるキー タイプ: PB_KEY または GNAF_PID
- ジオコーディングされた一致あり候補を返します。

カナダ (CAN)

カスタム優先設定

カナダに対して、次の**カスタム優先設定**と**出力フィールド**がサポートされています。

優先設定	説明
KEY_MUST_HAVE_LDU	<code>true</code> の場合は、完全な FSA LDU 郵便番号を持たない一致結果を返しません。デフォルトは <code>false</code> です。
USE_CENTERLINE_OFFSET	<code>true</code> に設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトは <code>false</code> です。フォワードジオコーディングのみでサポートされます。 注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。 中央線ポイント一致は、 SC で始まる結果コードによって示されます。
CENTERLINE_OFFSET	USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは <code>0</code> です。フォワードジオコーディングのみでサポートされます。
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、 <code>feet</code> 、 <code>meters</code> です。デフォルト値は <code>meters</code> です。フォワードジオコーディングのみでサポートされます。

カスタム出力フィールド

フィールド名	説明
CENSUS_CD	住所がある場所の CD (Census Division)。
CENSUS_CMA	住所がある場所の CMA (Census Metropolitan Area)。

フィールド名	説明
CENSUS_CSD	住所がある場所の CSD (Census Subdivision)。
CENSUS_CT	住所がある場所の CT (Census Tract)。
CENSUS_DA	住所がある場所の DA (Dissemination Area)。
FORMATTED_STREET_RANGE	住所に対する、書式が整えられた範囲データ。このフィールドは、郵便番号セントロイド候補に対してのみ返されます。

フランス (FRA)

カスタム優先設定

フランスに対して、次のカスタム優先設定がサポートされています。

オプション名	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p>trueに設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p>trueに設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、SC で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは0です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、feet、meters です。デフォルト値は meters です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>

ドイツ (DEU)

カスタム優先設定

ドイツに対して、次のカスタム優先設定がサポートされています。

オプション名	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p>trueに設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p>trueに設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、SC で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは0です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、feet、meters です。デフォルト値は meters です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>

英国 (GBR)

カスタム優先設定

英国に対して次のカスタム優先設定がサポートされています。

オプション名	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p>trueに設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p>trueに設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、SC で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは0です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、feet、meters です。デフォルト値は meters です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>

ニュージーランド (NZL)

カスタム優先設定

ニュージーランドに対して、次のカスタム優先設定と出力フィールドがサポートされています。

優先設定	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p><code>true</code>に設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトは<code>false</code>です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p><code>true</code>に設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトは<code>false</code>です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、SC で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは0です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、feet、meters です。デフォルト値は meters です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
ReturnOriginalCoordinates	<p><code>true</code> に設定されている場合、ORIGINAL_LONGITUDE および ORIGINAL_LATITUDE の値を候補のカスタム出力フィールドで返します。</p>

カスタム出力フィールド

フィールド	説明
ALIASED_SUBURB	ニュージーランドの郊外のエイリアス。正式に認識されている郊外名の代替名。
KEY_UFI	ニュージーランド UFI。この一意識別子 (UFI) は、ジオコーディングされた住所が属する通りセグメントを識別します。UFI は、New Zealand Post によって割り当てられる最大7桁の数字列であり、各郵便配達ポイントを一意に識別します。利用可能な場合は UFI が常に返されますが、入力には UFI を使用できません。
NZL_MESHBLOCK_ID	ニュージーランド Meshblock 識別子。Meshblock は、ニュージーランド統計局が統計データを収集するために作成した最も小さい地理的な単位です。Meshblock のサイズは、街区の一部から地方の広いエリアまでさまざまです。
ORIGINAL_LATITUDE	元の緯度値。
ORIGINAL_LONGITUDE	元の経度値。

ポルトガル (PRT)

カスタム優先設定

ポルトガルに対して、次のカスタム優先設定がサポートされています。

優先設定	説明
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p>trueに設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトはfalseです。フォワードジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、SC で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、feet、meters です。デフォルト値は meters です。フォワードジオコーディングのみでサポートされます。</p>

シンガポール (SGP)

カスタム優先設定

シンガポールに対して、次のカスタム優先設定がサポートされています。

オプション名	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p><code>true</code>に設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトは<code>false</code>です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p><code>true</code>に設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトは<code>false</code>です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、SC で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは <code>0</code> です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、feet、meters です。デフォルト値は meters です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>

スウェーデン (SWE)

カスタム優先設定

スウェーデンに対して、次のカスタム優先設定がサポートされています。

オプション名	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p><code>true</code>に設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトは<code>false</code>です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p><code>true</code>に設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトは<code>false</code>です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、SC で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは <code>0</code> です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、feet、meters です。デフォルト値は meters です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>

米国 (USA)

カスタム優先設定

米国では、[カスタム優先設定](#)と[カスタム出力フィールド](#)がサポートされています。

米国ジオコーディングの[追加トピック](#)については、以下のカスタム テーブルを参照してください。

表 2: カスタム優先設定

優先設定	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p>trueに設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p>trueに設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、SC で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは0です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、feet、meters です。デフォルト値は meters です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>

優先設定

説明

FIND_ADDR_POINT_INTERP

trueに設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトは false です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

注：この機能は補助ファイルのポイント住所に使用できません。

FIND_ADDRCODE

trueを設定すると、正規化と住所ジオコードの検索を試みます。住所を処理して正規化したい場合は、このオプションを設定します。このオプションが設定されていない場合、入力された ZIP および ZIP+4 の住所要素のみが使用されます。デフォルトは false です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

FIND_ADDRESS_RANGE

true を設定すると、住所範囲情報を返します。デフォルトは false です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

注：CASS モードまたは完全一致検索モードでは無視されます。

優先設定

説明

FIND_ALTERNATE_LOOKUP

通りと企業のどちらを先に検索するかという、検索の優先順位を指定します。デフォルトは3です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

注：CASS 一致検索モードでは無視されます。

- 1 通り検索を優先: 住所行に対するマッチングを行います。一致が得られない場合は、placeName に対するマッチングを行います。
- 2 企業検索を優先: placeName に対するマッチングを行います。一致が得られない場合は、住所行に対するマッチングを行います。
- 3 通り検索のみ: 住所行に対するマッチングを行います。デフォルト

FIND_BUILDING_SEARCH

住所行に入力された建物名に対する検索の能力を制御します。true を設定すると、ユニット番号が存在しない場合でも建物名に対するマッチングを有効にします。デフォルトはfalseです。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

注：CASS 一致検索モードでは無視されます。

このオプションは、POI データ (Master Location Data に含まれているオプションのインデックスファイル) とのマッチング時にも使用されます。POI (ポイント情報) マッチング (205ページ) を参照してください。

FIND_CENTERLINE_OFFSET

中央線マッチング用の通り中央からのオフセット距離。フィートを単位とする正の整数で指定します。デフォルトは0フィートです。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

注：この機能を利用するには、ポイント データセットがインストールされている必要があります。

優先設定

説明

FIND_CENTERLN_PROJ_OF_POINT

true を設定すると、小区画ポイントから最も近い通り上のポイントを計算します。デフォルトは false です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

注：この機能を利用するには、ポイント データセットがインストールされている必要があります。

FIND_CLOSEST_POINT

true に設定されている場合、最も近いフィーチャ (通りのセグメントまたは交差点や、ポイント住所) ではなく、検索範囲内の最も近いポイント住所へのマッチングを行います。デフォルトは false です。

注：リバース ジオコーディングのみでサポートされません。

注：この機能では、少なくとも 1 つのポイント データセットと 1 つの通り データ セットがインストールされている必要があります。この条件が満たされていない場合は、最も近いフィーチャに対してマッチングが行われます。

FIND_CORRECT_LASTLINE

true を設定すると、出力の最終行の要素を修正して、住所が一致しなかったり存在しなかったりした場合でも、適切な ZIP Code または Soundex による近似一致を提供します。デフォルトは false です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

FIND_DB_ORDER

ユーザ辞書と GSD データセットを検索する順序を具体的に設定できます。デフォルトの検索順序は、次のとおりです。

- ユーザ辞書
- ポイント GSD ファイル
- 通り GSD ファイル

どのデータセットをどんな順序で検索するかを示す、ジオコーディングデータセットインデックス値のリスト (0 から開始し、セミコロンで区切ります) を入力します。

優先設定	説明
FIND_DPV	<p>true を設定すると、Delivery Point Validation (DPV) を有効にします。デフォルトは false です。</p> <p>注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
FIND_EXPANDED_SEARCH_RADIUS	<p>レコードの検索範囲の半径をマイル (最大 99) で設定できます。適切な FIND_SEARCH_AREA 設定と共に使用する必要があります。デフォルトで半径は 25 マイルに設定されます。</p> <p>注：CASS 一致検索モードでは無視されます。</p>
FIND_EXPND_SRCH_LIM_TO_STATE	<p>true を設定すると、拡張検索の範囲を州境までに限定します。適切な FIND_SEARCH_AREA 設定と共に使用する必要があります。デフォルトは true です。</p> <p>注：CASS 一致検索モードでは無視されます。</p>
FIND_FIRST_LETTER_EXPANDED	<p>true を設定すると、不正な先頭文字 (欠落や誤りなど) に対する追加処理を有効にします。デフォルトは false です。</p> <p>注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注：完全一致検索モードでは無視されます。</p>
FIND_LACSLINK	<p>true を設定すると、LACS^{Link} 検索を有効にします。デフォルトは false です。</p> <p>注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
FIND_MIXED_CASE	<p>true を設定すると、候補情報を大文字ではなく、大文字と小文字が混在する形式で返します。デフォルトは false です。</p>

優先設定

説明

FIND_NEAREST_ADDRESS

trueに設定されている場合、通りセグメント上の補間された住所、またはポイント データの場所に対するマッチングが有効になります。

FIND_NEAREST_ADDRESS と FIND_NEAREST_INTERSECTION を一緒に使用すると、住所と交差点の両方に対するリバース ジオコーディングを指定できます。

リバース ジオコーディング処理の検索プロパティ FIND_NEAREST_ADDRESS、FIND_NEAREST_INTERSECTION、FIND_NEAREST_UNRANGED を設定します。デフォルトは false です。

注：リバース ジオコーディングのみでサポートされません。

FIND_NEAREST_INTERSECTION

trueに設定されている場合、交差点に対するマッチングが有効になります。

FIND_NEAREST_INTERSECTION と FIND_NEAREST_ADDRESS を一緒に使用すると、住所と交差点の両方に対するリバース ジオコーディングを指定できます。

リバース ジオコーディング処理の検索プロパティ FIND_NEAREST_ADDRESS、FIND_NEAREST_INTERSECTION、FIND_NEAREST_UNRANGED を設定します。デフォルトは false です。

注：リバース ジオコーディングのみでサポートされません。

FIND_NEAREST_UNRANGED

trueに設定されている場合、数値範囲のない通りセグメントの FIND_NEAREST_ADDRESS と共に有効化されます。ポイント データおよび交差点の一致では無視されます。

注：リバース ジオコーディングのみでサポートされません。

優先設定

説明

FIND_PREFER_POBOX

`true` を設定すると、通り住所と **PO Box** の両方が入力住所の中に存在する場合に、**PO Box** を使用してマッチングが行われず。デフォルトは `false` です。

`FIND_PREFER_POBOX` と `FIND_PREFER_STREET` の両方に `true` を設定すると、設定は無視され、デフォルトである `FIND_PREFER_STREET` が適用されます。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

注：CASS 一致検索モードでは無視されます。

FIND_PREFER_STREET

`true` を設定すると、通り住所と **PO Box** の両方が入力住所の中に存在する場合に、通り住所を使用してマッチングが行われず。デフォルトは `false` です。

`FIND_PREFER_POBOX` と `FIND_PREFER_STREET` の両方が `true` に設定されている場合、デフォルト値の `FIND_PREFER_STREET` が使用されます。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

注：CASS 一致検索モードでは無視されます。

FIND_PREFER_ZIP_OVER_CITY

`true` を設定すると、入力された ZIP コードと一致する候補が、入力された都市と一致する候補よりも優先されます。デフォルトは `false` です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

注：CASS モードまたはインタラクティブ マッチ モードでは無視されます。インタラクティブ マッチ モードでは、この設定に関係なく、最良の住所を返すことが試みられます。

優先設定

説明

FIND_SEARCH_AREA

このオプションは、入力住所に含まれる都市または郵便番号の情報が限られていたり、不正確であったりする場合に一致を見つけるのに役立ちます。以下のいずれかの値をとります。

- 0 指定された都市を検索します。
- 1 金融エリア全体で通り候補を検索します。注意: ZIP セントロイド一致を検索する場合、このオプションの効果はありません。
- 2 拡張検索エリアの設定を可能にします。これを選択する場合は、FIND_EXPANDED_SEARCH_RADIUS および FIND_EXPND_SRCH_LIM_TO_STATE という他の 2 つのオプションを使用して、検索をどれだけ拡張するかを設定できます。

注: CASS 一致検索モードでは無視されます。

FIND_SEARCH_DIST

FIND_APPROXIMATE_PBKEY を有効にした場合、このパラメータで、pbKey™ unique identifier を持つ最も近い住所レコードの検索に使われる距離を設定できます。指定できるのは 0 ~ 5280 (単位: フィート) の範囲の値で、デフォルトは 150 フィートです。

注: フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

優先設定

説明

FIND_STREET_CENTROID

trueを設定すると、通り検索ジオコーディングを有効にします。有効にすると、入力通り住所が通り番号と名前から見つからない場合に、入力 ZIP コードまたは都市/州を使って、最も近いマッチングが検索されます。通りの場所がわかった場合は、入力された ZIP コードまたは ZIP + 4 のジオコードではなく、一致した通りセグメント沿いのジオコードが返されます。

通り検索ジオコーディングを使用すると、完全に一致する家番号が見つからなかった場合に、E029(範囲の一致しない通りセグメントが1つだけ見つかった)またはE030(範囲の一致しない通りセグメントが複数見つかった)のどちらかのマッチコードが返されます。

デフォルトは false です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

注：CASS 一致検索モードでは無視されます。

FIND_SUITELINK

trueを設定すると、Suite^{Link} 検索を有効にします。デフォルトは false です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

注：完全一致検索モードでは無視されます。

FIND_Z_CODE

trueを設定すると、ZIP セントロイド一致の検索を試みます。デフォルトは true です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

FIND_Z5_CODE

trueを設定すると、ZIP セントロイド一致の検索を試みます (ZIP+4 や ZIP+2 の一致は検索しません)。デフォルトは false です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

優先設定

説明

FIND_Z7_CODE

`true` を設定すると、ZIP+2 セントロイド一致のみの検索を試みます (ZIP+4 や ZIP の一致は検索しません)。デフォルトは `false` です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

FIND_Z9_CODE

`true` を設定すると、ZIP+4 セントロイド一致のみの検索を試みます。デフォルトは `false` です。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

RETURN_LAT_LON_AS_INTEGER_VALUE

`true` を設定すると、LAT と LON の各カスタム フィールドを、100 万分の 1 度の単位の整数値として返します。デフォルトは `false` で、LAT と LON の各カスタム フィールドは小数値で返されます。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

カスタム出力フィールド

このセクションには、米国に固有の出力フィールドを示します。特に記載のない限り、これらのフィールドは、フォワードジオコーディングとリバースジオコーディングの両方で返すことができます。

次のカテゴリの出力フィールドが定義されています。

- [品質記述子](#)
- [パース済み住所](#)
- [ポイント](#)
- [中心線](#)
- [交差点](#)
- [Census](#)
- [郵便番号](#)
- [DPV](#)
- [Residential Delivery Indicator \(RDI\)](#)[Residential Delivery Indicator \(RDI\) の出力フィールド](#) (193ページ)
- [LACS^{Link}](#)
- [Suite^{Link}](#)
- [短い住所](#)
- [セグメント](#)
- [その他](#)

品質記述子の出力フィールド

品質記述子出力フィールドには、マッチングとジオコーディングの処理結果に関する情報が格納されます。

フィールド名	説明
信頼性	米国の候補に対する確信値を、その候補のカスタム出力フィールドとして使用できます。キーは "CONFIDENCE" です。
LocationCode	ロケーションコードは、割り当てられたジオコードの精度を示します。ロケーションコードの説明については、付録の 住所のロケーションコード (249ページ) を参照してください。

フィールド名	説明
MatchCode	マッチコードは、参照ファイルと一致した住所の部分、または一致しなかった住所の部分を示します。マッチ コードの説明については、付録の マッチコード (238ページ) を参照してください。
PostalFallback	米国のフォールバック候補は、正しい MatchCode と LocationCode を返します。これらは、郵便番号レベルのジオコードを示すコードではなく、郵便番号へのフォールバックを示しています。
MMResultCode	この候補に対する MapMarker 結果コード。結果コードについては、付録の「 グローバル結果コード (266ページ)」を参照してください。

パース済み住所出力フィールド

パース済み住所出力フィールドには、ジオコードによってパースされて正規化された一致住所のコンポーネントが格納されます。

フィールド名	説明
ParsedAddressLine	単一行入力住所の住所行。
ParsedCity	入力住所または出力住所の最終行からの省略形の都市名。ParsedCityName または ParsedPreferredCity からの値。
ParsedCountyName	郡の名前。
ParsedFirmName	USPS データまたは入力企業名からの企業名。交差点マッチングには適用されません。
ParsedHouseNumber	入力住所または出力住所の家番号。交差点マッチングには適用されません。
ParsedLastLine	住所の完全な最終行。
ParsedMainAddress	住所の完全な 1 行目。
Parsed Name	通り名。
ParsedCityName	都市/州レコードからの一致住所の都市名。

フィールド名	説明
ParsedPreferredCity	一致した住所の出力 ZIP Code に対する標準都市名。
ParsedState	州の略語。
ParsedUnitNumber	ユニット番号。交差点マッチングには適用されません。
ParsedUnitType	ユニットタイプ (APT や STE など)。交差点マッチングには適用されません。
ParsedZip	5 桁の ZIP Code。交差点マッチングには適用されません。
ParsedZip4	4 桁の拡張 ZIP Code。
ParsedZip9	9 桁の ZIP Code (ZIP + 4)。
ParsedZip10	ダッシュを区切り文字とする 10 桁の ZIP Code (ZIP + 4)。

ポイントの出力フィールド

ポイント出力フィールドには、ポイントレベル データを用いたマッチングによって得られたジオコードに関する追加情報が格納されます。

注：特に記載がある場合を除き、フォワード ジオコーディングでのみサポートされます。

フィールド名	説明
APN ID	Assessor's Parcel Number (APN) 識別子。交差点マッチングには適用されません。
NearestDistance	入力場所から一致した通り セグメント、ポイント住所、または交差点までの距離 (フィート単位)。 注：リバース ジオコーディング専用です。
Parcen Elevation	小区画セントロイドのジオコードの標高。交差点マッチングには適用されません。

フィールド名	説明
PBKey	Master Location Dataset を使用して住所がマッチしたときに返される一意の住所の識別子。pbKey™ unique identifier は、マッチの属性データを返すための GeoEnrichment データセットに対する検索キーとして使用されます。 注：フォワード ジオコーディングとリバース ジオコーディングの両方に対応します。
Point ID	ポイントレベル データにマッチした場合の一致レコードの一意のポイント ID。一致するレコードがポイントレベル データから取得されていない場合は、空白です。交差点マッチングには適用されません。

中心線の出カフィールド

中心線マッチングは、ポイント レベルのジオコードを親の通りセグメントにリンクするためにポイントレベルマッチングと併用されます。このタイプのマッチングでは、ポイントレベルマッチング単独では取得できない親の通りセグメントに関する追加情報が入手できます。この出力情報には、ポイント データ ジオコードから中心線マッチングまでの方位と距離も含まれます。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

フィールド名	説明
CenterlineBearing	中心線候補の場合、ポイント データ マッチから中心線マッチまでのコンパス方向 (小数度単位)。真北 0 度から時計回りに計測されます。
CenterlineLeftBlock	中心線候補の場合、通り左側からの国勢調査細分区 ID。交差点マッチングには適用されません。
CenterlineRightBlock	中心線候補の場合、通り右側からの国勢調査細分区 ID。交差点マッチングには適用されません。
CenterlineLeftSFXBlock	中心線候補の場合、Census 2010 Geography の現在の左のブロック接尾語。一致するレコードがポイントレベル データから取得されている場合、このフィールドは空白になります。
CenterlineRightSFXBlock	中心線候補の場合、Census 2010 Geography の現在の右のブロック接尾語。一致するレコードがポイントレベル データから取得されている場合、このフィールドは空白になります。

フィールド名	説明
CenterLineDatatype	中心線候補の場合、中心線マッチを得るために使用したデータ タイプ。
0	USPS
1	TIGER
2	TomTom Streets ジオコーディング データセット
6	NAVTEQ Streets ジオコーディング データセット
7	TomTom Points ジオコーディング データセット
8	Centrus Points ジオコーディング データセット
9	補助ファイル
10	ユーザ辞書
11	HERE Points ジオコーディング データセット
12	Master Location Data

フィールド名	説明
CenterlineAlias	<p>インデックス エイリアスによって中心線マッチを見つけたことを示す 3 文字。</p> <p>最初の文字は、以下のとおりです。</p> <p>N 通常の通り マッチ</p> <p>A エイリアス マッチ (建物、エイリアス、企業名などを含む)</p> <p>次の 2 文字は、以下のとおりです。</p> <p>01 基本インデックス (通常の住所マッチ)</p> <p>02 USPS の通り名エイリアス インデックス</p> <p>03 USPS の建物インデックス</p> <p>05 Statewide Intersection エイリアス (Usw.gsi、Use.gsi、または Us.gsi ファイルを使用する場合)</p> <p>06 空間データの通り名エイリアス (Us_pw.gsi、Usw.gsi、Us_pe.gsi、Use.gsi、Us_ps.gsi、Usp.gsi、Us_psw.gsi、または Us_pse.gsi ファイルの使用が必要な場合)</p> <p>07 代替インデックス (ZIP9.gsu、ZIP9E.gsu、および ZIP9W.gsu を使用する場合)</p> <p>08 LACS^{Link}</p> <p>09 未使用</p> <p>09 補助ファイルとの一致</p> <p>10 Centrus Alias インデックス (usca.gsi 使用時)</p> <p>11 POI インデックス (poi.gsi 使用時)</p> <p>12 USPS 優先エイリアス</p> <p>13 ZIPMove マッチ (us.gsz 使用時)。</p> <p>us.gsz データ ファイルには、再編成された ZIP+4 コードが含まれ、都市名や金融番号が変更されています。具体的には、ZIPMove で金融エリアの変更が可能になっています。これは、入力された都市が複数の金融エリアにある場合や ZIPMove データに古い住所が含まれている場合を除き、CASS 検索では金融エリアを変更できないためです。</p> <p>14 拡張中心点マッチ (us_cent.gsc または bldgcent.gsc 使用時)</p>
CenterLineLatitude	中心線候補の場合、整数値としての緯度 (1/1,000,000 度単位)。
CenterLineLongitude	中心線候補の場合、整数値としての経度 (1/1,000,000 度単位)。

フィールド名	説明
CenterlineName	中心線候補の場合、主要通り名。
CenterlineNearestDistance	中心線候補の場合、ポイントレベル マッチから中心線マッチまでの距離 (フィート単位)。
CenterlinePostDirectional	中心線候補の場合、通りの後置方位記号。空白、N、S、E、W、NE、NW、SW、または SE。
CenterlinePreDirectional	中心線候補の場合、通りの前置方位記号。空白、N、S、E、W、NE、NW、SW、または SE。
CenterlineQCity	中心線候補の場合、州、都市、または Finance Number。
CenterlineRoadClass	中心線候補の場合、道路クラス コード。 0 補助道路、メイン データ ファイル 1 幹線道路、メイン データ ファイル 10 補助道路、補足ファイル 11 幹線道路、補足データ ファイル
CenterlineSegmentHiRange	中心線候補の場合、セグメントに含まれる家番号の最大値。
CenterlineSegmentLoRange	中心線候補の場合、セグメントに含まれる家番号の最小値。
CenterlineSegmentDirection	中心線候補の場合、セグメントの向き。 F 番号は順方向です。 R 番号は逆方向です。
CenterlineSegmentID	中心線候補の場合、データ ベンダーからの一意のセグメント ID。

フィールド名	説明
CenterlineSegmentParity	中心線候補の場合、セグメントの奇偶性。奇偶性とは、セグメントの奇数番号が通りのどちら側にあるかを示すものです。 L 通りの左側 R 通りの右側 B 通りの両側 U 不明
CenterlineType	中心線候補の場合、通り タイプ。

交差点の出力フィールド

交差点出力フィールドには、交差点マッチングにおける 2 つめのセグメントに関するデータが格納されます。

フィールド名	説明
BlockLeft2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの通り左側からの国勢調査細分区 ID。
BlockRight2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの通り右側からの国勢調査細分区 ID。
BlockSFXLeft2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Census 2010 Geography の現在の左のブロック接尾語。
BlockSFXRight2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Census 2010 Geography の現在の右のブロック接尾語。
CBSADivisionName2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Core Based Statistical Area (CBSA) 区分名。
CBSADivisionNumber2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Core Based Statistical Area (CBSA) 区分番号。
CBSAName2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Core Based Statistical Area (CBSA) 名。

フィールド名	説明																				
CBSANumber2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Core Based Statistical Area (CBSA) 番号。																				
CountyName2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの郡名。																				
County2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの FIPS 郡コード。																				
CSAName2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Combined Statistical Area (CSA) 名。																				
CSANumber2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Combined Statistical Area (CSA) 番号。																				
DataType2	<p>交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントのマッチングに使用したデータのタイプ。</p> <table border="0"> <tr> <td>0</td> <td>USPS</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>TIGER</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>TomTom Streets ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>HERE Streets ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>TomTom Points ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Centrus Points ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>補助ファイル</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ユーザ辞書</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>HERE Points ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Master Location Data</td> </tr> </table>	0	USPS	1	TIGER	2	TomTom Streets ジオコーディング データセット	6	HERE Streets ジオコーディング データセット	7	TomTom Points ジオコーディング データセット	8	Centrus Points ジオコーディング データセット	9	補助ファイル	10	ユーザ辞書	11	HERE Points ジオコーディング データセット	12	Master Location Data
0	USPS																				
1	TIGER																				
2	TomTom Streets ジオコーディング データセット																				
6	HERE Streets ジオコーディング データセット																				
7	TomTom Points ジオコーディング データセット																				
8	Centrus Points ジオコーディング データセット																				
9	補助ファイル																				
10	ユーザ辞書																				
11	HERE Points ジオコーディング データセット																				
12	Master Location Data																				
MetroFlag2	<p>住所がある Core Based Statistical Area (CBSA) が大都市圏か小都市圏かを示します。次のいずれかです。</p> <table border="0"> <tr> <td>Y</td> <td>住所は Metropolitan Statistical Area (大都市統計圏) にあります。大都市圏の人口は 50,000 人以上です。</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>住所は大都市統計圏内にありません。小都市圏内にあります。小都市圏の人口は 10,000 ~ 49,999 人です。</td> </tr> <tr> <td>空白</td> <td>空白です (郡は CBSA を含みません)。</td> </tr> </table>	Y	住所は Metropolitan Statistical Area (大都市統計圏) にあります。大都市圏の人口は 50,000 人以上です。	N	住所は大都市統計圏内にありません。小都市圏内にあります。小都市圏の人口は 10,000 ~ 49,999 人です。	空白	空白です (郡は CBSA を含みません)。														
Y	住所は Metropolitan Statistical Area (大都市統計圏) にあります。大都市圏の人口は 50,000 人以上です。																				
N	住所は大都市統計圏内にありません。小都市圏内にあります。小都市圏の人口は 10,000 ~ 49,999 人です。																				
空白	空白です (郡は CBSA を含みません)。																				

フィールド名	説明
Name2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの通り名。
PostDirectional2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめの通りの後置方位記号。空白、N、S、E、W、NE、NW、SW、または SE。
PreDirectional2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめの通りの前置方位記号。空白、N、S、E、W、NE、NW、SW、または SE。
RoadClass2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの道路クラス コード。 0 補助道路、メイン データ ファイル 1 幹線道路、メイン データ ファイル 10 補助道路、補足ファイル 11 幹線道路、補足データ ファイル
SegHiRange2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの家番号の最大値。
SegLoRange2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの家番号の最小値。
SegmentDirection2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの方向。 F 番号は順方向です。 R 番号は逆方向です。
SegmentID2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの、プレミアム データ ベンダーによるセグメント ID (TLID) またはユニーク ID。
SegmentParity2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの奇偶性。奇偶性とは、セグメントの奇数番号が通りのどちら側にあるかを示すものです。 L 通りの左側 R 通りの右側 B 通りの両側 U 不明
Type2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの通り タイプ。

Census の出力フィールド

Census 出力フィールドには、住所に関する米国国勢調査情報が格納されます。

フィールド名	説明
Block	<p>15桁の国勢調査細分区 ID/国勢調査 FIPS コード。ssccccttttttgbbb という構文を使用します。ここで、</p> <ul style="list-style-type: none"> • ss — 2桁の FIPS 州コード • ccc — 3桁の FIPS 郡コード • tttttt — 6桁の FIPS 国勢統計区コード (ピリオドを除く) • g — 1桁の FIPS ブロック コード • bbb — FIPS ブロック コード <p>交差点マッチングには適用されません。</p>
County	FIPS 郡コード。
StateFIPS	FIPS 州コード。

郵便の出力フィールド

郵便出力フィールドには、住所の詳細な郵便情報が格納されます。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

フィールド名	説明				
AltFlag	<p>代替/基本レコードのインジケータ。</p> <table border="0"> <tr> <td>A</td> <td>Alternate</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>基本</td> </tr> </table>	A	Alternate	B	基本
A	Alternate				
B	基本				
CART	配達ルート ID。交差点マッチングには適用されません。				
CheckDigit	郵便ラベルのバーコードの末尾の 1 桁のコード。				
CountyStateKey	USPS 都市/州キー (USPS 都市/州製品におけるロケールを一意に識別する英数字の値)。				

フィールド名	説明
DFLT	<p>Highrise DFLT または Rural Routes のリターン ステータスを示します。</p> <p>Y Highrise DFLT と Rural Routes の一方が Y を返したことを示します。</p> <p>空白 Highrise DFLT と Rural Routes の両方が N または空白を返したことを示します。</p>
DPBCCode	配達ポイント バーコード。
EWSMatch	<p>EWS マッチングが行われたかどうかを次のように示します。</p> <p>Y EWS データに一致したため、一致が拒否されました。</p> <p>空白 入力レコードが EWS データに一致しませんでした。</p>
Govt Flag	<p>政府機関の建物のインジケータ。</p> <p>A 市政府の建物</p> <p>B 連邦政府の建物</p> <p>C 州政府の建物</p> <p>D 会社専用</p> <p>E 市政府の建物で会社専用</p> <p>F 連邦政府の建物で会社専用</p> <p>G 州政府の建物で会社専用</p> <p>A、B、C、E、F、および G は、代替レコードにのみ有効です (ALT_FLAG=A)。D は、ベースレコードと代替レコードの両方に有効です。</p>
HighriseDFLT	<p>高層レコードにマッチしたかどうかを示します。</p> <p>N 高層レコードまたは通り レコードに完全一致しました。</p> <p>Y レコードに完全には一致しませんでした。USPS のデフォルト高層レコードまたは通り レコードに一致しました。入力住所が正しく完全であるかを確認してください。</p> <p>空白 入力住所に該当しない (PO Box や局留めの住所など) か、一致するものが見つかりませんでした。</p>

フィールド名	説明
LotCode	<p>LOT の昇順および降順値。正規化可能な住所に対してのみ使用できます。CASS モードで実行中で、DPV を初期化していないか、出力住所が DPV で確認されていない場合は、空白です。</p> <p>A 昇順</p> <p>D 降順</p>
LotNumber	<p>4 桁の eLot 番号。正規化可能な入力住所が必要です。CASS モードで実行中で、DPV を初期化していないか、出力住所が DPV で確認されていない場合は、空白です。</p>
MailStop	<p>郵便物集配所を指定する語 (MSC、MS、MAILSTOP、MAIL STOP、ATTN、ATTENTION) の後に現れる住所情報を返します。</p>
PMBDesignator	<p>PMB 指定子。</p>
PMBNumber	<p>PMB 番号。</p>
RuralRoutes	<p>地方配送路のマッチ インジケータ。</p> <p>N 地方配送路レコードに完全一致しました。</p> <p>Y 完全に一致するレコードは見つかりませんでした。USPS のデフォルト地方配送路レコードに一致しました。入力住所が正しく完全であるかを確認してください。</p> <p>空白 入力住所に該当しない (通り住所、P.O.Box、局留めの住所など) か、一致するものが見つかりませんでした。</p>
URBName	<p>プエルトリコの都市化名。</p>
ZipCarrtSort	<p>許可されているカート ソートのタイプを示します。</p> <p>A 自動化カート、オプションのカーターのマージともに許可されています。</p> <p>B 自動化カートは許可されていますが、オプションのカーターのマージは許可されていません。</p> <p>C 自動化カートは許可されていませんが、オプションのカーターのマージは許可されています。</p> <p>D 自動化カート、オプションのカーターのマージともに許可されていません。</p>

フィールド名	説明
ZipClass	<p>ZIP 分類コード。</p> <p>空白 標準 ZIP Code</p> <p>M 軍施設の ZIP Code</p> <p>P ZIP Code は私書箱専用</p> <p>U ユニーク ZIP Code(ユニーク ZIP Code は、独自の ZIP Code を与えられるのに十分な量の郵便物がある会社、機関、または事業体に割り当てられる ZIP Code です)。</p>
ZipFacility	<p>USPS の都市/州名の施設コードを返します。</p> <p>A Airport Mail Facility (AMF、空港の郵便施設)</p> <p>B 支店</p> <p>C Community Post Office (CPO、コミュニティの郵便局)</p> <p>D Area Distribution Center (ADC、エリア流通センター)</p> <p>E Sectional Center Facility (SCF、部門センター施設)</p> <p>F Delivery Distribution Center (DDC、配達流通センター)</p> <p>G General Mail Facility (GMF、一般の郵便施設)</p> <p>k Bulk Mail Center (BMC、大口郵便センター)</p> <p>M 郵便為替部門</p> <p>N 非郵便コミュニティ名、以前の郵便施設、または場所名</p> <p>P 郵便局</p> <p>S 駅</p> <p>U Urbanization</p>

DPV の出力フィールド

DPV データ出力フィールドには、DPV データを使用して検出されたマッチに関する情報が格納されます。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

フィールド名	説明
DPVCMRA	<p>Delivery Point Validation CMRA のインジケータ。</p> <p>Y CMRA テーブルで住所が検出されたことを示します。</p> <p>N CMRA テーブルで住所が検出されなかったことを示します。</p> <p>空白 DPV がロードされていません。</p>
DPVConfirm	<p>DPV データと一致したかどうかを示します。</p> <p>N 何も確認されませんでした。</p> <p>Y すべて確認済み (ZIP+4、プライマリ、およびセカンダリ)</p> <p>S ZIP+4 およびプライマリ (家番号) が確認済み。</p> <p>D ZIP+4 およびプライマリ (家番号) が確認済みで、デフォルトマッチ (HI_RISE_DFLT = Y)、セカンダリは確認されませんでした。</p> <p>空白 USPS ZIP+4 データに一致しない入力住所であるか、DPV データがロードされていません。</p>
DPVFalsePOS	<p>DPV 誤検出インジケータ。</p> <p>Y 誤検出マッチがありました。</p> <p>空白 誤検出マッチはありません。</p>
DPVFootNote1	<p>一致した DPV レコードに関する情報。</p> <p>AA ZIP+4 が一致しています。</p> <p>A1 ZIP+4 が一致していません。</p> <p>空白 住所がハッシュ テーブルに存在しないか、DPV データがロードされていません。</p>

フィールド名	説明
DPVFootNote2	<p>一致した DPV レコードに関する情報。</p> <p>BB すべての DPV カテゴリが一致しています。</p> <p>CC プライマリ/家番号は DPV に一致しましたが、セカンダリ/ユニット番号は一致しませんでした (存在しますが無効です)。</p> <p>M1 プライマリ/家番号が欠落しています。</p> <p>M3 プライマリ/家番号が無効です。</p> <p>N1 プライマリ/家番号が DPV と一致しましたが、セカンダリ番号が欠落しています。</p> <p>P1 PS、RR、または HC Box 番号が欠落しています。</p> <p>P3 PS、RR、または HC Box 番号が無効です。</p> <p>F1 すべて軍施設住所です。</p> <p>G1 すべて局留め住所です。</p> <p>U1 すべて一意の ZIP Code 住所です。</p> <p>空白 住所がハッシュ テーブルに存在しないか、DPV データがロードされていません。</p> <p>注：ユニーク ZIP Code は、独自の ZIP Code を与えられるのに十分な量の郵便物がある会社、機関、または事業体に割り当てられる ZIP Code です。</p>
DPVFootNote3	<p>一致した DPV レコードに関する情報。</p> <p>R1 CMRA に一致しましたが、PMB の指定がありません。</p> <p>R2 CMRA に一致し、PMB が指定されています (PMB 123 または #123)。</p> <p>空白 住所がハッシュ テーブルに存在しないか、DPV データがロードされていません。</p>
DPVNoSTAT	<p>Y 住所は、CDS 前処理に対して有効です。</p> <p>N 住所は、CDS 前処理に対して有効ではありません。</p> <p>空白 DPV がロードされていないか、DPV が確認されませんでした。</p>

フィールド名	説明
DPVShutdown	Y 住所は、誤検出テーブルにありました。
	N 住所は、誤検出テーブルにありませんでした。
	空白 住所がハッシュ テーブルに存在しないか、DPV データがロードされていません。
DPVvacant	Y 住所は空家です。
	N 住所は空家ではありません。
	空白 DPV がロードされていないか、DPV が確認されませんでした (したがって、空家かどうかはわかりません)。

Residential Delivery Indicator (RDI) の出力フィールド

Residential Delivery Indicator (RDI™) は、米国郵政公社 (USPS®) のデータ製品です。これにより、配達の種類が、居住用と事業用のどちらに分類されるかを特定できます。居住地に発送する場合、その郵政公社を利用して発送するとコストを削減できるとともに、通常その他の宅配業者から請求される追加料金がかからずに済みます。

注: RDI を使用するには、Delivery Point Validation (DPV) も有効になっており、米国通りデータセットが読み込まれている必要があります。

フィールド名	説明
RDIRetCode	Residential Delivery Indicator (RDI) のリターン コード <ul style="list-style-type: none"> • Y = 居住用 • N = 事業用 • 空白 = RDI による処理なし

LACS^{Link} の出力フィールド

LACS^{Link} データ出力フィールドには、LACS^{Link} データセットを使用して検出されたマッチに関する情報が格納されます。

注: フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

フィールド名	説明
LACSLinkFlag	住所に変換フラグが付けられているかどうかを示します。 L 住所に LACS 変換フラグが付けられています。 空白 住所に LACS 変換フラグは付けられていません。
LACSLinkIND	LACS ^{Link} インジケータ。 Y 一致した LACS ^{Link} レコード。 N LACS ^{Link} マッチが見つかりませんでした。 F 誤検出の LACS ^{Link} レコード。 S LACS ^{Link} マッチを得るためにセカンダリ情報(ユニット番号)が除去されました。 空白 LACS ^{Link} によって処理されていません。
LACSLinkRetCode	LACS ^{Link} リターン コード。 A 一致した LACS ^{Link} レコード。 00 LACS ^{Link} マッチが見つかりませんでした。 09 高層のデフォルトに一致しましたが、LACS ^{Link} 変換は行われませんでした。 14 LACS ^{Link} マッチが見つかりましたが、LACS ^{Link} 変換は行われませんでした。 92 LACS ^{Link} マッチを得るためにセカンダリ情報(ユニット番号)が除去されました。 空白 LACS ^{Link} によって処理されていません。
LACSLinkShutdown	Y 誤検出が生じ、LACSLink ライブラリがシャットダウンしました。 N LACSLink ライブラリはシャットダウンしていないか、ロードされていません。

Suite^{Link} の出力フィールド

Suite^{Link} 出力フィールドには、Suite^{Link} データセットを使用して検出されたマッチに関する情報が格納されます。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

フィールド名	説明
SuiteLink_Ret_Code	A Suite ^{Link} レコードに一致しました。
	00 Suite ^{Link} に一致しませんでした。
	空白 この住所は Suite ^{Link} によって処理されていません。

短い住所の出力フィールド

短い住所出力フィールドには、一致住所の省略形要素が格納されます。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

フィールド名	説明
ShortAddressline	使用可能な短い通り名とその他の住所行コンポーネントで構成可能な、最短の住所行。
ShortCityName	LASTLINE_SHORT に表示される出力都市名。この値は、CITY に似たロジックによって決まります。可能な限り、この都市名は 13 文字以下です。 この出力都市名は、CASS ルールによって決まります。都市/州名、都市/州名の略語、標準の最終行都市/州名のいずれかになります。
ShortLastline	住所の最終行。可能な限り、このフィールドは 29 文字以下です。 <ul style="list-style-type: none"> • 13 文字の都市名 • 2 文字 (カンマと空白) • 2 文字の州の略語 • 2 文字の空白 • 10 桁の ZIP Code
ShortStreetName	短い住所行を構成するために使用する短い通り名。 USPS が「30 Character Abbreviation - Cycle M Flow Chart」で定める処理に基づいて、この名前を略記することが試みられます。住所が 30 文字以下に短縮できなかった場合、このフィールドには、NAME フィールドが返す値と同じ通り名が含まれます。

フィールド名	説明
ShortPostDirectional	ADDRLINE_SHORT フィールドからの後置方位記号。
ShortPreDirectional	ADDRLINE_SHORT フィールドからの前置方位記号。
ShortStreetType	ADDRLINE_SHORT フィールドからの通りタイプ。

セグメントの出力フィールド

セグメント出力フィールドには、データ プロバイダによって識別される通りセグメントに関する情報が格納されます。

フィールド名	説明
LeftBlockID	通り左側からの国勢調査細分区 ID。交差点マッチングには適用されません。
RightBlockID	通り右側からの国勢調査細分区 ID。交差点マッチングには適用されません。
LeftSFXBlock	Census 2010 Geography の現在の左のブロック接尾語。一致するレコードがポイントレベル データから取得されている場合、このフィールドは空白になります。
RightSFXBlock	Census 2010 Geography の現在の右のブロック接尾語。一致するレコードがポイントレベル データから取得されている場合、このフィールドは空白になります。

フィールド名	説明
DataType	マッチを得るために使用したデータのタイプ。 0 USPS 1 TIGER 2 TomTom Streets ジオコーディング データセット 6 HERE Streets ジオコーディング データセット 7 TomTom Points ジオコーディング データセット 8 Centrus Points ジオコーディング データセット 9 補助ファイル 10 ユーザ辞書 11 HERE Points ジオコーディング データセット 12 Master Location Data
DataTypeName	候補マッチングのためのソース データ ベンダー。
HiRange	範囲内の家番号の最大値。交差点マッチングには適用されません。
HighUnit	範囲内のユニット番号の最大値。交差点マッチングには適用されません。
HiZip4	範囲内の ZIP+4 の最大値。交差点マッチングには適用されません。

フィールド名	説明
IsStreetAlias	<p>最初の文字は、以下のとおりです。</p> <p>N 通常の通り マッチ</p> <p>A エイリアス マッチ (建物、エイリアス、企業名などを含む)</p> <p>次の 2 文字は、以下のとおりです。</p> <p>01 基本インデックス (通常の住所マッチ)</p> <p>02 USPS の通り名エイリアス インデックス</p> <p>03 USPS の建物インデックス</p> <p>05 Statewide Intersection エイリアス (Usw.gsi、Use.gsi、または Us.gsi ファイルを使用する場合)</p> <p>06 空間データの通り名エイリアス (Us_pw.gsi、Usw.gsi、Us_pe.gsi、Use.gsi、Us_ps.gsi、Usp.gsi、Us_psw.gsi、または Us_pse.gsi ファイルの使用が必要な場合)</p> <p>07 代替インデックス (ZIP9.gsu、ZIP9E.gsu、および ZIP9W.gsu を使用する場合)</p> <p>08 LACS^{Link}</p> <p>09 未使用</p> <p>09 補助ファイルとの一致</p> <p>10 Centrus Alias インデックス (usca.gsi 使用時)</p> <p>11 POI インデックス (poi.gsi 使用時)</p> <p>12 USPS 優先エイリアス</p> <p>13 ZIPMove マッチ (us.gsz 使用時)。</p> <p>us.gsz データ ファイルには、再編成された ZIP+4 コードが含まれ、都市名や金融番号が変更されています。具体的には、ZIPMove で金融エリアの変更が可能になっています。これは、入力された都市が複数の金融エリアにある場合や ZIPMove データに古い住所が含まれている場合を除き、CASS 検索では金融エリアを変更できないためです。</p> <p>14 拡張中心点マッチ (us_cent.gsc または bldgcent.gsc 使用時)</p>
LoRange	範囲内の家番号の最小値。交差点マッチングには適用されません。
LowUnit	ユニット番号の最小値。交差点マッチングには適用されません。
LoZip4	この範囲内の ZIP+4 の最小値。交差点マッチングには適用されません。

フィールド名	説明
NearestDistance	<p>入力場所から一致した通り セグメント、ポイント住所、または交差点までの距離 (フィート単位)。</p> <p>注: リバースジオコーディング専用です。</p>
StreetPostDirectional	後置方位記号。空白、N、S、E、W、NE、NW、SW、または SE。
StreetPreDirectional	前置方位記号。空白、N、S、E、W、NE、NW、SW、または SE。
QCity	州、都市、金融番号。
RangeParity	<p>住所範囲での家番号の奇偶性を示します。</p> <p>E 偶数</p> <p>O 奇数</p> <p>B 両方</p>
RecType	<p>範囲レコード タイプを表します。</p> <p>A 補助ファイル</p> <p>F Firm</p> <p>G General Delivery</p> <p>H Highrise</p> <p>P 郵便局/PO Box</p> <p>R Rural Route</p> <p>S Street</p> <p>T TIGER レコードと一致</p> <p>U ユーザ辞書</p> <p>交差点マッチングには適用されません。</p>

フィールド名	説明
RoadClass	<p>道路クラス コード。</p> <p>0 補助道路、メイン データ ファイル</p> <p>1 幹線道路、メイン データ ファイル</p> <p>10 補助道路、補足ファイル</p> <p>11 幹線道路、補足データ ファイル</p> <p>交差点マッチングには適用されません。</p>
SegmentHighRange	セグメントに含まれる家番号の最大値。
SegmentLowRange	セグメントに含まれる家番号の最小値。
SegmentDirection	<p>セグメントの方向。</p> <p>F 番号は順方向です。</p> <p>R 番号は逆方向です。</p>
SegmentID	プレミアム データ ベンダーからのセグメント ID (TLID) またはユニーク ID。交差点マッチングには適用されません。
SegmentParity	<p>セグメントの奇偶性。奇偶性とは、セグメントの奇数番号が通りのどちら側にあるかを示すものです。</p> <p>L 通りの左側</p> <p>R 通りの右側</p> <p>B 通りの両側</p> <p>U 不明</p>
StreetSide	<p>一致した住所は、通りの以下の側に面しています。</p> <p>L 通りの左側。</p> <p>R 通りの右側。</p> <p>B 通りの両側。</p> <p>U どちら側か不明。</p> <p>ここでいう左右とは、セグメントの両端とセグメントの方向 (SEGMENT_DIRECTION) を基準にしたものです。</p>

フィールド名	説明
--------	----

ThoroughfareType	通りタイプ。
------------------	--------

その他の出力フィールド

その他の出力フィールドには、マッチングに関するその他の情報が格納されます。

フィールド名	説明
--------	----

AUXUserData	補助ファイルから得られるユーザ データ。補助ファイルがない場合は空白です。
-------------	---------------------------------------

CBSADivisionName	Core Based Statistical Area (CBSA) 区分名。
------------------	---

CBSADivisionNumber	Core Based Statistical Area (CBSA) 区分番号。
--------------------	--

CBSAName	住所がある Core Based Statistical Area (CBSA) の名前。 CBSA は、大都市圏と小都市圏の両方を指す総称です。大都市圏は人口が 50,000 人以上で、小都市圏は人口が 10,000 ~ 49,999 人です。詳細については、「 <i>Metropolitan and Micropolitan Statistical Areas</i> 」セクション (米国情勢調査局 Web サイト) を参照してください。 http://www.census.gov/population/www/metroareas/metroarea.html
----------	---

CBSANumber	Core Based Statistical Area (CBSA) 番号。
------------	--

CSAName	Combined Statistical Area (CSA) 名。
---------	------------------------------------

CSANumber	Combined Statistical Area (CSA) 番号。
-----------	-------------------------------------

LAT	住所の緯度。
-----	--------

LON	住所の経度。
-----	--------

MatchedDB	マッチしたレコードを表すジオコーディングデータセットのインデックス。
-----------	------------------------------------

MCDName	補助ファイルから得られた MCD (Minor Civil Division) 名。補助ファイルとの一致がない場合は空白です。
---------	---

フィールド名	説明
MCDNumber	補助ファイルから得られた MCD (Minor Civil Division) 番号。補助ファイルとの一致がない場合は空白です。
MetroFlag	住所がある Core Based Statistical Area (CBSA) が大都市圏か小都市圏かを示します。次のいずれかです。 Y 住所は Metropolitan Statistical Area (大都市統計圏) にあります。大都市圏の人口は 50,000 人以上です。 N 住所は大都市統計圏内にありません。小都市圏内にあります。小都市圏の人口は 10,000 ~ 49,999 人です。 空白 空白です (郡は CBSA を含みません)。
ResolvedLine	2 行にわたる住所でどちらの行が住所の解決に使用されたかを示します。

米国ジオコーディングの追加トピック

APN と標高を含む MLD 拡張属性

(米国) この機能により、pbKey を持つ住所指定可能な場所に関連付けられた拡張属性を利用できます。住所が、Master Location Data (MLD) と一致すると、Spectrum™ Technology Platform から、その住所に関連付けられたその他のプロパティ情報が返ります。こうした情報の例として、Assessor's Parcel Number (APN)、標高、住所タイプ、ロットサイズが挙げられます。APN を使用すると、小区画を特定して、Parcel ID を、資産や保険リスクの属性といった、保険業界のその他の情報にリンクさせることができます。詳細については、出力フィールドをすべて示した次のリストを参照してください。

必要条件

MLD 拡張属性が返るようにするには、以下が必要です。

- Master Location Data データセット
- 通りデータセット
- MLD 拡張属性データセット
- MLD データセットと MLD 拡張属性データセットのヴィンテージは、互いに、4 か月以内であることを推奨します。

MLD 拡張属性の出力フィールド (オプション)

フィールド	説明
ADDRTYPE	ユニット数に関する住所タイプ: S – 単一のユニット M – 複数のユニット P – 私書箱 X – 不明
APN_ID	Assessor's Parcel Number。

フィールド 説明

INC_IND	自治体として認可された場所インジケータ。 I – 自治体として認可された場所 N – 自治体として認可されていない場所 X – 不明
LOTSIZE	小区画のロット サイズ (平方フィート単位)。存在しなければ 0。
LOTSIZE_METERS	小区画のロット サイズ (平方メートル単位)。存在しなければ 0。
MEC_LAT	最小内包円の緯度を小数点以下 6 桁まで小数点省略で表記。存在しなければ 0。
MEC_LON	最小内包円の経度を小数点以下 6 桁まで小数点省略で表記。存在しなければ 0。
MEC_RAD	最小内包円の半径 (平方フィート単位) を整数で表記。例: 1234 は 1,234 フィートを示しています。
MEC_RAD_METERS	最小内包円の半径 (メートル単位) を小数点以下 1 桁まで表記。
PARCEN_ELEVATION	フィート単位の海拔を小数点以下 1 桁まで表記。例: 12.5 フィート
RESBUS	使用状況のインジケータ: R – 個人使用 B – 企業使用 M – 混在使用 - 個人および企業 X – 不明な使用
TFID	TIGER Face 識別子。このフィールドは、外部データを使用した、すべての Census ジオコードとの照合に使用可能です。存在しなければ 0。
PLACE	TIGER Place コード。存在しなければ 0。

フィールド 説明

UACE	TIGER 都市部識別子。都市部を定義する識別子。存在しなければ 0。
UACEPOP	都市部の Census 人口。存在しなければ 0。
URBANICITY	都市部インジケータ。Census に従い、TIGER UACE コードを使用して住所の都市分類を定義するインジケータ。

PBKey ZIP 中心点の位置

ジオコードのデフォルト動作は、住所レベルのジオコードがある住所指定可能な場所に対し、Master Location Data からの一致を返すことです。PBKey ZIP 中心点機能により、MLD に対するマッチング時に ZIP 中心点を返すことができます。高品質の場所情報がない住所の場合、このオプションにより pbKey™ unique identifier を利用できるようになります。この識別子により、GeoEnrichment データを使用して追加の住所情報を解読できるだけでなく、運用処理の効率化を実現します。ジオコーディングにおいて、住所の対象範囲と整合性を最大化できます。これらの住所を含めることにより、一致率を高め、一致の誤検出率を低下させます。また、米国の既知の住所すべてで pbKey™ ユニーク ID を利用できるようにします。デフォルトでは無効になっています。有効にするには、適切な CLI コマンドを使用します。詳細については、「[setting コマンド](#)」を参照してください。

注：この機能は Master Location Data でのみ使用できます。

POI (ポイント情報) マッチング

Master Location Data および HERE Point Addresses に付属するオプションの POI (ポイント情報) インデックス ファイル (*poi.gsi*) は、エイリアス名マッチングの拡張サポートを提供します。

POI マッチングを有効にするには:

1. MLD または HERE Point Addresses データをデータベース リソースとして追加します。
2. になっていることを確認します `FIND_BUILDING_SEARCH is set to true`。このオプションを有効にし、会社、建物、または POI 名が `mainAddress` 入力フィールドに指定されていると、POI インデックス ファイルが自動的に検索されます。
3. POI インデックスファイルとのエイリアス一致が得られた場合は `IsStreetAlias` 出力フィールドにより、中央線一致の場合は `CenterlineIsAlias` フィールドにより、`A11` が返されます。

Expanded Centroids

Master Location Data (MLD) で一致した住所に対して複数のポイントレベル ジオコードが有効になることがあります。さまざまなタイプのポイントレベル ジオコードの詳細については、[住所のロケーションコード](#) (249ページ) の "APnn" の定義を参照してください。MLD データで複数のポイントレベル ジオコードが有効なときは、マッチした住所データとともに最も品質の高いジオコードが返されます。

Expanded Centroids マッチとして返されるロケーションコードは、値が "APnn" で、データ型が "MASTER LOCATION" になります。

拡張中心点マッチは、`IsAlias` リターン フィールドの "A14" という値で示されます。拡張中心点マッチで返されるロケーションコードは、値が "APnn" で、データタイプが "MASTER LOCATION" になります。

拡張マッチコード

拡張マッチコードにより、家番号、ユニット番号、ユニットタイプの各フィールドにおけるすべての変更に関する追加情報が返されます。また、無視された住所情報があったかどうかを示します。拡張マッチコードが返るのは、住所レベル マッチ (A、G、H、J、Q、R、S、T または U で始まるマッチコード) のみです。その場合、3 桁目の 16 進数がマッチコードに追加されています (「[マッチコード](#) (238ページ)」を参照)。

注： 典型的なマッチコードは最大 4 文字から成り、最初の英字 1 文字に 2 または 3 桁の 16 進数が続きます。3 桁目の 16 進数は、交差点マッチ、または拡張マッチコードの一部用に設定されます。

以下は、3 桁目の 16 進数の値についての情報です。

- 交差点マッチについては、「[一致に関する 16 進数](#) (241ページ)」を参照してください。
- マッチコードについては、「[Definitions for Extended Match Code \(3rd hex digit values\)](#)」を参照してください。

拡張マッチコードの戻り値は、デフォルトで有効になっており、変更できません。

拡張マッチコードの戻り値

次のいずれかの条件の適用時には、"Address information ignored" が指定されます。

- 入力住所が住所を二重に含む (入力住所に 2 つの完全な住所がある)。例: 4750 Walnut St.P.O Box 50
- 入力の最終行の余計な情報 (都市、州、郵便番号以外) が無視された。例えば、"Boulder, CO 80301 USA" の場合、"USA" がマッチング時に無視されます。

以下のテーブルで、拡張マッチコードの 3 桁目の 16 進数が返す値について説明します。

入力住所行	出力住所行	拡張コード	説明
4750 WALNUT ST STE 200	4750 WALNUT ST STE 200	0	ユニット番号およびユニット タイプが含まれる場合、行のすべての住所がそれらを含めて一致しています。
4750 WALNUT ST C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST	1	ユニット番号およびユニット タイプが含まれる場合、それらが一致しています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
4750 WALNUT ST UNIT 200	4750 WALNUT ST STE 200	2	ユニット番号が一致しています。ユニット タイプが変更されています。
4750 WALNUT ST UNIT 200 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	3	ユニット番号が一致しています。ユニット タイプが変更されています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
4750 WALNUT ST STE 2-00	4750 WALNUT ST STE 200	4	ユニット番号が、変更または無視されています。
4750 WALNUT ST STE 2-00 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	5	ユニット番号が、変更または無視されています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
4750 WALNUT ST STE 400	4750 WALNUT ST STE 400	6	ユニット番号が、変更または無視されています。ユニットタイプが、変更または無視されています。この例では、Suite 400 は入力住所として有効ではありませんが、無効なユニット番号が原因で住所マッチが妨げられません。
4750 WALNUT ST UNIT 2-00 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	7	ユニット番号が、変更または無視されています。ユニットタイプが、変更または無視されています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
47-50 WALNUT ST STE 200	4750 WALNUT ST STE 200	8	ユニット番号およびユニット タイプが含まれる場合、それらが一致しています。家番号が、変更または無視されています。

入力住所行	出力住所行	拡張コード	説明
47-50 WALNUT ST STE 200 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	9	ユニット番号およびユニットタイプが含まれる場合、それらが一致しています。家番号が、変更または無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
47-50 WALNUT ST UNIT 200	4750 WALNUT ST STE 200	A	ユニット番号が一致しています。ユニットタイプが変更されています。家番号が、変更または無視されています。
47-50 WALNUT ST UNIT 200 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	B	ユニット番号が一致しています。ユニットタイプが変更されています。家番号が、変更または無視されています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
47-50 WALNUT ST STE 20-0	4750 WALNUT ST STE 200	C	家番号が、変更または無視されています。ユニット番号が、変更または無視されています。
47-50 WALNUT ST STE 20-0 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	D	家番号が、変更または無視されています。ユニット番号が、変更または無視されています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
47-50 WALNUT ST UNIT 20-0	4750 WALNUT ST STE 200	E	家番号が、変更または無視されています。ユニット番号が、変更または無視されています。ユニットタイプが、変更または無視されています。
47-50 WALNUT ST UNIT 2-00 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	F	家番号が、変更または無視されています。ユニット番号が、変更または無視されています。ユニットタイプが、変更または無視されています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。

都市のみの最終行マッチング

都市のみの最終行マッチングは、最終行に都市のみが入力された場合の住所マッチングを可能にする機能です。都市名は、mainAddress (単一行住所入力の場合)、LastLine、または areaName3 のいずれかのフィールドに入力されている必要があります。

最終行に都市のみが入力されている場合は、入力された都市が存在するすべての州が検索されます。そのため、最終行に都市と州が入力されている場合と比べて、マッチ件数 (マッチ コード E023 または E030 が返されるケース) は多くなる可能性があります。

制約:

- 都市のみの最終行マッチング機能は、CASS モードではサポートされていません。
- 都市のみの最終行マッチング機能は、ユーザ辞書に対するマッチングではサポートされていません。
- 都市のみの最終行に対してマッチングを行う際には、FIND_PREFER_ZIP_OVER_CITY の設定は無視されます。
- 都市のみの最終行マッチングは、誤検出マッチが返されることを防ぐために、緩和マッチ モードでは実行しないことを強く推奨します。

最終行の修正

FIND_CORRECT_LASTLINE が True に設定されている場合は、住所が一致しなかったり存在しなかったりした場合でも、出力の最終行の要素が修正されて、適切な ZIP Code または Soundex による近似一致が提供されます。この機能はデフォルトで無効になっています。

この機能は、FIND_ADDRCODE が True で、住所が候補と一致しない場合、または FIND_Z_CODE が True で、最終行の情報のみが入力されている場合に動作します。

FIND_ADDRCODE = True の場合の例

住所: 0 MAIN
最終行: BOLDER CA 80301

戻り値:

MATCH_CODE=E622
LASTLINE=BOULDER, CO 80301
CITY=BOULDER STATE=CO
ZIP=80301

FIND_Z_CODE = True の場合の例

住所: 最終行: BOLDER CA 80301

戻り値:

MATCH_CODE=Z6
LASTLINE=BOULDER, CO 80301
CITY=BOULDER STATE=CO
ZIP=80301

最終行の修正が有効になっている場合は、以下の要素が修正されます。

- **都市の修正** - 都市の修正は、入力された ZIP Code に基づいて行われます。ただし、都市と州に対する一致が存在する場合は、両方の検索エリアが保持されます。ZIP Code が入力されていないときは、入力された州が正しいか、正式名で正しく表記されている必要があります。返されるロケーションコードと座標は、出力 ZIP Code に基づいて設定されます。

- 入力された都市が誤っている場合:

HAUDENVILLE MA 01039

戻り値: LASTLINE=HAYDENVILLE, MA 01039 LAT= 42396500 LON= -72689100

- **州の修正** - 州は、正式名で正しく表記されているときは省略形になり、ZIP Code が存在するときは修正されます。州の入力にはいくつかのバリエーションがあり、ILL、ILLI、CAL は認識されますが、MASS は認識されません。米国のジオコードはバリエーションの省略形を変更と見なさないため、ILL から IL はマッチコードで変更として識別されません。さらに、ZIP Code が 1 つしかない都市の ZIP Code の出力は変更と見なされません。

- 入力された都市が存在する場合:

Bronx NT, 10451

戻り値: LASTLINE= BRONX, NY 10451

Bronx NT

戻り値: LASTLINE= BRONX NT

修正に必要な ZIP Code がない。

- 入力された都市が存在しない場合 - ZIP Code に対応する都市が返される:

60515

戻り値: LASTLINE=DOWNERS GROVE, IL 60515

MATCH_CODE=E622

ILLINOIS 60515 (または ILL 60515 または IL 60515 または ILLI 60515)

戻り値: LASTLINE=DOWNERS GROVE, IL 60515

MATCH_CODE=E222

- **ZIP Code の修正** - ZIP Code は、有効な都市/州が特定され、その都市に ZIP Code が 1 つしかない場合にのみ修正されます。

- 入力されている場合:

HAUDENVILLE MA 01039

戻り値: LASTLINE=HAYDENVILLE, MA 01039

- 入力が誤っている場合 - ZIP Code の修正は行われず、両方の検索エリアが保持される:

HAUDENVILLE MA 01030

戻り値: LASTLINE=HAYDENVILLE, MA 01030

都市と ZIP Code が対応していない。

- 入力されていない場合:

DOWNRS GROVE, IL

戻り値: LASTLINE=DOWNERS GROVE, IL

都市に複数の ZIP Code がある。

LILSE IL

戻り値: LASTLINE=LISLE, IL 60532

都市に ZIP Code が 1 つしかない。

DOWNERS GROVE LL

戻り値: LASTLINE=DOWNERS GROVE LL,

修正に必要な ZIP Code がない。

DOWNRS GROVE, LL

戻り値: LASTLINE=DOWNRS GROVE, LL

修正に必要な ZIP Code がない。

LILSE ILLINOIS

戻り値: LASTLINE= LISLE, IL 60532

州が正式名で正しく表記されている。

LISLE ILLINOS

戻り値: LASTLINE= LISLE ILLINOS

州の正式名が誤っており、修正に必要な ZIP Code がない。

注：返されるマッチコードについては、[最終行の修正マッチコード](#)（244ページ）を参照してください。

住所範囲マッチング

一部の事業拠点は、住所範囲によって識別されます。例えば、ショッピングプラザの住所が 10-12 Front St. となる場合があります。一般的に、ビジネス郵便の宛先にはこのような事業拠点が指定されます。このような住所範囲は、補間された範囲の中間点にジオコーディングすることができます。

住所範囲は、一部の大都市圏に見られるハイフン (ダッシュ) で結ばれた住所とは異なります。例えば、Queens County (New York City) にハイフンで結ばれた 243-20 147 Ave という住所があるとします。これは (住所範囲ではなく) 単一の住宅を表しており、単一の住所としてジオコーディ

ングされます。ハイフンで結ばれた住所が完全一致として返される場合、Spectrum™ Technology Platform住所範囲マッチの取得は行われません。

住所範囲は実際の配達可能な USPS® 住所ではないため、住所範囲マッチングは Exact モードまたは CASS モードでは利用できません。以下のフィールドは、住所範囲ジオコーディングによって返されません。

- ZIP + 4® (複数セグメントの場合)
- 配達ポイント
- チェック デジット
- 配達ルート
- レコード タイプ
- 複数ユニット
- デフォルト フラグ

住所範囲マッチングは、以下のガイドラインに従って機能します。

- ハイフンで区切られた 2 つの番号が必要です。
- 最初の番号は 2 つめの番号よりも小さくなくてはなりません。
- 2 つの番号の奇偶性 (奇数か偶数か) は同じでなければなりません。ただし、住所範囲そのものに奇数番号の住所と偶数番号の住所が混在している場合を除きます。
- 2 つの番号は、同じ通りセグメント上にあっても、2 つの異なるセグメント上にあってもかまいません。セグメントは連続していなくてもかまいません。
- 2 つの番号が同じ通りセグメント上にある場合、ジオコーディング後のポイントは、住所範囲のほぼ中間点に補間されます。
- 2 つの番号が異なるセグメント上にある場合、ジオコーディング後のポイントは、最初のセグメント上の有効な最後の家番号に基づきます。ZIP Code と FIPS コードは、最初のセグメントに基づきます。
- すべての場合において、ポイントを通りの正しい側に配置するために奇偶性が評価されます。

サポートされていないオプション

- `mustMatchFields` 設定を使用したマッチング時には、`matchOnAreaName2` および `matchOnAreaName4` オプションがサポートされません。

B - カスタム データ セット ビルダ

このセクションの構成

カスタム データセット ビルダ	214
フィーチャ	214
制限事項	214
ソース データの必要条件	215
カスタム データセット ビルダを使用する前に	215
カスタム データセット ビルダのコマンド	216
カスタム データセットの構築	218
Spectrum との統合	218
1ヶ国用の設定ファイルの作成	219
サポートされているすべての国に対応する設定ファイルの作成	221
ジオコーディング設定のカスタマイズ	221
ユーザ定義フィールドへのアクセス方法	229
カスタム データセット ビルダのサポート対象国	229

カスタム データセット ビルダ

Pitney Bowes のカスタム データセット ビルダは、スタンドアロンのコマンド ライン ユーティリティで、ユーザがカスタムのデータセットを作成し、住所データを Spectrum Global Geocoding モジュール (GGM) と統合するために使用できます。このように作成されたカスタム データセットは、GGM の標準のデータセットの補足として使用できます。また、特定のデータセットに固有の機能を満たすため、ジオコーディングの動作を強化し、最適化する目的にも利用できます。

カスタム データセット ビルダのワークフロー

- パッケージを展開します。ソース データが要件を満たしていることを確認します。
- サポートされている国と言語を確認します。1ヶ国用またはサポートされているすべての国に対応するサンプルのジオコーディング設定を作成します。ジオコーディング設定をカスタマイズします。
- カスタム データセットを構築します。データセットを Spectrum と統合します。

フィーチャ

カスタム データセット ビルダは、次の機能をサポートしています。

- 特定のデータセットに固有のデータを含む、サポートされている国の通りおよび住所ポイントのフォワード ジオコーディング。
- 米国を除く、サポートされているすべての国でのリバース ジオコーディング。
- Global Geocoding モジュールでサポートされている 100 を超える国と言語でのデータ統合。
「[カスタム データセット ビルダのサポート対象国](#)」を参照してください。
- MapInfo TAB のソース ファイル入力形式 (Native および NativeX) がサポートされています。

制限事項

カスタム データセット ビルダを使う前に、以下の点を考慮してください。

- カスタム データセット ビルダは、特殊文字 (□, # \$ % など) が含まれる TAB ファイル名をサポートしていません。カスタム データセット ビルダで使う TAB ファイルの名前に特殊文字が使われている場合は、名前を変更する必要があります。
- カスタム データセット ビルダは、バイト オーダー マーク (BOM) Unicode 文字をサポートしていません。メモ帳など、一部のエディタでは、テキストを UTF-8 形式で保存すると BOM が追加されるため、JSON ファイルを編集するときは BOM を追加しないエディタ (Notepad++ など) を使う必要があります。
- 複数の TAB ファイルを使用する国のデータの作成はサポートされていません。
- オプションのパラメータ `-usePackagedLib` は、Spectrum バージョン 2019.1 以降、および SPD バンドル OCT2019 以降でのみ動作します。

ソース データの必要条件

ソース データは、次の条件を満たす必要があります。

- ソース ファイルは MapInfo TAB (Native または NativeX) でなければなりません。
- データのソース レコードは、ポイント ジオメトリまたはライン ジオメトリ (セグメントで構成されたデータ) を含んでいる必要があります。TAB ファイルで緯度と経度を表形式で (個別の列で) 使用できる場合は、それらの列を使用してジオメトリを生成する必要があります。
- データは、すべての必須のフィールドが含まれるスキーマに納められている必要があります。これらのフィールドは、データセットのビルドプロセス中にマッピングされます。特定のレコードで必須のフィールドの値が空白の場合、そのレコードはデータセットにインポートされません。
- 検索エリア コード (SAC) フィールドは郵便番号にマッピングされるのが理想的です。これは、ほとんどのケースで最も論理的なグループ分けです。ただし、米国、ドイツ、およびカナダでは必要ありません。
- Spectrum 2019.1 以降が必要です。また、SPD バンドルのバージョンは OCT2019 以降でなければなりません。

カスタム データセット ビルダを使用する前に

カスタム データセット ビルダは、Spectrum Technology Platform および Global Geocoding モジュールをインストールすると使用できるようになります。場所は

server\modules\GlobalGeocode\customdatasetbuilder. です。ドキュメント (このドキュメント) はそのディレクトリにあります。

カスタム データセット ビルダのコマンド

注: カスタム データセット ビルダのコマンドを使う前に、インストールされているすべての Global Geocoding モジュール データセットへのパスを調べる必要があります。

カスタム データセット ビルダのコマンドは、コマンド ラインを使用して、ツールのインストール場所のルートから実行されます。各コマンドの先頭には - (ハイフン) を付加します。使用できるコマンド

- **help:** カスタム データセット ビルダが提供しているコマンドの一覧をユーザに表示するとともに、コマンドを使用してユーザのデータを効果的に取り込む方法について示します。

```
java -Xmx512m -jar cdb-<version>.jar -help
```

- **findCountryWithLanguage:** このコマンドを使用すると、カスタム データセット ビルダでのカスタム データ作成でサポートされている国を把握できます。さらに、データの言語についての情報も提供されます。いずれの情報もテキストファイルに書き出されます (cdb-<バージョン>.jar と同じ場所に配置されます)。ユーザは後でこのテキスト ファイルを使用して、国およびサポートされる言語ごとの初期設定を生成できます。

```
java -Xmx512m -jar cdb<version>.jar  
-findCountryWithLanguage-folderLocation="$folderLocation" -usePackagedLib
```

findCountryWithLanguage コマンドのパラメータは以下のとおりです。

- **folderLocation:** この値は、すべての SPD が抽出形式で配置される、親フォルダの場所です。
- **usePackagedLib:** SPD のライブラリではなく、カスタム データセット ビルダ ツールにバンドルされているライブラリを使用するオプションのパラメータ (米国では必須)。
- **createConfig:** このコマンドを使用すると、ユーザは国固有の設定 (JSON ファイル) を作成できます。これには、ユーザ データを取り込むためのユーザ データ情報の詳細なマッピングが含まれています。

```
java -Xmx512m -jar cdb<version>.jar-createConfig  
-folderLocation="$folderLocation"  
-country="$country_code"-dataType="$data_type" -language="$language_code"  
-userProfile="basic/advance"-usePackagedLib
```

createConfig コマンドのパラメータは以下のとおりです。

- **folderLocation**: この値は、すべての SPD が抽出形式で配置される、親フォルダの場所です。
- **country**: ユーザが提供する必要がある設定を生成する場合に必要な必須の情報で、設定ファイルを作成する国です。国情報は、3 文字の ISO コードでのみ指定できます。
- **language**: ユーザが取り込むデータの言語を指定するためのオプションのフィールドです。このフィールドは、Pitney Bowes ジオコーディング ソフトウェアの現在のオフリングと一致している必要があります。このフィールドの値は、デフォルトで "en" (ラテンまたはプレーンな英語) に設定されています。
- **datatype**: 取り込むデータのタイプを指定するオプションのパラメータです。範囲データは "Street" にマッピングされ、ポイントデータは "AP" にマッピングされます。例: datatype=Street
- **userProfile**: オプションのパラメータです。ユーザの技術的能力に応じて、basic または advanced を指定します。デフォルト値は basic です。basic を指定すると、高度な設定を含まないデフォルトの JSON が作成されます。

ユーザ プロファイルとして advanced を指定すると、basic で提供されるすべての設定に加えて、追加の設定要素が提供されます。DEU、CAN、および USA ではサポートされません。

- **usePackagedLib**: SPD のライブラリではなく、カスタム データセット ビルダ ツールにバンドルされているライブラリを使用するオプションのパラメータ (米国では必須)。
- **buildAll**: buildAll コマンドを使用すると、createConfig コマンドと同様に、サポートされているすべての国および言語の設定を一度に作成できます。

```
java -Xmx512m -jar cdb-^<version>.jar -buildAll -folderLocation=
"$folderLocation" -userProfile="basic/advance" -usePackagedLib
```

buildAll コマンドのパラメータは以下のとおりです。

- **folderLocation**: この値は、すべての SPD が抽出形式で配置される、親フォルダの場所です。
- **userProfile**: オプションのパラメータです。ユーザの技術的能力に応じて、basic または advanced を指定します。デフォルト値は basic です。basic を指定すると、高度な設定を含まないデフォルトの JSON が作成されます。

ユーザ プロファイルとして advanced を指定すると、basic で提供されるすべての設定に加えて、追加の設定要素が提供されます。DEU、CAN、および USA ではサポートされません。

- **usePackagedLib**: SPD のライブラリではなく、カスタム データセット ビルダ ツールにバンドルされているライブラリを使用するオプションのパラメータ (米国では必須)。

- **createDictionary**: ユーザは、**createConfig** コマンドに説明されているすべての関連する設定を完了した後、このコマンドを使用して、ユーザ データを Pitney Bowes ジオコーディング ソフトウェアで利用可能な形式に取り込むビルド処理を開始できます。

```
java -Xmx512m -jar cdb<version>.jar -createDictionary  
-folderLocation="$folderLocation"  
-configFilePath="$configFilePath" -usePackagedLib
```

createDictionary コマンドのパラメータは以下のとおりです。

- **configFilePath**: 引数は、JSON ファイルの絶対パスです。
- **folderLocation**: この値は、すべての SPD が抽出形式で配置される、親フォルダの場所です。
- **usePackagedLib**: SPD のライブラリではなく、カスタム データセット ビルダ ツールにバンドルされているライブラリを使用するオプションのパラメータ (米国では必須)。

カスタム データセットの構築

カスタム データセットの構築では、カスタマイズされた JSON ファイルを入力として使用します。また、ビルドコマンドを実行して、出力としてデータセットを構成するバイナリファイルを作成します。

カスタム データセットを構築するには、コマンド プロンプトから次のコマンドを実行します。

```
java -Xmx512m -jar cdb-<version>.jar -createDictionary  
-configFilePath="$configFilePath"
```

カスタム データセット ビルダは、データセットを構築し、指定されたフォルダに配置します。

Spectrum との統合

カスタム データセットをビルドし、適用する国のインストール先フォルダに配置した後で、このデータセットを選択して **Spectrum Management Console** で使用できます。

1 ケ国用の設定ファイルの作成

1 ケ国用のサンプル設定ファイルを作成すると、デフォルトの JSON ファイルが用意されます。このファイルを変更して、カスタム データセットの構築に使用できます。

1 ケ国用のサンプル設定ファイルを作成するには、コメント プロンプトで次のコマンドを実行します。

```
java -Xmx512m -jar cdb-<version>.jar -createConfig  
-folderLocation="$folderLocation" -country="$country_code"  
-dataType="$data_type" -language="$language_code"  
-userProfile="basic/advance"
```

個別のパラメータの詳細については、「[カスタム データセット ビルダのコマンド](#)」を参照してください。

カスタム データセット ビルダにより、その国用の JSON ファイルが作成されます。

フランスの設定

カスタム データセット ビルダは、他の国で使用するのと同様のコマンドを使用した、フランス、フランスの海外領土であるグアドループ (GLP)、フランス領ギアナ (GUF)、マルティニーク (MTQ)、マヨット (MYT)、レユニオン (REU)、およびモナコ公国 (MCO) のデータの作成をサポートしています。

これらの領土の住所をジオコーディングする場合は、フランスの住所と同様に、関連するすべての設定を指定します (領土のコードではなく国コード FRA を指定するなど)。親の国コード (FRA) とともに、これらの領土の一致候補が返ります。

必要条件

- データは TAB 形式 (Native または NativeX) にする必要があります。

結果:

- 通りジオコーディングのカスタム データセットを使用する場合、結果コードには、ユーザ データセットを表す "U" が含まれており、候補が標準住所データセットから作成された場合に付けられる "A" と区別されます。例えば、S5HPNTSCZA の代わりに S5HPNTSCZU となります。

制限:

- カスタム データセット ビルダで作成されたデータは、現時点ではインタラクティブ ジオコーディングをサポートしていません。

米国の設定

米国のデータによってカスタム データセットを作成する場合は、USA_DataManagerSettings.properties に特定の値を指定する必要があります。このプロパティ ファイルは、`cdb-<バージョン>.jar` ファイルと同じ場所にあります

```
java -Xmx512m -jar cdb-<version>.jar -createDictionary  
-folderLocation="$folderLocation" -configFilePath="$configFilePath"  
-usePackagedLib
```

注: 米国のデータを作成するには、通りデータセットのインストールが必要です。さらに、`-usePackagedLib` パラメータを使用する必要があります。このためには、Spectrum 2019.1 以降、および SPD バンドルのバージョン OCT2019 以降が必要です。

DICTIONARY_PATH1: この値は、米国の住所辞書が展開された形式で存在するフォルダのパスになります。

LIB_PATH: この値は、GGM モジュールの bin で使用可能な OS 固有 DLL のパスになります。

例: LIB_PATH="..\Spectrum\server\modules\GlobalGeocode\bin"

usePackagedLib: 米国のデータを作成するには、このパラメータが必須です。このパラメータを指定すると、SPD のライブラリではなく、カスタム データセット ビルダ ツールにバンドルされているライブラリが使用されます。

必要条件

- Spectrum 2019.1 以降が必要です。
- SPD バンドルのバージョン OCT2019 以降が必要です。
- 通りデータセットが既にインストールされている必要があります。
- データは TAB 形式 (Native または NativeX) にする必要があります。

結果:

- 通りジオコーディングのカスタム データセットを使用する場合、結果コードには、ユーザ データセットを表す "U" が含まれており、候補が標準住所データセットから作成された場合に付けられる "A" と区別されます。例えば、S5HPNTSCZA の代わりに S5HPNTSCZU となります。

制限:

- カスタム データセット ビルダで作成されたデータは、現時点ではインタラクティブ ジオコーディングをサポートしていません。

サポートされているすべての国に対応する設定ファイルの作成

すべての国用のサンプル設定ファイルを作成すると、デフォルトの JSON ファイルが用意されます。このファイルを変更して、カスタム データセットの構築に使用できます。

サポートされているすべての国に対応するサンプル設定ファイルを作成するには、コメント プロンプトで次のコマンドを実行します。

```
java -Xmx512m -jar cdb-<version>.jar -buildAll -folderLocation=  
"$folderLocation" -userProfile="basic/advance"
```

ジオコーディング設定のカスタマイズ

ジオコーディング設定をカスタマイズするには、サンプルの JSON ファイルで指定されている設定のプロパティを変更します。JSON ファイルでは、次の 2 種類のプロパティが利用されます。

- ビルド時プロパティは、データ作成とジオコーディングの両方に使用されます。
- 実行時プロパティは、ジオコーディングでのみ利用可能です。

注：カスタムのジオコーディング設定は、特定のデータセットにのみ適用されます。それ以外のデータセットの動作には影響しません。

ジオコーディング設定をカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. 編集する JSON ファイルをテキスト ファイル エディタで開きます。
2. 必要なプロパティ キー値を変更します。
3. ファイルを閉じます。

次の一連のプロパティを確認して、データセットの JSON ファイルをカスタマイズできるかどうかを検討してください。

configuration

このビルド時プロパティ セットは、データセットの設定を定義します。プロパティは次のとおりです。

- **country** – このプロパティは、データセットが適用される国を指定します。値は 3 文字の ISO 国コード (すべて大文字) です。例: **AUT**。
- **dataName** – このプロパティは、データセットの名前を指定します。使用できる値は、**AP** および **STREET** (大文字) です。**AP** は住所ポイントを表します。**STREET** は通り データを表します。
- **dataProviderName** – このプロパティは、データを提供するベンダーを指定します。このプロパティは変更しないことをお勧めします。
- **dataReader** – このプロパティは、データ リーダーを指定します。値は **Tab** です。このプロパティは変更しないことをお勧めします。
- **dictionaryType** – このプロパティは、データセット タイプを指定します。値は **Street** です。このプロパティは変更しないことをお勧めします。
- **dataLanguage** – このプロパティは、データセットで使用する言語を指定します。値は 2 文字の略語です。例: **en**この値は変更しないことをお勧めします。

設定プロパティの例を以下に示します。

```
"Configuration": {
  "country": "AUT",
  "dataName": "STREET",
  "dataProviderName": "TA",
  "dataReader": "Tab",
  "dictionaryType": "Street",
  "dataLanguage": "en"
}
```

注：プロパティと値はどちらも引用符で囲みます。

field

このビルド時プロパティ セットは、データセットのフィールド形式を定義します。プロパティは次のとおりです。

- **StreetName**: 通り フィールドを指定します。
- **PostCode**: 郵便番号フィールドを指定します。
- **AreaName1**: このプロパティは、州/省フィールドを指定します。

- AreaName1 (米国固有): 州の略語のフィールドにマッピングされます。
- AreaName2: このプロパティは、郡フィールドを指定します。
- AreaName3: このプロパティは、都市フィールドを指定します。
- AreaName4: このプロパティは、地方フィールドを指定します。
- StartingAddressNumber: このプロパティは、道路の左側と右側に割り振られた住所番号範囲の最初の番号を指定します。
- EndingAddressNumber: このプロパティは、道路の左側と右側に割り振られた住所番号範囲の最後の番号を指定します。
- StreetSideIndicator: このプロパティは、道路の左側と右側に割り振られた偶数や奇数の住所番号構造を指定します。マッピングされるフィールドには、以下の表に示すいずれかの値が含まれている必要があります。それ以外の値がマッピングされると、データ作成エラーが発生することがあります。

フィールドの値	説明	例
0 または 1	住所番号範囲がない	
2	偶数の範囲 From Left – To Left (2-10)	2、4、6、8、10
3	奇数の範囲 From Left – To Left (1-9)	1、3、5、7、9
4	混在 From Left – To Left (1-10)	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10

- geometry_name: このプロパティは、キー **GeometryName** と値 “GEOM” をペアにします。
- StreetAdditionalFields: このプロパティは、追加の通り候補情報が必要かどうかを指定します。
- RangeAdditionalFields: このプロパティは、追加の範囲情報が必要かどうかを指定します。
- UnitAdditionalFields: このプロパティは、追加のフィールドをユニットレベルで指定します。
- PostalAdditionalFields: このプロパティは、追加のフィールドを行政区画レベルで指定します。

次のプロパティは、上記のプロパティに従属します。

- **Comments:** プロパティに関する説明。
- **keys:** このプロパティは、特定のフィールドの1つまたは複数のキーを指定します。上記のいずれかのプロパティにネストします。既存のキーは生成時のまま変更しないことをお勧めします。レベルの異なる追加のフィールドについては、追加してもかまいません。
- **values:** このプロパティは、カスタム データソース内でフィールドがマッピングされるフィールドの名前を指定します。上記のいずれかのプロパティにネストします。
- **altValues:** オプションのフィールド。マッピングされるキーの代替値を指定します。

カナダ固有の altValue: カナダの郵便番号は 6 桁です。この 6 桁のうち、前半の 3 桁は values にマッピングされ、後半の 3 桁は altValues にマッピングされます。

```
"PostCode" : {
  "keys": ["LeftPostCode", "RightPostCode"],
  "values": ["PostalCode", "PostalCode"],
  "altValues": ["PostalCode_AddOn", "PostalCode_AddOn"]
}
"PostCode" : {
  "keys": ["LeftPostCode", "RightPostCode"],
  "values": ["PostalCode", "PostalCode"],
  "altValues": ["PostalCode_AddOn", "PostalCode_AddOn"]
}
"PostCode" : {
  "Comments" : "Mapping for Post Code and Extended Post Code from
source data.",
  "keys" : [ "LeftPostCode", "RightPostCode" ],
  "values" : [ "Left_postalcode_5", "Right_postalcode_5" ],

  "altValues" : [ "Left_postalcode_3", "Right_postalcode_3" ]
},
```

シンガポール: 郵便番号は 2 つのフィールドでマッピングされます。最初のフィールドには先頭の 2 桁の郵便番号が入ります。2 番目のフィールドには残りの 4 桁が入ります。

住所ポイントの場合、value と altValue は **postcode2**、**postcode4** になります。

通り データの場合: **l_postcode2/l_postcode4/r_postcode2/r_postcode4**

```
"PostCode" : {
  "Comments" : "Mapping for Post Code and Extended Post Code from
source data.",
  "keys" : [ "LeftPostCode", "RightPostCode" ],
  "values" : ["l_postcode2", "r_postcode2"],
  "altValues" : ["l_postcode4", "r_postcode4"]
},
```

フィールド プロパティの例を以下に示します。

```

"field": {
  "StreetName": {
    "Comments" : "Mapping for Street Name and Street Name Alias from source
data.",
    "keys" : "StreetName",
    "values" : "STRASSE",
    "altValues" : ""
  },
  "PostCode" : {
    "Comments" : "Mapping for Post Code and Extended Post Code from source
data.",
    "keys" : [ "LeftPostCode", "RightPostCode" ],
    "values" : [ "PLZ", "PLZ" ],
    "altValues" : [ "", "" ]
  },
  "AreaName3" : {
    "keys" : [ "LeftAreaName3", "RightAreaName3" ],
    "values" : [ "ORT", "ORT" ],
    "altValues" : [ "", "" ]
  },
  "AreaName4" : {
    "keys" : [ "LeftAreaName4", "RightAreaName4" ],
    "values" : [ "ORTSTEIL", "ORTSTEIL" ],
    "altValues" : [ "", "" ]
  },
  "StreetSideIndicator" : {
    "Comments" : "Mapping for Street Side Indicator from source data.",
    "keys" : [ "LeftStreetSideIndicator", "RightStreetSideIndicator"
],
    "values" : [ "", "" ]
  },
  "StartingAddressNumber" : {
    "Comments" : "Mapping for Starting Address Number from source data.",
    "keys" : [ "FromLeftStartingAddressNumber",
"FromRightStartingAddressNumber" ],
    "values" : [ "HAUSNR_VON", "HAUSNR_VON" ]
  },
  "EndingAddressNumber" : {
    "Comments" : "Mapping for Ending Address Number from source data.",
    "keys" : [ "ToLeftEndingAddressNumber",
"ToRightEndingAddressNumber" ],
    "values" : [ "HAUSNR_VON", "HAUSNR_VON" ]
  },
  "StreetAdditionalFields" : {
    "Comments" : "Mapping for Additional Fields at Street level from
source data.",
    "keys" : [ "sub_locality", "sub_town" ],
    "values" : [ "ORTSTEIL", "ORT" ]
  },
  "RangeAdditionalFields" : {

```

```

    "Comments" : "Mapping for Additional Fields at Range level from source
data.",
    "keys" : [ "RangeIdentifier" ],
    "values" : [ "ORTSTEIL" ]
  },
  "UnitAdditionalFields" : {
    "Comments" : "Mapping for Additional Fields at Unit level from source
data.",
    "keys" : [ "UnitIdentifier" ],
    "values" : [ "ORTSTEIL" ]
  },
  "PostalAdditionalFields" : {
    "Comments" : "Mapping for Additional Fields at Postal level from
source data.",
    "keys" : [ "PostalIdentifier" ],
    "values" : [ "ORTSTEIL" ]
  },
  "geometry_name" : {
    "Comments" : "Mapping for Geometry from source data.",
    "keys" : "GeometryName",
    "values" : ""
  }
}

```

dataReader

このビルド時プロパティ セットは、データセットのデータ リーダー プロパティを定義します。プロパティは次のとおりです。

- **tab**: このプロパティは、リーダーが **TAB** ファイル リーダーであることを示します。

次のプロパティは、上記のプロパティに従属します。

- **TABFile**: このプロパティは、**TAB** ファイルを指定します。これは **tab** プロパティにネストします。
- **inputPath**: このプロパティは、カスタム ソース データへのパスを指定します。 **tab** プロパティの場合、これは完全なファイル パスです。

dataReader プロパティの例を以下に示します。

```

"dataReader": {
  "Comments": "Mapping for input file path and TAB file name."
  "tab" : {
    "inputPath" : "<InputTabFileFolder>/AUT_TAB",
    "TABFile" : "AT_scheme_dummy_sample1"
  }
}

```

出力

このビルド時プロパティは、カスタム データセットの出力パスを定義します。例:

```
"output" : {
  "outputPath" : "<FolderLocation>/AUT_UD"
}
```

errata

このビルド時プロパティは、検索エリア コード (Sac) を作成するためのフィールド マッピングを定義します。

例:

```
"errata" : {
  "SacFromFile" : [ "PostalCode", "PostalCode" ]
}
```

SacFromFile JSON では数値でなければなりません。郵便番号はほとんどの国で数値であり、SacFromFile の定義に使用できます。郵便番号が数値でない国の場合、カスタム データセットビルダでは論理的なグループ化が可能なフィールドが必要になります。

advancedConfigs

この実行時プロパティセットは、カスタム設定値を定義します。Abbreviations、Post_StreetTypes、Pre_StreetTypes の各サブセットを含んでおり、それらはキーと編集可能な値を含んでいます。

この設定は、userProfile="Advance" の場合にのみ使用できます。

Abbreviations

このプロパティを使用すると、国固有の略語を設定できます。

例:

```
"Abbreviations" : [ "Wien:Wien", "Freih:Frh", "LIMITED:LTD",
  "INDUSTRIES:IND", "FOOTBALL:F", "OÖ:Oberösterreich", "haus:hs",
  "Hauptbahnhof:Hbf", "Sankt%:St", "European+Economic+Interest+Group:EEIG",
  "Dekan:Dek", "BUILDING:BLD", "NÖ:Niederösterreich"]
```

SacFromFile JSON では数値でなければなりません。郵便番号はほとんどの国で数値であり、SacFromFile の定義に使用できます。郵便番号が数値でない国の場合、カスタム データセットビルダでは論理的なグループ化が可能なフィールドが必要になります。

Post_StreetType

このプロパティを使用すると、通り名の後に記述されることが多い国固有の通りタイプを設定できます。

例:

```
"Post_StreetTypes" : [
  "CHAUSÉE:chaussee,CHAUSSEE,CHAUSSEE.,CHAUSSÉ,CHAUSSÉ.,CHAUSSÉ,CH.,CHAUSS.,CHAUS.,CHAUS,CHAUSS",
  "PROM:PROM,promenade,Prom.", "WEG:WEG,weg,Weg.", "DAMM:DAM,damm,Damm.",
  "RING:RNG,ring,Ring.", "BOULEVARD:BD,boulevard,boulevard.,BD.",
  "GASSE:GA,gasse,Gasse.,g.", "PLATZ:PL,platz,platz.,PL.",
  "PROMENADE:PROM,promenade",
  "STRAÙE:STR,STRAÙE,STRASSE,STRASS,STRASE,STRABE,STREET" ]
```

Pre_StreetTypes

このプロパティを使用すると、通り名の前に記述されることが多い国固有の通りタイプを設定できます。

```
"Pre_StreetTypes" : [ "Rue:R." ]
```

以下は advancedConfigs プロパティを示しています。

```
"advancedConfigs" : {
  "Post_StreetTypes" : [
    "CHAUSÉE:chaussee,CHAUSSEE,CHAUSSEE.,CHAUSSÉ,CHAUSSÉ.,CHAUSSÉ,CH.,CHAUSS.,CHAUS.,CHAUS,CHAUSS",
    "PROM:PROM,promenade,Prom.", "WEG:WEG,weg,Weg.", "DAMM:DAM,damm,Damm.",
    "RING:RNG,ring,Ring.", "BOULEVARD:BD,boulevard,boulevard.,BD.",
    "GASSE:GA,gasse,Gasse.,g.", "PLATZ:PL,platz,platz.,PL.",
    "PROMENADE:PROM,promenade",
    "STRAÙE:STR,STRAÙE,STRASSE,STRASS,STRASE,STRABE,STREET" ],
  "Abbreviations" : [ "Wien:Wien", "Freih:Frh", "LIMITED:LTD",
    "INDUSTRIES:IND", "FOOTBALL:F", "OÖ:Oberösterreich", "haus:hs",
    "Hauptbahnhof:Hbf", "Sankt%:St", "European+Economic+Interest+Group:EEIG",
    "Dekan:Dek", "BUILDING:BLD", "NÖ:Niederösterreich" ],
  "Pre_StreetTypes" : [ "Rue:R." ]
```

ユーザ定義フィールドへのアクセス方法

設定 JSON ファイルに追加のフィールドをマッピングし、Global Geocoding モジュールを通してジオコーディングを行うときに利用できます。

ユーザ定義フィールドにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. Enterprise Designer で、GlobalGeocode ステージを使用してデータフローを作成します。
2. [Write to File オプション] の [フィールド] タブで、[追加] ボタンを使用してフィールドを追加します。JSON で定義されているのと同じ名前を使用してください。
3. データフローを保存して、住所をジオコードします。出力にユーザ定義フィールドが含まれます。

カスタム データセット ビルダのサポート対象国

Country	ISO 国コード
アルバニア	ALB
アルジェリア	DZA
Angola	AGO
アルゼンチン	ARG
Aruba	ABW
オーストラリア	AUS
オーストリア	AUT
バハマ	BHS

Country	ISO 国コード
Bahrain	BHR
Barbados	BRB
Belarus	BLR
ベルギー、ルクセンブルク	BEL
Belize	BLZ
Benin	BEN
Bermuda	BMU
ボリビア	BOL
ボスニア・ヘルツェゴビナ	BIH
Botswana	BWA
ブラジル	BRA
Brunei Darussalam	BRN
Bulgaria	BGR
Burkina Faso	BFA
Burundi	BDI
Cameroon	CMR
カナダ	CAN
チリ	CHL
中国	CHN

Country	ISO 国コード
コロンビア	COL
コンゴ-ブラザビル	COG
コンゴ-キンシャサ	COD
コスタリカ	CRI
Croatia	HRV
Cuba	CUB
キプロス	CYP
チェコ共和国	CZE
デンマーク	DNK
Dominican Republic	DOM
Ecuador	ECU
Egypt	EGY
El Salvador	SLV
Estonia	EST
フィンランド	FIN
フランス、フランス領ギアナ、グアドループ、マルティニーク、マヨット、モナコ、レユニオン	FRA、GLP、GUF、MCO、MTQ、MYT、REU
Gabon	GAB
ドイツ	DEU
Ghana	GHA

Country	ISO 国コード
Greece	GRC
Guatemala	GTM
Guyana	GUY
Honduras	HND
Hong Kong	HKG
ハンガリー	HUN
アイスランド	ISL
インド	IND
Indonesia	IDN
イラク	IRQ
アイルランド	IRL
イタリア、バチカン市国、サンマリノ	ITA、VAT、SMR
Jamaica	JAM
日本	JPN
ヨルダン	JOR
Kenya	KEN
Korea	KOR
コソボ	XKX
Kuwait	KWT

Country	ISO 国コード
Latvia	LVA
Lebanon	LBN
Lesotho	LSO
Lithuania	LTU
Macau	MAC
Macedonia	MKD
Malawi	MWI
マレーシア	MYS
Mali	MLI
マルタ	MLT
Mauritania	MRT
Mauritius	MUS
メキシコ	MEX
モンテネグロ	MNE
Morocco	MAR
Mozambique	MOZ
Namibia	NAM
Netherlands	NLD
ニュージーランド	NZL

Country	ISO 国コード
Nicaragua	NIC
Niger	NER
Nigeria	NGA
ノルウェー	NOR
Oman	OMN
Panama	PAN
Paraguay	PRY
Peru	PER
Philippines	PHL
ポーランド	POL
ポルトガル	PRT
Qatar	QAT
ルーマニア	ROU
ロシア	RUS
Rwanda	RWA
Saint Kitts and Nevis	KNA
Saudi Arabia	SAU
Senegal	SEN
セルビア	SRB

Country	ISO 国コード
シンガポール	SGP
Slovakia	SVK
Slovenia	SVN
South Africa	ZAF
スペイン、アンドラ、ジブラルタル	ESP AND GIB
Suriname	SUR
Swaziland	SWZ
スウェーデン	SWE
スイス、リヒテンシュタイン	CHE LIE
台湾	TWN
Tanzania	TZA
Thailand	THA
Togo	TGO
Trinidad and Tobago	TTO
Tunisia	TUN
Turkey	TUR
Uganda	UGA
Ukraine	UKR
United Arab Emirates	ARE

Country	ISO 国コード
英国	GBR
米国	USA
ウルグアイ	URY
ベネズエラ	VEN
Viet Nam	VNM
イエメン	YEM
Zambia	ZMB
Zimbabwe	ZWE

C - 結果コード

このセクションの構成

米国のマッチコードとロケーションコード	238
グローバル結果コード	266

米国のマッチコードとロケーションコード

マッチコード

ジオコーダは、データベースと一致した住所の部分、または一致しなかった住所の部分を示すマッチコードを返します。

ジオコーダがマッチングを行うことができない場合、マッチコードは "E" で始まり、残りの数字は住所が一致しなかった理由を示します。"Ennn" コードの説明については、[一致しなかった場合の "Ennn" マッチコード \(243ページ\)](#) を参照してください。こうした -> この数字が示しているのは、一致しなかった特定の住所要素ではなく、住所が一致しなかった理由です。

次の表には、マッチコードの値が記されています。マッチコードの [16 進数の説明](#) については、[一致に関する 16 進数 \(241ページ\)](#) を参照してください。

コード	説明
Ahh	"Shh" と同じですが、エイリアス名レコードまたは代替レコードに対する一致を示します。
Chh	通りの住所は一致しませんでした。入力された ZIP Code または都市に基づく通りセグメントが特定されました。
D00	一致したのは私書箱または局留めの配達のみが扱われている小さな町です。
Gxx	補助ファイルに一致しました。
Hhh	家番号が変更されました。
Jhh	ユーザ定義辞書に一致しました。

コード	説明
Nxx	<p>最も近い住所に一致しました。リバース ジオコーディングで使用されます。以下に、N でのみ使用される値を示します。</p> <p>NS0 最も近い通り中央一致 (補間された最も近い通りセグメント)</p> <p>NS1 最も近い番号なし通りセグメント</p> <p>NP0 最も近いポイント住所</p> <p>NX0 最も近い交差点</p>
P	Reverse APN Lookup に成功しました。
Qhh	固有の ZIP Code を持つ USPS 範囲レコードに一致しました。固有の ZIP Code 値に一致する場合は、CASS ルールによって入力 ZIP の変更が禁止されています。
Rhh	住所範囲に一致しました。
Shh	USPS データに一致しました。住所の USPS リストに直接一致したという理由で、最良の住所一致と見なされます。"S" は、一致した住所が空白の ZIP + 4 を持つ場合に少数の住所に対して返されます。
Thh	通りセグメント レコードに一致しました。
Uhh	USPS データに一致しましたが、社名またはその他の情報なしには ZIP + 4 コードを解決できません。CASS モードでは "E023" (複数一致) エラー コードが返されます。
Xhhh	<p>2つの通りの交差点 (例えば、"Clay St & Michigan Ave") に一致しました。1 桁目の 16 進数は最終行の情報を、2 桁目の 16 進数は交差点の最初の通りを、3 桁目の 16 進数は交差点の 2 番目の通りを参照しています。</p> <p>注: USPS では、交差点を配達可能な住所として使用できません。</p>
Yhhh	"xhhh" と同じですが、エイリアス名レコードは 1 つまたは両方の通りで使用されました。

コード	説明
Z ¹	住所は与えられませんが、提供された ZIP Code を検証しました。

¹ FIND_CORRECT_LASTLINE が True に設定されている場合は、Zh が返されることがあります。

一致に関する 16 進数

次の表に、マッチ コード値の 16 進数の説明を示します。

コード	1 桁目の 16 進数の意味:	2 桁目と 3 桁目の 16 進数の意味:
0	最終行に変更はありません。	住所行に変更はありません。
1	ZIP Code が変更されました。	通りタイプが変更されました。
2	都市が変更されました。	前置方位記号が変更されました。
3	都市および ZIP Code が変更されました。	通りタイプおよび前置方位記号が変更されました。
4	州が変更されました。	後置方位記号が変更されました。
5	州および ZIP Code が変更されました。	通りタイプおよび後置方位記号が変更されました。
6	州および都市が変更されました。	前置方位記号および後置方位記号が変更されました。
7	州、都市、および ZIP Code が変更されました。	通りタイプ、前置方位記号、および後置方位記号が変更されました。
8	ZIP + 4 が変更されました。	通り名が変更されました。
9	ZIP および ZIP + 4 が変更されました。	通り名および通りタイプが変更されました。

コード	1 桁目の 16 進数の意味:	2 桁目と 3 桁目の 16 進数の意味:
A	都市および ZIP + 4 が変更されました。	通り名および前置方位記号が変更されました。
B	都市、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。	通り名、通りタイプ、および前置方位記号が変更されました。
C	州および ZIP + 4 が変更されました。	通り名および後置方位記号が変更されました。
D	州、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。	通り名、通りタイプ、および後置方位記号が変更されました。
E	州、都市、および ZIP + 4 が変更されました。	通り名、前置方位記号、および後置方位記号が変更されました。
F	州、都市、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。	通り名、通りタイプ、前置方位記号、および後置方位記号が変更されました。

一致しなかった場合の "Ennn" マッチ コード

次の表は、アプリケーションで一致が見つからなかった場合、またはエラーが発生した場合に返される値を説明したものです。

コード	"nnn" の値	説明
Ennn ²		エラー、つまり一致しなかったことを示します。この状況が起こり得るのは、入力された住所がデータベース内に存在しないか、形式に誤りがあって正しくパースできない場合です。エラー コードの最後の 3 桁は、アプリケーションがデータベースと照合できなかった住所の部分を示します。
	nnn = 000	まったく一致しませんでした。
	nnn = 001	低レベルのエラーです。
	nnn = 002	データ ファイルが見つかりませんでした。
	nnn = 003	GSD ファイルの署名またはバージョン ID が正しくありません。
	nnn = 004	古い GSD ファイルです。CASS モードでのみ発生します。
	nnn = 010	都市および州、または ZIP Code が見つかりません。
	nnn = 011	入力 ZIP がディレクトリ内にありません。
	nnn = 012	入力都市がディレクトリ内にありません。
	nnn = 013	入力都市がディレクトリ内で一意ではありません。
	nnn = 014	ライセンス対象エリア外です。Group1 ライセンス テクノロジーを使用している場合にのみ発生します。
	nnn = 015	レコード数を使い果たし、ライセンスが無効になっています。
	nnn = 020	マッチングする通りがディレクトリ内に見つかりません。
	nnn = 021	交差点マッチング用の交差する通りがありません。

コード	"nnn" の値	説明
	nnn = 022	マッチングするセグメントがありません
	nnn = 023	未解決の一致です。
	nnn = 024	マッチングするセグメントがありません(022 と同じ)。
	nnn = 025	交差点マッチングに使用する交差する通りの候補が多すぎます。
	nnn = 026	複数行マッチングの試行時に住所が見つかりませんでした。
	nnn = 027	無効な方向指示が試行されました。
	nnn = 028	レコードが EWS データにも一致したので、アプリケーションによって一致が拒否されました。
	nnn = 029	範囲は一致せず、単一の通りセグメントが見つかりました。
	nnn = 030	範囲は一致せず、複数の通りセグメントが見つかりました。

最終行の修正マッチ コード

最終行の修正 (209ページ) で述べたように、FIND_CORRECT_LASTLINE が True に設定されている場合は、住所が一致しなかったり存在しなかったりした場合でも、出力の最終行の要素が修正されて、適切な ZIP Code または Soundex による近似一致が提供されます。

この機能は、FIND_ADDRCODE が True で、住所が候補と一致しない場合、または FIND_Z_CODE が True で、最終行の情報のみが入力されている場合に動作します。

コード	値	説明
Zh		住所は入力されませんが、指定された ZIP Code を検証しました。
	h = 0	最終行に変更はありません。

² FIND_CORRECT_LASTLINE が True に設定されている場合は、Ennn が返されることがあります。詳細については、「[最終行の修正マッチ コード \(244ページ\)](#)」を参照してください。

コード	値	説明
	h = 1	ZIP Code が変更されました。
	h = 2	都市が変更されました。
	h = 3	都市および ZIP Code が変更されました。
	h = 4	州が変更されました。
	h = 5	州および ZIP Code が変更されました。
	h = 6	州および都市が変更されました。
	h = 7	州、都市、および ZIP Code が変更されました。
	h = 8	ZIP + 4 が変更されました。
	h = 9	ZIP および ZIP + 4 が変更されました。
	h = A	都市および ZIP + 4 が変更されました。
	h = B	都市、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。
	h = C	州および ZIP + 4 が変更されました。
	h = D	州、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。
	h = E	州、都市、および ZIP + 4 が変更されました。
Ehnn		エラー、つまり一致しなかったことを示します。この状況が起り得るのは、入力された住所がデータベース内に存在しないか、形式に誤りがあって正しくパースできない場合です。エラーコードの2桁目は、最終行を修正するために最後の行の情報に対して行われた変更の詳細を示す16進数です。エラーコードの最後の2桁は、アプリケーションがデータベースと照合できなかった住所の部分を示します。
	h = 0	最終行に変更はありません。

コード	値	説明
	h = 1	ZIP Code が変更されました。
	h = 2	都市が変更されました。
	h = 3	レコードが EWS データにも一致したので、アプリケーションによって一致が拒否されました。
	h = 4	州が変更されました。
	h = 5	州および ZIP Code が変更されました。
	h = 6	州および都市が変更されました。
	h = 7	州、都市、および ZIP Code が変更されました。
	h = 8	ZIP + 4 が変更されました。
	h = 9	ZIP および ZIP + 4 が変更されました。
	h = A	都市および ZIP + 4 が変更されました。
	h = B	都市、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。
	h = C	州および ZIP + 4 が変更されました。
	h = D	州、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。
	h = E	州、都市、および ZIP + 4 が変更されました。
	nn = 00	まったく一致しませんでした。
	nn = 01	低レベルのエラーです。
	nn = 02	データ ファイルが見つかりませんでした。
	nn = 03	GSD ファイルの署名またはバージョン ID が正しくありません。

コード	値	説明
	nn = 04	古い GSD ファイルです。CASS モードでのみ発生します。
	nn = 10	都市および州、または ZIP Code が見つかりません。
	nn = 11	入力 ZIP Code がディレクトリ内にありません。
	nn = 12	入力都市がディレクトリ内にありません。
	nn = 13	入力都市がディレクトリ内で一意ではありません。
	nn = 14	ライセンス対象エリア外です。Group1 ライセンス テクノロジーを使用している場合にのみ発生します。
	nn = 15	レコード数を使い果たし、ライセンスが無効になっています。
	nn = 20	マッチングする通りがディレクトリ内に見つかりません。
	nn = 21	交差点マッチング用の交差する通りがありません。
	nn = 22	マッチングするセグメントがありません
	nn = 23	未解決の一致です。
	nn = 24	マッチングするセグメントがありません(022 と同じ)。
	nn = 25	交差点マッチングに使用する交差する通りの候補が多すぎます。
	nn = 26	複数行マッチングの試行時に住所が見つかりませんでした。
	nn = 27	無効な方向指示が試行されました。
	nn = 28	レコードが EWS データにも一致したので、アプリケーションによって一致が拒否されました。
	nn = 29	範囲は一致せず、単一の通りセグメントが見つかりました。

コード	値	説明
	nn = 30	範囲は一致せず、複数の通りセグメントが見つかりました。

ロケーションコード

ロケーションコードは、割り当てられたジオコードの場所の精度を示します。正確に位置付けられた候補が必ずしも理想的な候補とならないことに注意してください。候補の全体的な品質の最適な評価を行うには、ロケーションコードだけでなく、マッチコードや結果コードも調査します。

住所のロケーションコード

"A" で始まるロケーションコードは、住所のロケーションコードです。住所のロケーションコードは、道路網セグメント (交差点の場合は 2 つのセグメント) に対して直接作成されたジオコードを示しています。

住所のロケーションコードには、次の文字が含まれます。

1 番目の文字	常に、住所の場所を示す "A" です。
2 番目の文字	次のいずれかになります。
	C 補間された住所ポイントの場所
	G 補助ファイル データの場所
	I アプリケーションは候補レコードから適切なセグメントを推定します
	P ポイントレベルのデータの場所
	R 場所は住所範囲を表します
	S 通り範囲上の場所
	X 2 つの通りの交差点上の場所
3 番目および 4 番目の文字	場所に関するその他の品質を示す数字です。

住所ロケーションコードの説明

コード	説明
AGn	ジオコード マッチング用の補助ファイルを示します。 "n" は次のいずれかの値です。
n = 0	ジオコードは小区画または建物の中心を表します。
n = 1	ジオコードはセグメント沿いの補間された住所です。
n = 2	ジオコードはセグメント沿いの補間された住所ですが、通りのどちら側かは補助ファイルのレコードに指定されたデータからは決定できません。
n = 3	ジオコードは通りセグメントの中間ポイントです。
APnn	小区画または建物の中心を表すポイントレベルのジオコード一致を示します。 "nn" は次のいずれかの値です。
nn = 00	ユーザ辞書セントロイドです。ユーザ辞書によって返されるジオコードです。
nn = 02	小区画セントロイド アクセサの小区画(区域または用地)ポリゴンの中心を示します。不整形な小区画の中心がポリゴンの外側に位置する場合、セントロイドはポリゴン内のできるだけ実際の中心に近い場所に手動で配置し直されます。
nn = 04	住所ポイント 現地で収集された住所データを伴う現地収集のGPSポイントを表します。

コード

説明

nn = 05

建物ポイント

一致した住所に関連付けられている建物の敷地ポリゴン内の場所を示します。

通常、個人宅の住所は1つの建物で構成されます。離れに建物(車庫、納屋、物置など)がある家屋では、通常、構造ポイントがプライマリ構造にあります。

共同住宅や二世帯住宅には複数の個別の住所があり、建物ごとに複数の構造ポイントを持つことがあります。マルチユニット形態の建物は、通常、ユニットごとの別々の構造ポイントではなく、プライマリ/基本住所に関連付けられた1つの構造ポイントで表されます。

ショッピングモール、工業団地、および学術機関や医療センターの構内は、一般に複合施設全体のプライマリ/基本住所に関連付けられた1つの構造ポイントで表されます。1つの複合施設内の複数の建物に複数の住所が割り当てられている場合、同じ複合施設内で複数の構造ポイントが表されることがあります。

nn = 07

手動で配置

住所ポイントは、小区画の通りに面していて中心線からは離れた部分の中間ポイントに重なるように手動で配置されます。

nn = 08

正面玄関ポイント

建物への指定された正式な入口を表します。建物に複数の入口があり、正式な入口が指定されていないか容易には決定できない場合は、メイン通りへのアクセスのしやすさと駐車場の有無に基づいて正式な入口が選択されます。

nn = 09

私道オフセットポイント

メイン車道からの垂直距離が33～98フィート(10～30メートル)の範囲内にある主要進入路上に位置するポイントを表します。

コード	説明
nn = 10	<p>通りアクセス ポイント</p> <p>道路網からの主要アクセスポイントを表します。この住所ポイントタイプは、私道などの進入路がメイン車道と交差する場所に位置します。</p>
nn = 21	<p>基本小区画ポイント</p> <p>入力ユニット番号とのマッチングができない場合、または複数のユニットがある住所の場所からユニット番号が欠落している場合、「基本」小区画の情報が返され、ユニット番号に対する住所の正規化は行われないので、査定官の割り当てた区画番号などの追加情報は返されません。</p>
nn = 22	<p>バックフィル住所ポイント</p> <p>正確な小区画セントロイドは不明です。割り当てられた住所ロケーションは、2つの既知の小区画セントロイドに基づきます。</p>
nn = 23	<p>仮想住所ポイント</p> <p>正確な小区画セントロイドは不明です。割り当てられた住所ロケーションは、既知の小区画セントロイドと通り セグメント終点からの相対位置です。</p>
nn = 24	<p>補間住所ポイント</p> <p>正確な小区画セントロイドは不明です。割り当てられた住所ロケーションは、通りセグメントの終点に基づきます。</p>
AIn	<p>適切なセグメントはマッチング時に候補レコードから推定されています。</p>
ASn	<p>家屋範囲住所ジオコードこれは利用できる最高精度のジオコードです。</p>
<p>AIn と ASn、および ACnh では、次のように 3 番目の文字 "n" に共通の値が入ります。</p>	
n = 0	<p>最良の場所です。</p>

コード	説明
n = 1	通りのどちら側かは不明です。Census FIPS ブロック ID は左側から割り当てられています。ただし、割り当てられたオフセットはなく、ポイントは通りに直接配置されます。
n = 2	次のどちらかまたは両方を示します。 <ul style="list-style-type: none"> 住所は補間されて住所範囲にはもともと含まれていなかった TIGER セグメント上に配置されます。 元のセグメント名は USPS の綴りに一致するように変更されました。これは具体的には通りタイプ、前置方位記号、および後置方位記号を参照しています。 <p>注：セグメント範囲の補間は TIGER データ向けに完成されたものなので、非 TIGER データでは 2 番目のケースのみに該当します。</p>
n = 3	1 と 2 の両方に該当します。
n = 7	プレースホルダです。セグメントの始点と終点に同じ値が含まれていて形状データが利用できない場合に使用されます。
ACnh	2つの小区画セントロイド(ポイント)の間、小区画セントロイドと通り セグメント終点の間、または 2つの通り セグメント終点の間が補間された、ポイントレベルのジオコードを示します。
ACnh の 4 番目の文字 "h" の値は次のとおりです。	
h = 0	どちらもユーザ辞書から得られた 2つのポイント間の補間を表します。
h = 1	2つのポイント間の補間を表します。下限はユーザ辞書から、上限はユーザ辞書以外から得られたものです。

コード	説明
h = 2	どちらもユーザ辞書から得られた、1つのポイントと1つの通りセグメント終点の間の補間を表します。
h = 3	1つのポイント (下限) と1つの通りセグメント終点 (上限)の間の補間を表します。下限はユーザ辞書から、上限はユーザ辞書以外から得られたものです。
h = 4	2つのポイント間の補間を表します。下限はユーザ辞書以外から、上限はユーザ辞書から得られたものです。
h = 5	どちらもユーザ辞書以外から得られた2つのポイント間の補間を表します。
h = 6	1つのポイント (下限) と1つの通りセグメント終点 (上限)の間の補間を表します。下限はユーザ辞書以外から、上限はユーザ辞書から得られたものです。
h = 7	どちらもユーザ辞書以外から得られた、1つのポイントと1つの通りセグメント終点の間の補間を表します。
h = 8	どちらもユーザ辞書から得られた、1つの通りセグメント終点と1つのポイント間の補間を表します。
h = 9	1つの通りセグメント終点 (下限) と1つのポイント (上限) 間の補間を表します。下限はユーザ辞書から、上限はユーザ辞書以外から得られたものです。
h = A	どちらもユーザ辞書から得られた、2つの通りセグメント終点間の補間を表します。
h = B	2つの通りセグメント終点間の補間を表します。下限はユーザ辞書から、上限はユーザ辞書以外から得られたものです。
h = C	1つの通りセグメント終点 (下限) と1つのポイント (上限)間の補間を表します。下限はユーザ辞書以外から、上限はユーザ辞書から得られたものです。

コード	説明
h = D	どちらもユーザ辞書以外から得られた、1つの通りセグメント終点と1つのポイント間の補間を表します。
h = E	2つの通りセグメント終点間の補間を表します。下限はユーザ辞書以外から、上限はユーザ辞書から得られたものです。
h = F	どちらもユーザ辞書以外から得られた、2つの通りセグメント終点間の補間を表します。
ARn	住所範囲ジオコードです。"n"は次のいずれかです。
n = 1	ジオコードは、単一の通りセグメント沿いであって範囲内の1番目および2番目の入力家番号の補間された場所の中間に位置します。
n = 2	ジオコードは、単一の通りセグメント沿いであって範囲内の1番目および2番目の入力家番号の補間された場所の中間に位置しますが、通りのどちら側かは不明です。Census FIPS ブロック ID は左側から割り当てられています。ただし、割り当てられたオフセットはなく、ポイントは通り上に直接配置されます。
n = 4	入力範囲は複数のUSPSセグメントにまたがっています。ジオコードは、1番目の入力家番号に対応するセグメントの終点上であって2番目の入力家番号に最も近い端に接している部分に位置します。
n = 7	プレースホルダです。一致したセグメントの始点と終点に同じ値が含まれていて形状データが利用できない場合に使用されます。
AXn	交差点ジオコードです。"n"は次のいずれかです。
n = 3	通りセグメントの中心線から計算された標準的な単一ポイント交差点です。

コード

説明

n = 8

補間された(分割道路)交差点ジオコードです。交差点のセントロイドを返すを試みます。

通りセントロイドのロケーションコード

"C" で始まるロケーションコードは、通りセントロイドのロケーションコードです。通りセントロイドのロケーションコードは、Census ID の精度と、返される通りセグメントでのジオコードの位置を示します。通りセントロイドの代替オプションが有効であって住所レベルのジオコードが決定できなかった場合には、通りセントロイドが返される可能性があります。

通りセントロイドのロケーションコードには、次の文字が含まれます。

1 番目の文字	常に "C" です。この文字は、通りセグメントから得られる場所であることを示します。
2 番目の文字	一致する通りセグメントを取得するために使用される、検索エリアに基づく Census ID 精度です。
3 番目の文字	返される通りセグメント上のジオコードの場所です。

次の表に、ロケーションコードの値と説明を示します。

文字の位置	コード	説明
2 番目の文字		
	B	ブロック グループの精度 (最高精度) です。入力 ZIP Code に基づいています。
	T	国勢統計区の精度です。入力 ZIP Code に基づいています。
	C	未分類の Census 精度です。通常、少なくとも郡レベルの精度があります。入力 ZIP Code に基づいています。
	F	不明な Census 精度です。金融エリアに基づいています。
	P	不明な Census 精度です。入力都市に基づいています。

文字の位置	コード	説明
3 番目の文字		
	C	セグメント セントロイドです。
	L	セグメントの低範囲の終点です。
	H	セグメントの高範囲の終点です。

ZIP + 4 セントロイドのロケーションコード

"Z" で始まるロケーションコードは、ZIP + 4 セントロイドのロケーションコードです。ZIP + 4 セントロイドは、住所に対して決定できなかったジオコードを示します。そのため、その住所の ZIP + 4 の中心の場所が代わりに返されます。ZIP + 4 セントロイドのロケーションコードは、2 つの場所属性、Census ID 精度と位置的精度の質を示します。

ZIP + 4 セントロイドのロケーションコードには、次の文字が含まれます。

1 番目の文字	常に "Z" です。この文字は、ZIP セントロイドから得られる場所であることを示します。
2 番目の文字	Census ID の精度です。
3 番目の文字	場所タイプです。
4 番目の文字	場所および Census ID がどのように定義されたかを示します。完全性のために提供されていますが、おそらくほとんどのアプリケーションでは役に立ちません。

文字の位置	コード	説明
2 番目の文字	B	ブロック グループの精度 (最高精度) です。
	T	国勢統計区の精度です。
	C	未分類の Census 精度です。通常、少なくとも郡レベルの精度があります。
3 番目の文字		

文字の位置	コード	説明
	5	その住所に郵便物を届ける郵便局の場所、5桁の ZIP Code セントロイド、またはロケール(都市)に基づいた場所です。場所の精度の正確な表示については、4番目の文字を参照してください。
	7	ZIP + 2 セントロイドに基づいた場所です。これらの場所は、都市部では複数ブロックエリア、また地方の設定ではもう少し大きなエリアを表すことができます。
	9	ZIP + 4 セントロイドに基づいた場所です。これらは非常に精度の高いセントロイドであり、通常、その場所を適切なブロック面上に配置します。レコードが少数の場合、この場所は ZIP + 4 が位置する通り全体の中心になる可能性があります。場所の精度の正確な表示については、4番目の文字を参照してください。
4番目の文字		
	A	単一のセグメントに一致する住所です。一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所であり、通りの適切な側にオフセットされます。
	a	単一のセグメントに一致する住所ですが、通りのどちら側が適切であるかは不明です。一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所であり、住所範囲が大きくなると、通りの左側にオフセットされます。

文字の位置	コード	説明
	B	すべて同じブロックグループを持つ複数のセグメントに一致する住所です。この ZIP + 4 内に家番号の最大範囲を持つ一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所です。通りの適切な側にオフセットされた場所です。
	b	通りのどちら側が適切かが不明な点を除き、方法論 "B" と同じです。一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所であり、住所範囲が大きくなると、通りの左側にオフセットされます。
	C	すべて同じ国勢統計区を持つ複数のセグメントに一致する住所です。この ZIP + 4 で最大の世帯数を表すブロックグループを返します。この ZIP + 4 内に家番号の最大範囲を持つ一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所です。通りの適切な側にオフセットされた場所です。
	c	通りのどちら側が適切かが不明な点を除き、方法論 "C" と同じです。一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所であり、住所範囲が大きくなると、通りの左側にオフセットされます。
	D	すべて同じ郡を持つ複数のセグメントに一致する住所です。この ZIP + 4 で最大の世帯数を表すブロックグループを返します。この ZIP + 4 内に家番号の最大範囲を持つ一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所です。通りの適切な側にオフセットされた場所です。

文字の位置	コード	説明
	d	通りのどちら側が適切かが不明な点を除き、方法論 "D" と同じです。一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所であり、住所範囲が大きくなると、通りの左側にオフセットされます。
	E	一致する通り名です。家の範囲は使用できません。一致するすべてのセグメントには同じブロックグループがあります。一致するセグメントの中心に最も近いセグメント上に位置する場所です。ほとんどの場合、通り全体の間中ポイント上にあります。
	F	一致する通り名です。家の範囲は使用できません。一致するすべてのセグメントには同じ国勢統計区があります。一致するセグメントの中心に最も近いセグメント上に位置する場所です。ほとんどの場合、通り全体の間中ポイント上にあります。
	G	一致する通り名です (家の範囲は使用できません)。一致するすべてのセグメントには同じ郡があります。一致するセグメントの中心に最も近いセグメント上に位置する場所です。ほとんどの場合、通り全体の間中ポイント上にあります。
	H	方法論 "G" と同じですが、一部のセグメントは同じ郡にはありません。0.05% 未満のセントロイドで使用されます。

文字の位置	コード	説明
	I	方法論 "A"、"a"、"B"、および "b" によって定義される形で作成される ZIP + 2 クラスタ セントロイドです。この ZIP + 2 クラスタ内のすべてのセントロイドは同じブロックグループを持ちます。ZIP + 2 セントロイドに割り当てられる場所です。
	J	方法論 "A"、"a"、"B"、"b"、"C"、および "c" によって定義される形で作成される ZIP + 2 クラスタ セントロイドです。この ZIP + 2 クラスタ内のすべてのセントロイドは同じ国勢統計区を持ちます。ZIP + 2 セントロイドに割り当てられる場所です。
	K	方法論 "A"、"a"、"B"、"b"、"C"、"c"、"D"、および "d" によって定義される形で作成される ZIP + 2 クラスタ セントロイドです。ZIP + 2 セントロイドに割り当てられる場所です。
	L	方法論 "E" によって定義される形で作成される ZIP + 2 クラスタ セントロイドです。この ZIP + 2 クラスタ内のすべてのセントロイドは同じブロックグループを持ちます。ZIP + 2 セントロイドに割り当てられる場所です。
	M	方法論 "E" および "F" によって定義される形で作成される ZIP + 2 クラスタ セントロイドです。この ZIP + 2 クラスタ内のすべてのセントロイドは同じ国勢統計区を持ちます。ZIP + 2 セントロイドに割り当てられる場所です。
	N	方法論 "E"、"F"、"G"、および "H" によって定義される形で作成される ZIP + 2 クラスタ セントロイドです。ZIP + 2 セントロイドに割り当てられる場所です。

文字の位置	コード	説明
	O	ZIP Code は廃止されており、USPS で現在使用されていません。史跡が割り当てられています。
	V	この ZIP Code 内の 95% 以上の住所は、単一の国勢統計区内にあります。ZIP Code セントロイドに割り当てられる場所です。
	W	この ZIP Code 内の 80% 以上の住所は、単一の国勢統計区内にあります。適度な国勢統計区の精度です。ZIP Code セントロイドに割り当てられる場所です。
	X	この ZIP Code 内の 80% 未満の住所が単一の国勢統計区内にあります。Census ID は不明確です。ZIP Code セントロイドに割り当てられる場所です。
	Y	地方または人口が少ない地域です。Census コードは不明確です。USGS 場所ファイルに基づいた場所です。
	Z	P.O.箱または局留めの住所です。Census コードは不明確です。その住所に郵便物を届ける郵便局の場所に基づいた場所です。

地理的セントロイドのロケーションコード

"G" で始まるロケーションコードは、地理的セントロイドのロケーションコードです。通りセントロイドの代替オプションが有効であって住所レベルのジオコードが決定できなかった場合には、地理的セントロイドが返される可能性があります。地理的セントロイドのロケーションコードは、都市、郡、または州のセントロイドの品質を示します。

地理的セントロイドのロケーションコードには、次の文字が含まれます。

1 番目の文字	常に "G" です。この文字は、地理的セントロイドから得られる場所であることを示します。
2 番目の文字	地理的エリアのタイプです。次のいずれかです。 M 地方自治体 (都市など) C County S 州

グローバル結果コード

フォワード ジオコーディングの結果コード

結果コードの全般的な説明

次の表に、返される結果コードの全般的な説明を示します。

結果コード	説明
	通りレベルでジオコーディングされた候補は、文字 s で始まる結果コードを返します。コードの 2 番目の位置は、ジオコーディングされたレコードの結果ポイントの位置的な精度を示します。それぞれの国でサポートされる具体的な S 結果コードについては、 単一一致の 'S' 結果コード (270ページ) を参照してください。
S8	住所ポイント候補に関連付けられた単一ポイント、または家番号が同一の住所ポイント候補にポイントが位置付けられた単一一致。補間は必要ありません。
S7	通り セグメント沿いの補間ポイントに位置付けられた単一一致。ポイント辞書と通り セグメント辞書の両方が使用可能でなければなりません。既知のポイントデータを使用できるため、S7補間の精度は S5 結果よりも高くなります。
S6	ZIP セントロイドの位置にポイントが位置付けられた単一一致。
S5	通り住所の位置にポイントが位置付けられた単一一致。通り セグメント データしか使用できないため、この補間の精度は S7で返される結果ほど高くはありません。S5 コードの後には、一致の精度を示す文字とダッシュが続きます。
S4	通り セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。
S3	ZIP+4 [®] セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。Z3の結果と同じ品質の一致です。
S2	ZIP + 2 セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。Z2の結果と同じ品質の一致です。

結果コード	説明
S1	郵便番号セントロイドにポイントが位置付けられた単一致。Z1の結果と同じ品質の一致です。
S0	一切の座標が利用できない単一致(きわめてまれにしか発生しません)。
SX	交差点にポイントが位置付けられた単一致。
SC	元のポイントが関連通り セグメントに向かう方向またはそのセグメントから離れる方向に(通常は垂線に沿って) 指定の距離だけ移動された単一致。この結果コードを返すことができるのは、ポイント辞書と通り セグメント辞書の両方が使用可能で、かつ中央線オフセット機能が使用されている場合に限られます。

結果コード **s** (通り ジオコーディング) は、追加の 8 文字により、住所がデータベース内の住所にどの程度一致するかを示します。これらの文字は、以下の表に示す順序で並びます。一致しないコンポーネントはダッシュで表わされません。

例えば、S5--N-SCZA という結果コードは、通り名、後置方位記号、都市名、および郵便番号が一致する単一致を意味します。ダッシュは、家番号、前置方位記号、および大通りタイプにマッチングがないことを示します。一致する候補は、通り範囲住所データベースに見つかりました。このレコードは、見つかった候補の通り住所の位置にジオコーディングされます。

H	家番号の一致。
P	通りの前置方位記号。 Pは、次の条件が 1 つでも満たされた場合に示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 候補の前置方位記号が、入力の前置方位記号と一致する。 前置方位記号と後置方位記号を入れ替えると、候補の後置方位記号と入力の前置方位記号が一致する。 入力に前置方位記号が含まれない。
N	通り名の一致。
T	通り/大通り タイプの一致。

結果コード	説明
S	通りの後置方位記号。 結果コードの s は、次の条件が 1 つでも満たされた場合に示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 候補の後置方位記号が、入力の後置方位記号に一致する。 前置方位記号と後置方位記号を入れ替えると、候補の前置方位記号と入力の後置方位記号が一致する。 入力に後置方位記号が含まれない。
C	areaName3 の一致 (通常は都市または町)。
Z	郵便番号の一致。
A または U	住所辞書またはユーザ辞書に対する一致。

z カテゴリの一致は、マッチングが郵便番号レベルで成立したことを示します。郵便番号一致が返されるのは、次のどちらかの場合です。

- 郵便番号セントロイドへのマッチングを指定した。結果のポイントは、以下の精度レベルをとり得る郵便番号セントロイドに位置付けられます。
- 通り レベルの一致が見つからず、郵便番号セントロイドへの代替が指定されていました。

注: postCode1 & 2 の具体的な意味については、該当する国のセクションを参照してください。

Z6	Z6の結果は、ポイント ZIP セントロイドに一致したものです。ポイント ZIP は 5 桁です。Z6コードは、こうした特別な ZIP がエリアではなく、実際のポイントの位置であることを示します。Point ZIP には、一意の単一サイト、建物、または組織が含まれます。
Z3	Z3の結果は、ZIP + 4 または postCode2 セントロイドの位置に一致したものです。
Z2	Z2の結果は、ZIP + 2 または部分的に postCode2 セントロイドの位置に一致したものです。
Z1	Z1の結果は、ZIP Code または (postCode1) セントロイドの位置に一致したものです。

地理的レベルでジオコーディングされた候補は、文字 **G** で始まる結果コードを返します。G の後に続く結果コード内の数値は、その候補の精度に関するより詳細な情報を提供します。

注: areaName1-4 の具体的な意味については、該当する国のセクションを参照してください。

結果コード	説明
G1	州セントロイドにポイントが位置付けられた、州/省 (areaName1) の一致。
G2	郡セントロイドにポイントが位置付けられた、郡/地域 (areaName2) の一致。
G3	都市セントロイドにポイントが位置付けられた、都市/町 (areaName3) の一致。
G4	郊外/村セントロイドにポイントが位置付けられた、郊外/村 (areaName4) の一致。

単一一致の 'S' 結果コード

以下の表に、国別のsカテゴリ結果コードのサポート状況を示します。's' 結果コードの詳細については、[フォワードジオコーディングの結果コード \(266ページ\)](#) を参照してください。こうした説明は大多数の国に当てはまります。例外については、次のテーブルの後のセクションで列挙および説明します。

- [オーストラリア](#)
- [カナダ](#)
- [米国](#)

黒丸 "•" はsコードがサポートされていることを示します。空欄は sコードがサポートされていないことを示します。

国名	S8	S7	S6	S5	S4	S3	S2	S1	S0	SX	SC	SG
オーストラリア (AUS)	•	•		•	•				•			•
カナダ (CAN)	•	•		•	•	•		•	•		•	
デンマーク (DNK)	•	•		•	•					•		
ドイツ (DEU)	•	•		•	•					•		
英国 (GBR)	•	•		•	•				•	•		
ニュージーランド (NZL)	•	•		•	•					•		
米国 (USA)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
その他すべての国々	•	•		•	•				•	•	•	

米国 — 'S' 精度コードの説明

以下の表に、米国の 's' 精度コードの説明を示します。

精度コード	説明
通りレベルでジオコーディングされた候補は、文字 S で始まる精度コードを返します。コードの 2 番目の位置は、ジオコーディングされたレコードの結果ポイントの位置的な精度を示します。	
S8	住所ポイント候補に関連付けられた単一ポイント、または家番号が同一の住所ポイント候補にポイントが位置付けられた単一一致。補間は必要ありません。
S7	通り セグメント沿いの補間ポイントに位置付けられた単一一致。ポイント/小区画辞書と通り セグメント辞書の両方が使用可能でなければなりません。既知のポイント データを使用できるため、S7の補間の精度は S5 の結果よりも高くなります。
S6	ZIP セントロイドの位置にポイントが位置付けられた単一一致。
S5	通り住所の位置にポイントが位置付けられた単一一致。通り セグメント データしか使用できないため、この補間の精度は S7で返される結果ほど高くはありません。
S4	通り セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。
S3	ZIP + 4® にポイントが位置付けられた単一一致。Z3の結果と同じ品質の一致です。
S2	ZIP+2 セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。ZIP+2 セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。Z2の結果と同じ品質の一致です。
S1	ZIP Code セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。Z1の結果と同じ品質の一致です。
S0	一切の座標が利用できない単一一致 (きわめてまれにしか発生しません)。
SX	交差点にポイントが位置付けられた単一一致。
SC	元のポイントが関連通り セグメントに向かう方向またはそのセグメントから離れる方向に (通常は垂線に沿って) 指定の距離だけ移動された単一一致。この結果コードを返すことができるのは、ポイント ジオコーディング データセットと通り セグメント ジオコーディング データセットの両方が使用可能、かつ中央線オフセット機能が使用されている場合に限られます。

オーストラリア — 'S' 結果コードの説明

以下の表は、オーストラリアの 'S' 結果コードを説明したものです。

結果コード	説明
	通りレベルでジオコーディングされた候補は、文字 S で始まる結果コードを返します。コードの 2 番目の位置は、ジオコーディングされたレコードの結果ポイントの位置的な精度を示します。
S8	住所ポイント候補に関連付けられた単一ポイント、または家番号が同一の住所ポイント候補にポイントが位置付けられた単一一致。補間はありません。
S8.....G	S8.....G 結果コードは GNAF 信頼レベル 1 または 2 (最高レベルの GNAF 信頼度) の単一一致を表すために使用されます。
S7	候補の通りセグメント沿いの補間ポイントに位置付けられた単一一致。潜在的な候補が住所ポイント候補ではなく、他の住所ポイント候補には家番号が正確に一致するものがない場合、S7 の結果コードが住所ポイント補間を使って返されます。
S7.....G	S7.....G 結果コードは GNAF 信頼レベル 3 の単一一致を表すために使用されます。
S5	通り住所の位置にポイントが位置付けられた単一一致。
S4	形状ポイント パスの中心にポイントが位置付けられた、単一一致 (形状ポイントによって通りのポリラインの形状が定義されます)。
S4.....G	S4.....G 結果コードは、独自の道路特性に基づく GNAF 信頼レベル 4 での単一一致を表すために使用されます。
S0	一切の座標が利用できない単一一致 (きわめてまれにしか発生しません)。
SX	交差点にポイントが位置付けられた単一一致。
SC	元のポイントが関連通り セグメントに向かう方向またはそのセグメントから離れる方向に (通常は垂線に沿って) 指定の距離だけ移動された単一一致。この結果コードを返すことができるのは、ポイント ジオコーディング データセットと通り セグメント ジオコーディング データセットの両方が使用可能、かつ中心線オフセット機能が使用されている場合に限られます。

結果コード	説明
SG	地方 (areaName3) の中心部、または地形特性から導き出された地方レベルのジオコードにポイントが位置付けられた単一致。SG 結果コードは、GNAF 信頼レベル 5 (地方または地区) またはレベル 6 (特定の地域) に関連付けられます。

カナダ — 'S' 結果コードの説明

以下の表に、カナダの 's' 結果コードの説明を示します。

結果コード	説明
通りレベルでジオコーディングされた候補は、文字 S で始まる結果コードを返します。コードの 2 番目の位置は、ジオコーディングされたレコードの結果ポイントの位置的な精度を示します。	
S8	住所ポイント候補に関連付けられた単一ポイント、または家番号が同一の住所ポイント候補にポイントが位置付けられた単一一致。補間は必要ありません。
S7	候補の通りセグメント沿いの補間ポイントに位置付けられた単一一致。潜在的な候補が住所ポイント候補ではなく、他の住所ポイント候補には家番号が正確に一致するものがない場合、S7 の結果コードが住所ポイント補間を使って返されます。
S5	通り住所の位置にポイントが位置付けられた単一一致。
S4	形状ポイントパスの中心にポイントが位置付けられた、単一一致 (形状ポイントによって通りのポリラインの形状が定義されます)。
S3	FSALDU の郵便セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。
S1	FSA の郵便セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。
S0	一切の座標が利用できない単一一致 (きわめてまれにしか発生しません)。
SC	元のポイントが関連通りセグメントに向かう方向またはそのセグメントから離れる方向に (通常は垂線に沿って) 指定の距離だけ移動された単一一致。この結果コードを返すことができるのは、ポイントジオコーディングデータセットと通りセグメントジオコーディングデータセットの両方が使用可能、かつ中心線オフセット機能が使用されている場合に限られます。

リバース ジオコーディングの 'R' 結果コード

R カテゴリの一致は、レコードがリバース ジオコーディングで一致したことを意味します。R 結果コードの最初の 3 文字は、見つかった一致のタイプを示します。R のジオコード結果には、一致が得られた辞書を示す追加の文字が含まれます。これは常に、住所辞書を示す A になります。リバース ジオコーディングは (ユーザ辞書ではなく) 住所辞書でのみサポートされます。

リバース ジオコーディングの 'R' 結果コードの説明

リバース ジオコーディング 説明 コード

RG0	地理的レベル: 国レベル (通常は、他の行政区分がデータに存在しない小さな島国にのみ使用されます)。
RG1	地理的レベル: 州または省レベル。(日本では県) フォワード ジオコーディングの G1 に対応します。
RG2	地理的レベル: 県(州または省の下位区分)レベル。(日本では市区町村) フォワード ジオコーディングの G2 に対応します。
RG3	地理的レベル: 都市または町レベル。フォワード ジオコーディングの G3 に対応します。(日本では町大字)
RG4	地理的レベル: 地方(都市/町の下位区分)。フォワード ジオコーディングの G4 に対応します。(日本では丁目小字)
RG5	地理的レベル: 地方の下位区分。
RS4A	リバース ジオコーディングの通りセントロイド候補。住所辞書から返された候補です。
RS5A	リバース ジオコーディングの補間後の通り候補。住所辞書から返された候補です。

リバース ジオコーディング 説明 コード

RS7G	オーストラリアのみ: GNAF 信頼レベル 3 のオーストラリア GNAF 辞書から返された候補です。
RS8A	リバース ジオコーディングのポイント/小区画レベルの精度。住所辞書から返された候補です。
RS8G	オーストラリアのみ: ポイント/小区画レベルの精度。GNAF 信頼レベル 1 または 2 のオーストラリア GNAF 辞書から返された候補です。
RZ	郵便番号レベル: World Boundary Reverse の郵便番号レベル リバース ジオコードは適合率コード "RZ" を返します。

D - ISO 3166-1 国コード ド

このセクションの構成

国参照一覧と ISO 3166-1 国コード

278

国参照一覧と ISO 3166-1 国コード

国名	セクションリンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
ALBANIA	アルバニア共和国 (ALB)	AL	ALB
ALGERIA	アルジェリア (DZA)	DZ	DZA
AMERICAN SAMOA	米国 (USA)	US	USA
ANDORRA	アンドラ (AND)	AD	AND
ANGOLA	アンゴラ (AGO)	AO	AGO
ARGENTINA	アルゼンチン (ARG)	AR	ARG
ARUBA	アルバ (ABW)	AW	ABW
AUSTRALIA	オーストラリア (AUS) (134ページ)	AU	AUS
AUSTRIA	オーストリア (AUT)	AT	AUT
BAHAMAS	バハマ (BHS)	BS	BHS
BAHRAIN	バーレーン (BHR)	BH	BHR
BARBADOS	バルバドス (BRB)	BB	BRB
BELGIUM	ベルギー (BEL)	BE	BEL
BELIZE	ベリーズ (BLZ)	BZ	BLZ
BENIN	ベナン (BEN)	BJ	BEN

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
BERMUDA	バミューダ (BMU)	BM	BMU
BOLIVIA	ボリビア (BOL)	BO	BOL
BOTSWANA	ボツワナ (BWA)	BW	BWA
ボスニア・ヘルツェゴビナ	ボスニア・ヘルツェゴビナ (BIH)	BA	BIH
BRAZIL	ブラジル (BRA)	BR	BRA
BRUNEI DARUSSALAM	ブルネイ・ダルサラーム (BRN)	BN	BRN
BURKINA FASO	ブルキナファソ (BFA)	BF	BFA
BURUNDI	ブルンジ (BDI)	BI	BDI
CAMEROON	カメルーン (CMR)	CM	CMR
CANADA	カナダ (CAN) (157ページ)	CA	CAN
CHILE	チリ (CHL)	CL	CHL
CHINA	中国 (CHN)	CN	CHN
CONGO	コンゴ共和国 (COG)	CG	COG
CONGO, DEMOCRATIC REPUBLIC OF THE	コンゴ民主共和国 (COD)	CD	COD
COSTA RICA	コスタリカ (CRI)	CR	CRI
クロアチア (現地名: HRVATSKA)	クロアチア (HRV)	HR	HRV
CUBA	キューバ (CUB)	CU	CUB
CYPRUS	キプロス (CYP)	CY	CYP

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
CZECH REPUBLIC	チェコ共和国 (CZE)	CZ	CZE
DENMARK	デンマーク (DNK)	DK	DNK
DOMINICAN REPUBLIC	ドミニカ共和国 (DOM)	DO	DOM
ECUADOR	エクアドル (ECU)	EC	ECU
EGYPT	エジプト (EGY)	EG	EGY
EL SALVADOR	エルサルバドル (SLV)	SV	SLV
ESTONIA	エストニア (EST)	EE	EST
FINLAND	フィンランド (FIN)	FI	FIN
FRANCE	フランス (FRA) (159ページ)	FR	FRA
フランス領ギアナ	フランス (FRA) (159ページ)	GF	GUF
GABON	ガボン (GAB)	GA	GAB
GERMANY	ドイツ (DEU) (160ページ)	DE	DEU
GHANA	ガーナ (GHA)	GH	GHA
GREAT BRITAIN	英国 (GBR) (161ページ)	GB	GBR
GREECE	ギリシャ (GRC)	GR	GRC
GUADELOUPE	フランス (FRA) (159ページ)	GP	GLP
GUAM	米国 (USA)	US	USA
GUATEMALA	グアテマラ (GTM)	GT	GTM

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
GUYANA	ガイアナ (GUY)	GY	GUY
HONDURAS	ホンジュラス (HND)	HN	HND
HONG KONG	香港 (HKG)	HK	HKG
HUNGARY	ハンガリー (HUN)	HU	HUN
ICELAND	アイスランド (ISL)	IS	ISL
INDIA	インド (IND)	IN	IND
INDONESIA	インドネシア (IDN)	ID	IDN
IRAQ	イラク (IRQ)	IQ	IRQ
IRELAND	アイルランド (IRL)	IE	IRL
ITALY	イタリア (ITA)	IT	ITA
JAMAICA	ジャマイカ (JAM)	JM	JAM
JAPAN	日本 (JPN)	JP	JPN
JORDAN	ヨルダン (JOR)	JO	JOR
KENYA	ケニア (KEN)	KE	KEN
Kosovo	 Kosovo (XKX)	XK	XKX
KUWAIT	クウェート (KWT)	KW	KWT
LATVIA	ラトビア (LVA)	LV	LVA
LEBANON	レバノン共和国 (LBN)	LB	LBN

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
LESOTHO	レソト (LSO)	LS	LSO
LIECHTENSTEIN	スイス (CHE) を参照してください。	LI	LIE
LITHUANIA	リトアニア (LTU)	LT	LTU
LUXEMBOURG	ベルギー (BEL) を参照してください。	LU	LUX
MACAO	マカオ (MAC)	MO	MAC
マケドニア共和国	マケドニア共和国 (MKD)	MK	MKD
MALAWI	マラウィ (MWI)	MW	MWI
MALAYSIA	マレーシア (MYS)	MY	MYS
MALI	マリ (MLI)	ML	MLI
MALTA	マルタ共和国 (MLT)	ML	MLT
MARTINIQUE	フランス (FRA) (159ページ) を参照してください。	MQ	MTQ
MAURITANIA	モーリタニア (MRT)	MR	MRT
MAURITIUS	モーリシャス (MUS)	MU	MUS
MAYOTTE	フランス (FRA) (159ページ) を参照してください。	YT	MYT
MEXICO	メキシコ (MEX)	MX	MEX
MONACO	フランス (FRA) (159ページ) を参照してください。	MC	MCO
MONTENEGRO	モンテネグロ (MNE)	ME	MNE

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
MOROCCO	モロッコ (MAR)	MA	MAR
MOZAMBIQUE	モザンビーク (MOZ)	MZ	MOZ
NAMIBIA	ナミビア (NAM)	NA	NAM
NETHERLANDS	オランダ (NLD)	NL	NLD
NEW ZEALAND	ニュージーランド (NZL) (162ページ)	NZ	NZL
NICARAGUA	ニカラグア (NIC)	NI	NIC
NIGER	ニジェール (NER)	NE	NER
NIGERIA	ナイジェリア (NGA)	NG	NGA
北マリアナ諸島	米国 (USA)	US	USA
NORWAY	ノルウェー (NOR)	NO	NOR
OMAN	オマーン (OMN)	OM	OMN
PALAU	米国 (USA)	US	USA
PANAMA	パナマ (PAN)	PA	PAN
PARAGUAY	パラグアイ (PRY)	PY	PRY
PERU	ペルー (PER)	PE	PER
PHILIPPINES	フィリピン (PHL)	PH	PHL
POLAND	ポーランド (POL)	PL	POL
PORTUGAL	ポルトガル (PRT) (164ページ)	PT	PRT

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
PUERTO RICO	米国 (USA)	US	USA
QATAR	カタール (QAT)	QA	QAT
REUNION	フランス (FRA) (159ページ) を参照してください。	RE	REU
ROMANIA	ルーマニア (ROU)	RO	ROU
RUSSIAN FEDERATION	ロシア連邦 (RUS)	RU	RUS
RWANDA	ルワンダ (RWA)	RW	RWA
SAINT KITTS AND NEVIS	セントクリストファー・ネイビス (KNA)	KN	KNA
SAUDI ARABIA	サウジアラビア (SAU)	SA	SAU
SENEGAL	セネガル (SEN)	SN	SEN
SERBIA	セルビア共和国 (SRB)	RS	SRB
SINGAPORE	シンガポール (SGP) (165ページ)	SG	SGP
SLOVAKIA (SLOVAK REPUBLIC)	スロバキア (SVK)	SK	SVK
SLOVENIA	スロベニア (SVN)	SI	SVN
SOUTH AFRICA	南アフリカ (ZAF)	ZA	ZAF
SPAIN	スペイン (ESP)	ES	ESP
SURINAME	スリナム共和国 (SUR)	SR	SUR
SWAZILAND	スワジランド (SWZ)	SZ	SWZ
SWEDEN	スウェーデン (SWE) (166ページ)	SE	SWE

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
SWITZERLAND	スイス (CHE)	CH	CHE
台湾	台湾 (TWN)	TW	TWN
TANZANIA, UNITED REPUBLIC OF	タンザニア連合共和国 (TZA)	TZ	TZA
THAILAND	タイ (THA)	TH	THA
TOGO	トーゴ (TGO)	TG	TGO
TRINIDAD AND TOBAGO	トリニダード・トバゴ (TTO)	TT	TTO
TUNISIA	チュニジア (TUN)	TN	TUN
TURKEY	トルコ (TUR)	TR	TUR
UGANDA	ウガンダ (UGA)	UG	UGA
UKRAINE	ウクライナ (UKR)	UA	UKR
UNITED ARAB EMIRATES	アラブ首長国連邦 (ARE)	AE	ARE
UNITED KINGDOM	英国 (GBR) (161ページ) を参照してください。	GB	GBR
UNITED STATES	米国 (USA)	US	USA
URUGUAY	ウルグアイ (URY)	UY	URY
ベネズエラ	ベネズエラ (VEN)	VE	VEN
バージン諸島	米国 (USA)	US	USA
WORLD GEOCODER	World Geocoder (XWG)	XW	XWG

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
YEMEN	イエメン共和国 (YEM)	YE	YEM
ZAMBIA	ザンビア (ZMB)	ZM	ZMB
ZIMBABWE	ジンバブエ (ZWE)	ZW	ZWE

E - エラーコード

このセクションの構成

例外コード

288

例外コード

サーバーが例外をスローした場合、REST Web サービスは例外コードと付随する例外メッセージをネットワーク経由でクライアントに返します。例外コードは、一般的なエラーの説明です。例外メッセージは、例外の原因をより具体的に示します。

次の例では、Geocode サービスに対する GET リクエストに不適切なパラメータである "Line" が含まれています。

```
GET http://endpoint/Geocode/rest/GeocodeService/geocode.json?
mainAddress=42%20Venus%20Drive&Line=Shrewsbury&country=USA HTTP/1.1
```

サーバーは次のエラーを返します。

```
HTTP/1.1 500 Internal Server Error
Server: Apache-Coyote/1.1
Date: Wed, 25 Feb 2015 20:52:18 GMT
exceptionCode: INVALID_CLIENT_INPUT
exceptionMsg: Unknown query parameter Line
Content-Length: 0
Connection: close
```

例外コード (データタイプ = String)	説明
REQUIRED_PARAMETER_MISSING	必須のパラメータがありません。
DATA_NOT_LICENSED	住所辞書のライセンス ファイルがインストールされていません。
INTERNAL_ERROR	ジオコーディングエンジンで一般的なエラーが発生しました。
MAPMARKER_EXCEPTION	MapMarker ジオコーディング エンジンで一般的な例外が発生しました。
MAPMARKER_FATAL_EXCEPTION	MapMarker ジオコーディング エンジンで致命的な例外が発生しました。
INVALID_CLIENT_INPUT	無効な入力が入力リクエスト内にありました。

例外コード (データタイプ = String)	説明
NO_COUNTRY_SPECIFIED	国フィールドがリクエストにありません。
COUNTRY_NOT_SUPPORTED	リクエストされた操作は、指定された国ではサポートされていません。
GEOSTAN_FATAL_EXCEPTION	GeoStan ジオコーディング エンジンで致命的な例外が発生しました。

著作権に関する通知

© 2019 Pitney Bowes. All rights reserved. MapInfo および Group 1 Software は Pitney Bowes Software Inc. の商標です。その他のマークおよび商標はすべて、それぞれの所有者の資産です。

USPS® 情報

Pitney Bowes Inc. は、ZIP + 4® データベースを光学および磁気媒体に発行および販売する非独占的ライセンスを所有しています。CASS、CASS 認定、DPV、eLOT、FASTforward、First-Class Mail、Intelligent Mail、LACS^{Link}、NCOA^{Link}、PAVE、PLANET Code、Postal Service、POSTNET、Post Office、RDI、Suite^{Link}、United States Postal Service、Standard Mail、United States Post Office、USPS、ZIP Code、および ZIP + 4 の各商標は United States Postal Service が所有します。United States Postal Service に帰属する商標はこれに限りません。

Pitney Bowes Inc. は、NCOA^{Link}® 処理に対する USPS® の非独占的ライセンスを所有しています。

Pitney Bowes Software の製品、オプション、およびサービスの価格は、USPS® または米国政府によって規定、制御、または承認されるものではありません。RDI™ データを利用して郵便送料を判定する場合に、使用する郵便配送業者の選定に関するビジネス上の意思決定が USPS® または米国政府によって行われることはありません。

データ プロバイダおよび関連情報

このメディアに含まれて、Pitney Bowes Software アプリケーション内で使用されるデータ製品は、各種商標によって、および次の 1 つ以上の著作権によって保護されています。

© Copyright United States Postal Service. All rights reserved.

© 2014 TomTom. All rights reserved. TomTom および TomTom ロゴは TomTom N.V の登録商標です。

© 2016 HERE

Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía)

電子データに基づいています。© National Land Survey Sweden.

© Copyright United States Census Bureau

© Copyright Nova Marketing Group, Inc.

このプログラムの一部は著作権で保護されています。© Copyright 1993-2007 by Nova Marketing Group Inc. All Rights Reserved

© Copyright Second Decimal, LLC

© Copyright Canada Post Corporation

この CD-ROM には、Canada Post Corporation が著作権を所有している編集物からのデータが収録されています。

© 2007 Claritas, Inc.

Geocode Address World データ セットには、
<http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode> に存在するクリエイティブ コモンズ アトリビューション ライセンス (「アトリビューション ライセンス」) の下に提供されている GeoNames Project (www.geonames.org) からライセンス供与されたデータが含まれています。お客様による GeoNames データ (Spectrum™ Technology Platform ユーザ マニュアルに記載) の使用は、アトリビューションライセンスの条件に従う必要があります。お客様と Pitney Bowes Software, Inc. との契約と、アトリビューション ライセンスの間に矛盾が生じる場合は、アトリビューションライセンスのみに基づいてそれを解決する必要があります。お客様による GeoNames データの使用に関しては、アトリビューション ライセンスが適用されるためです。



3001 Summer Street
Stamford CT 06926-0700
USA

www.pitneybowes.com